

令和 5 (2023) 年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会

令和 5 (2023) 年度

大妻女子大学人間関係学部

人間関係学科

人間福祉学科

F D 活動報告書



大妻女子大学人間関係学部 F D 委員会

令和 5 (2023) 年度 F D 活動報告書の刊行にあたり

本報告書をもって、過去一年間にわたり展開された人間関係学部におけるファカルティ・デベロップメント (FD) 活動の軌跡を振り返り、その成果を共有する機会を持てたことを心から嬉しく思います。FD 活動は、教員の皆様が持続可能な教育の質の向上を目指し、学生の学びに対する理解を深め、教育方法を革新するための重要なプロセスです。この活動を通じて、教育の質の向上だけでなく、教員間のコミュニケーションと協力の促進を図ることができました。

今年度の FD 研修会は、「次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～」をテーマにして「違う学年でのコミュニケーション～教員と学生の連携について～」 「授業の展開の方法～AI ツールの活用など～」 「教員の研究と大学教育の両立や展開の方法」の 3 つの分科会で教員が話し合いました。これらの取り組みは、教員の能力を開発し、学生達がより能動的に学び、自ら問題を解決する力を身につけるための環境を整備することを目的としています。本報告書では、FD 研修会を初め、保護者との懇談会、授業担当者懇談会など本年度に行った様々な活動を通じて得られた成果と、教員や関係者の皆様の貴重な経験を記録しています。

授業改善は終わりなき戦いです。これは、教育は常に進化し続けるプロセスであることを意味しています。このプロセスは、教育の目的、学習者のニーズ、技術の進歩、社会的・経済的变化など、多岐にわたる要因の影響を受けます。教員は最新の研究に基づいた授業改善のためのアプローチを採用し、学習成果の向上を追求する必要があります。

この場を借りて、FD 活動にご参加いただいた全ての教職員の皆様に心からの感謝を表します。皆様の献身的な努力と情熱がなければ、今日の成果はあり得ませんでした。この報告書が、今後の教育活動において貴重な指針となり、さらなる教育の質の向上への一歩となることを願っています。

人間関係学部が設置されて四半世紀が過ぎましたが、教育の質を高め、学生たちの未来を豊かにするための終わりなき戦いは続きます。本報告書が、戦いの途中で得られた知見と経験を共有し、今後の FD 活動の発展に貢献することを心から願っています。皆様の引き続きのご支援とご協力をお願いいたします。

人間関係学部長 齊藤 豊

令和 5（2023）年度 FD 活動報告書 目次および執筆担当

令和 5（2023）年度 FD 活動報告書の刊行にあたり （学部長）

I	令和 5（2023）年度の FD 活動 （学部 FD 委員長）	1
II-1	授業に関するアンケート （社会学専攻 FD 委員）	3
II-2	授業アンケートへの対応 （社会・臨床心理学専攻 FD 委員）	9
II-2-1	前期：授業改善アンケートへの教員の主な回答	
II-2-2	後期：授業改善アンケートへの教員の主な回答	
III	学科・専攻における FD 活動	11
1	人間関係学科	11
(1)	社会学専攻 （社会学専攻 FD 委員）	11
(2)	社会・臨床心理学専攻 （社会・臨床心理学専攻 FD 委員）	12
2	人間福祉学科 （人間福祉学科 FD 委員）	13
IV	保護者懇談会 （人間関係学科長・人間福祉学科長）	15
V	オフィスアワー （人間福祉学科長）	21
VI	クラス指導 （人間関係学科長）	23
VII	人間関係学部 FD 研修会 （社会・臨床心理学専攻委員）	24
VIII	学友会代表と FD 委員会・教職員との懇談会 （学部 FD 委員長）	29
IX	非常勤講師との教育懇談会 （人間関係学科長・人間福祉学科長）	32
X	人間関係学部における FD 活動の課題 （学部 FD 委員長）	36
【資料編】		
01	【オフィスアワー・クラス指導・教員個々の FD 活動：人間関係学部専任】	37
02	【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 前期	45
03	【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 後期	51
04	【授業改善アンケート・カテゴリ別集計結果】 前期・後期	57

I 令和 5 (2023) 年度人間関係学部の F D 活動について

令和 5 年度は、全学共通科目以外の多くの授業が対面に戻り、学生や教員が多摩キャンパスで本格的に活動を再開できるようになった中で、下記の F D 活動の取り組みを行った。

1) 授業に関するアンケート

令和 5 年度においても、前期・後期の年 2 回、学生による授業改善アンケートを実施した。

2) 各学科・専攻における F D 活動の内容の共有

教育方法に関する配慮・工夫に関しては、基本的にそれぞれの学科・専攻の専門的な判断にゆだねられるべき領域であるが、同時にある教員・ある専攻が行っている取り組みが、専門性の垣根を超えた普遍性を持つ場合もあり、そのような参考にすべきノウハウについては、学内の様々な機会を利用して全教員が共有できるようにしている。感染症対策が 5 類になった後に対面で行われた人間関係学部 F D 委員会主催の研修会では、他学科・他専攻の教員がそれぞれの研究や授業に対する内容を積極的に共有しており、引き続き今後の教育内容の向上につなげることを期待している。

3) オフィスアワーの実施

学生が事前の予約なしに気軽に教員の研究室を訪ねることができる時間帯という趣旨で、本学部では全ての専任教員がオフィスアワーを設定し、UNIPA にて公開している。本年度は対面でのオフィスアワーを基本としながら、一部オンラインを使用し、組み合わせにより実施した。

4) クラス担任制度

本学部においては、ほとんどの専任教員がいずれかのクラス担任として学生の指導にあたり、このシステムが学生の教育効果を高めるうえにおいても大きな効果を発揮している。対面授業に戻る中で対面での相談が増加する一方で、manaba 等の ITC を使用しながら学生との連絡や情報共有を行っている。

令和 5 年度人間関係学部 F D 報告書の中でも各教員が 1 年間のクラス担任としての活動を振り返って、今後の取り組みにつながるような提言や意見交換を行っている。

5) 学部 F D 研修会の実施

「次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～」を、対面により実施した(令和 5 年 12 月 8 日)。研修会の内容と参加者の意見・感想等については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

6) 非常勤講師との教育懇談会

例年前期に実施している非常勤講師との教育懇談会であるが、今年度は前期にオンラインで

実施した。教育懇談会の内容については、本報告書の中で詳しく紹介されている。

7) 学友会代表とFD委員会・教職員との懇談会

教育の質の更なる向上に向けて、令和5年度においても、授業ならびに多摩キャンパスの設備その他について学友会代表との意見交換を行った：令和5年12月15日(金)。今年度もFD委員のみならず、多摩キャンパスの教職員において参加希望者を募り情報を共有した。また、学友会代表に専攻学科学年の偏りがあったため、各学科専攻の学友会委員も参加した。内容については、本報告書で紹介されている。

8) 各種委員会との連携

学生の教育内容・教育環境の向上のためにはFD委員会による取り組みだけでは不十分であるため、教学面の管理を担当する教務委員会、就学環境全般の改善を目指す学生委員会、健康面をサポートする保健管理委員会等の各種委員会が教授会・学科会議等の場で報告する事項を参考にしながら、FD活動の一層の充実を図っている。

その他、より良い授業を目指すための環境やメディアに関する設備等に関して各事務部署と連携を取っている。

Ⅱ－１ 授業に関するアンケート

１．はじめに

学部授業の質の向上を目的に、本学部では平成 16 年度から、専任教員および非常勤講師が担当する授業について「学生による授業評価」（以下、授業アンケート）を実施している。授業アンケートは、2 ヶ年にわたって全担当科目（卒業論文指導とゼミナールは原則として除く）に対して実施し、授業改善に努めてきた。ただし、やむを得ない事由により実施対象から除外すべきと思われる科目の場合は、FD 委員会において審議を行った上で判断している（人間関係学部「授業に関するアンケート」の実施要綱）。また、現状としては毎年度担当科目のほぼ全科目を対象に授業アンケートを行ってきた。なお、令和 3 年度に実施方法の変更が 2 点なされた。まず、全学でアンケート実施を決めていくこととなり、前期の段階で、年間の授業アンケートを実施する科目を学部で取りまとめ、全学 FD 委員会で承認するという手続きとなった。また、授業中に紙媒体で行う形式から、Web の UNIPA（ユニパ）を用いて、授業中以外でも回答ができるよう、実施形態が変わった。

アンケート結果については、例年、アンケート実施後、授業科目別集計を各担当教員にフィードバックし、授業評価の結果について意見と改善等（①科目名、②授業の改善点、③受講生への要望、④その他）について回答を求め、それらは本報告書並びにホームページにて公開してきた。ただし、各専任教員・非常勤講師は、書面により、アンケートの実施および評価結果ならびに意見・改善策等の掲載等を拒否することができる。

２．調査目的

授業に関するアンケートは、教員の学生に対する教育サービスの質と量の向上を図るとともに、よりよい教授法のあり方を考える基礎資料を得ることを目的として組織的に実施されている。

３．調査概要

（１）実施時期および手続

前期は、令和 5 年 7 月 10 日（月）～7 月 22 日（土）の約 2 週間に実施し、後期は、令和 5 年 12 月 11 日（月）～12 月 23 日（土）の約 2 週間に実施した。また、授業アンケートの実施にあたり、例年、書面およびホームページ等を用いて、さらに、平成 24 年度からは大学行事予定表に授業アンケート実施時期を掲載し、4 月の段階から学生と各教員への周知と調査への協力を依頼してきた。今年度は、対面および Web の UNIPA 及び manaba などを用いて周知を行った。また、学生が率直に記入し、提出しやすいように無記名式で回答できるようになっている。加えて、「授業内容や授業方法の改善を図るために実施するものであり、調査結果は統計的に処理され、個人が特定されるものではないこと、さらに成績に影響することは全くないこと」をアンケートに明記して実施している。

（２）調査対象と回答率

前期の調査は 208 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 8,958 名であった。そのうち有効回答者は 4,227 名、回答率は 47.2%であった。後期の調査は 187 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 8,417 名であった。そのうち有効回答者は 3,184 名、回答率は 37.8%であった。前期後期合わせて、総科目数 579 科目のうち 395 科目で実施した。調査対象者は、調査実施科目の履修者 17,375 名であった。そのうち有効回答者は 7,411 名、回収率は 42.7%（昨年度 34.3%）であった。

（３）調査項目

調査項目は、以下の 10 項目である（No.1 は自由記述、No.2 以下は選択肢選択）。

- 1 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望を書いてください。
- 2 授業形態はどのような方法で実施されましたか。＜複数回答可＞

※PPT：PowerPoint の略

- 3 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。
- 4 教員は学生の理解を深めるための工夫（小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など）をしたと感じることができましたか。
- 5 授業において manaba はどのように活用されましたか。＜複数回答可＞
- 6 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。

※ オンライン上での質問や意見等も含みます。

- 7 この授業の授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか。
- ※ 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PC やスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。
- 8 課題に対する教員からのフィードバック（コメントや学習指導）は効果的でしたか。
 - 9 この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。
 - 10 あなたは授業に満足しましたか。

以上が調査項目であった。なお、令和 2 年度に、新型コロナウイルス感染拡大の影響で多くの授業がオンライン授業に切り替わったことを受け、令和 3 年度より、オンライン授業にあわせて、質問内容が一部変更された。また、今年度より、「課題に対する教員からのフィードバック（コメントや学習指導）は効果的でしたか」という質問項目が追加された。

選択肢については、まず、No.3、4、6、8、9 の選択肢は、次の 6 カテゴリー「5. そう思う」、「4. ややそう思う」、「3. どちらともいえない」、「2. あまりそう思わない」、「1. そう思わない」「0. わからない／判断しづらい」の 6 段階評価によって回答を求める形式であった。なお、6 段階評価の最後の選択肢について、No.3（授業はシラバスに基づいて行われていましたか）の 6 段階評価の最後の選択肢は「0. わからない／判断しづらい／確認していない」とし、No.6（質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか）の 6 段階評価の最後の選択肢は、「0. わからない／判断しづらい／発言の機会がなかった」とした。次いで、No.2（授業形態はどのような方法で実施されましたか）の選択肢は、「対面」「オンデマンド型：テキスト（教材）提示」「オンデマンド型：スライド（PPT）」「オンデマンド型：音声データとテキス

ト (PPT/PDF 等)」「オンデマンド型：動画視聴 (YouTube 等)」「その他」とした。さらに、No.5 (授業において manaba はどのように活用されましたか) の選択肢は、「予習復習 (アンケートなど)」「小テスト」「レポート提出」「中間/期末テスト」「コースコンテンツ」「プロジェクト」「コースニュース」「掲示板」「個別指導コレクション」「レスポンス」「その他」「manaba 以外のツール (Google ドライブ等) を活用した」「活用していない」とした。最後に、No.7 (この授業の授業外学修の時間 (授業 1 回あたりの平均) はどの程度ですか) の選択肢は、「5. 3 時間以上」、「4. 2 時間以上 3 時間未満」、「3. 1 時間以上 2 時間未満」、「2. 30 分以上 1 時間未満」、「1. 30 分未満」「0. していない」とした。

(4) 授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護

授業アンケート結果の活用ならびに情報公開と情報保護については以下の通りである。

- ① 各教員の担当科目ごとの調査結果(授業科目別集計)は、年度内に各教員に個別に通知する。
- ② 教員は、授業アンケートの結果に対して、意見や改善策等を FD 委員会に提出する。
- ③ ②の意見や改善策等は、FD 報告書ならびに学部ホームページ上に掲載し、一般公開する。ただし、各教員は、書面により掲載等を拒否することができる。
- ④ 調査データの処理は外部業者に委託し、集計結果の分析およびデータ保管は FD 委員会の責任において行う。なお、教員への配布データは、各教員が自己責任において管理・廃棄等を行う。

本調査のアンケート見本を以下に示す。前期後期とも同じ形式である。

123456789 科目 A (教員 B)

令和 5 年度 (後期) 大妻女子大学 「授業改善のためのアンケート」

このアンケートは、授業内容や授業方法の改善を図るためのものです。無記名回答ですので、あなたの成績に影響することはありません。率直に回答してください。

1. 授業改善に向けたあなたの意見や要望・希望を書いてください。

2. 授業形態はどのような方法で実施されましたか。＜複数回答可＞

※PPT : PowerPoint の略 (必須)

- ☐ 対面
- ☐ オンデマンド型：テキスト (教材) 提示
- ☐ オンデマンド型：スライド (PPT)
- ☐ オンデマンド型：音声データとテキスト (PPT/PDF 等)
- ☐ オンデマンド型：動画視聴 (YouTube 等)
- ☐ その他

3. 授業はシラバスに基づいて行われていましたか。 (必須)

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい／確認していない

4. 教員は学生の理解を深めるための工夫（小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など）をしたと感じることができましたか。（必須）

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい

5. 授業において manaba はどのように活用されましたか。＜複数回答可＞（必須）

☐ 予習復習（アンケートなど）

☐ 小テスト

☐ レポート提出

☐ 中間／期末テスト

☐ コースコンテンツ

☐ プロジェクト

☐ コースニュース

☐ 掲示板

☐ 個別指導コレクション

☐ レスポン

☐ その他

☐ manaba 以外のツール(Google ドライブ等)を活用した

☐ 活用していない

6. 質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。

※オンライン上での質問や意見等も含みます。（必須）

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい／発言の機会がなかった

7. この授業の授業外学修の時間（授業 1 回あたりの平均）はどの程度ですか。

※授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PC やスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます。（必須）

○⑤3 時間以上 ○④2 時間以上 3 時間未満 ○③1 時間以上 2 時間未満

○②30 分以上 1 時間未満 ○①30 分未満 ○①①していない

8. 課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。（必須）

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい

9. この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。（必須）

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい

10. あなたは授業に満足しましたか。（必須）

○⑤そう思う ○④ややそう思う ○③どちらともいえない

○②あまりそう思わない ○①そう思わない ○①①わからない／判断しづらい

ご協力、ありがとうございました。

全学ファカルティ・ディベロップメント委員会

4. 調査結果の分析

以下に、人間関係学部全体のアンケート集計結果の概要について報告する。具体的には、自由回答の No.1 を除く、No.2 以下の 9 項目について今年度の結果を述べる。No.2 と No.5 については各選択肢の選択割合を、それ以外の項目については評価平均点（5 点満点）を記すが、平均値は「0. わからない／判断しづらい」を除いて算出している。

①No.2「授業形態はどのような方法で実施されましたか」の評価

前期は、もっとも多かったのが、「対面」77.9 であり、次いで、「動画視聴（YouTube 等）」14.9、「スライド（PowerPoint）」9.3、「テキスト（教材）提示」6.1、「音声データとテキスト（PowerPoint／PDF 等）」6.1、「その他」0.6 と続いた。後期は、もっとも多かったのが、「対面」74.5 であり、次いで、「動画視聴（YouTube 等）」18.1、「スライド（PowerPoint）」9.3、「音声データとテキスト（PowerPoint／PDF 等）」7.9、「テキスト（教材）提示」5.6、「その他」1.0 と続いた。昨年度も「対面」がもっとも多かったが（前期 70.6、後期 66.4）、今年度は昨年度よりも対面の値が上昇している。

②No.3「授業はシラバスに基づいて行われていましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.65 であり、後期は 4.64 であった。前期後期ともに 4 点以上であり、概ね授業がシラバスに基づいて行われていることを示している。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期 4.62、後期 4.63 であり、若干の上昇が見られる。

③No.4「教員は学生の理解を深めるための工夫をしたと感ずることができましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5 点満点）は 4.41 であり、後期は 4.40 であった。前期後期ともに 4 点以上であり、教員が工夫をしていることが示されている。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期 4.65、後期 4.64 であり、若干低下している。

④No.5「授業において manaba はどのように活用されましたか」の結果

前期は、「予習復習（アンケートなど）」17.8、「小テスト」22.1、「レポート提出」51.9、「中間／期末テスト」5.9、「コースコンテンツ」26.5、「プロジェクト」3.3、「コースニュース」31.6、「掲示板」22.6、「個別指導コレクション」3.5、「レスポンス」8.1、「その他」1.4、「manaba 以外のツールを活用した」2.1、「活用していない」14.2 であった。後期は、「予習復習（アンケートなど）」18.9、「小テスト」20.3、「レポート提出」53.3、「中間／期末テスト」5.9、「コースコンテンツ」31.5、「プロジェクト」2.7、「コースニュース」34.4、「掲示板」24.2、「個別指導コレクション」3.2、「レスポンス」13.8、「その他」1.9、「manaba 以外のツールを活用した」2.1、「活用していない」11.0 であった。前期後期ともに、「レポート提出」がもっとも多く活用されている機能であり、次いで「コースニュース」「コースコンテンツ」「掲示板」がよく活用さ

れていた。

これは昨年度と同様の傾向で、昨年度も、前期後期ともに、「レポート提出」がもっとも多く活用されている機能であり、次いで「コースニュース」「コースコンテンツ」「掲示板」がよく活用されていた。

⑤No.6「質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.08であり、後期は4.10であった。前期後期ともに4点を上回っており、学生の積極的な授業参加がなされていると判断できる。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期4.09、後期4.07であり、概ね横ばい傾向にある。

⑥No.7「授業外学修の時間（授業1回あたりの平均）はどの程度ですか」の評価

今年度の授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は、前期が2.48であり、後期は2.35であった。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期2.91、後期2.43であり、若干減少した。

⑦No.8「課題に対する教員からのフィードバック（コメントや学習指導）は効果的でしたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.22であり、後期は4.26であった。前期後期ともに4点を上回っており、効果的なフィードバックがなされていることを示している。この項目は今年度より追加されたため、昨年度との比較は行えない。

⑧No.9「この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか」の評価

前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.51であり、後期は4.48であった。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期4.52、後期4.46であり、概ね横ばい傾向にある。

⑨No.10「あなたは授業に満足しましたか」の評価

今年度前期授業アンケートにおける学生による本項目の評価平均値（5点満点）は4.42であり、後期は4.41であった。昨年度の同じ項目と比較すると、昨年度は前期4.43、後期4.39であり、概ね横ばい傾向にある。

5. 授業アンケート調査結果の活用

例年、授業アンケート調査結果を今後の授業改善に活用することを目的とし、調査後に、授業科目別集計を各担当教員にフィードバックし、授業評価の結果について意見と改善策等（①授業の改善点、②受講者への要望、③その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等、お気づきの点などあればこちらにお書きください））について自由記述による回答を求めてきた。その回答結果についても本報告書の【資料編】に掲載している。

Ⅱ－２ 授業アンケートへの対応

前期・後期と実施した「学生による授業評価アンケート」の結果を受けて、その対応として、改善点を各教員が提出した。以下は、その概要である（詳細は【資料編】参照）。

Ⅱ－２－１ 前期授業アンケートへの教員の主な回答

（１）授業の改善点

全体の傾向としては、グループワークや主体的な学びに関する改善点が功を奏した反応が記されていた。一方で、引き続き、オンラインやハイブリッドから対面授業へと戻っていく過程の中での「授業の構成・展開の工夫」や「授業資料・教材及び提供方法の工夫」に関する改善点が多く、具体的な内容が記載されていた。その他、「予習・復習の改善」に分類された。

授業の構成・展開の工夫については、PBL、アクティブラーニングやグループワークなど学生の主体的な学びに対する臨み方や姿勢の変化、意識づけを促す工夫を検討する回答が多く見られた。具体的には、演習科目では、作業のみではなくその後のリアクションペーパー根度を含む振り返りの時間配分や取り組む課題の選別といった授業の構造化などが改善点で上げられていた。また、オンライン・オンデマンドの授業も含め、学びを深めるためのフィードバックの頻度や提示のタイミングに関する工夫を今後の改善点としてあげられていた。その他、全体進行・グループ学習（学生同士のインタラクション・対話や議論）と各学生のニーズに沿った個別学習のバランスを図る工夫を改善点とする回答もあった。

授業資料・教材及び提供方法の工夫については、資料の開示・提供期間の調整をはじめ、Respon や Manaba を活用した工夫・改善点があげられていた。その他、配布資料の文字や色彩をより見やすくするための工夫を改善点とする回答があった。

また、「予習・復習の改善」については、時間外学習の不足に関するものが見られ、授業に対する学びの動機づけにも関連する説明・指摘の充実化をさらに図ることを改善点としてあげられていた。

（２）受講生への要望

教員のほぼ半数は、学生に対して特に要望はない、あるいは学生の出席率の高さや授業態度・姿勢を高く評価し、このままこれまでの努力の継続を望む回答が提出されていた。

一方で、学生へ変化を求める要望としては、授業内では、PBL やグループワークにとどまらず、全般的に積極性を望むものであった。また、授業時間外では、予習・復習の時間の確保をはじめ、授業に積極的に参加するための準備の充実化と計画性のある学習を求める回答となっていた。また、オフィスアワー含め、教員への共有・相談を有効に活用してもらいたいという要望もあった。

Ⅱ－２－２ 後期授業アンケートへの教員の主な回答

（１）授業の改善点

後期も、前期同様に、「授業の構成・展開の工夫」、「授業資料・教材及び提供方法の工夫」「予

習・復習の改善」に分類され、具体的な内容が記載されていた。

授業の構成・展開の工夫については、リアクションペーパーや小テストの頻度を増やし、習熟度をこまめに図る工夫により、学生の参加度が上がったことなどから、継続した取り組みとしての回答があった。前期同様、教員からのフィードバックの充実化や双方向のコミュニケーションの工夫、学生同士のインタラクション（対話や議論）と個別学習の授業展開のバランスを図る工夫を改善点とする回答もあった。

授業資料・教材及び提供方法の工夫について、来年度より、対面での授業提供となる科目もさらに増える事を見据えた改善点があげられていた。特に、これまでオンラインの授業では、振り返り用に映像で見返せていたものが、対面となるため、視聴覚教材の充実化や、文字情報・資料の修正・整理などに関する工夫の必要性があげられていた。また、**Manaba** や **Respon**、**Google** と様々なツールがある中、学生にとって理解しやすい・把握しやすい工夫についての回答があった。

また、前期同様、「予習・復習の改善」については、時間外学修の不足が見られる科目があり、授業に対する学びの動機づけにも関連する説明・指摘の充実化をさらに図ることを改善点としてあげられていた。

（２）受講生への要望

教員のほぼ半数は、学生に対して特に要望はない、あるいは、授業態度・姿勢を高く評価する回答が提出されていた。一方で、主体的な学び（ディスカッション等、事業時間外での予習・復習）、自ら教員らにも質問をしにいくといった積極性に関する改善の要望が多くあげられていた。また、アンケートへの回答が少ないため、より多くの学生に回答をしてもらいたいとの要望があった。

Ⅲ 学科・専攻におけるFD活動

1. 人間関係学科

(1) 社会学専攻

- i 例年にならい、今年度も5月27日(土)に授業担当者懇談会を開催した。昨年度に続き、Zoom上での開催となった。非常勤の先生方のご意見をいただき、専攻としての取り組むべき改善作業の参考にした。毎年参加してくださる非常勤の先生もおられ、有意義な会となっている。
- ii 社会学専攻では、平成25年度から「社会学基礎セミナーⅠ」の平準化を実施している。共通のテキストを指定して、レジュメの作り方、図書館の利用法、テキストの輪読、グループワークの実施など、担当教員が行う授業内容を取り決めている。また、生成系人工知能の普及も鑑み、成績評価の配分を見直し、令和年度より、平常点(主としてレジュメと報告の出来栄え、ディスカッションの内容、グループワークへの参加度)を60%、期末レポートを40%の比重とし、その合算によって成績評価を決めるということが決定された。採点基準については、「社会学基礎セミナーⅠ」だけでなく「社会学基礎セミナーⅡ」も、Sは1割以内、AとSの合計は5割を超えないという評価の分布の基準を設けることは例年取りで実施した。
- iii 社会学専攻では、2年次の「社会調査及び演習Ⅰ・Ⅱ」の授業の一環として学生による報告会を毎年12月上旬に開催している。今年度は、昨年度同様、クラウド型教育支援システムmanabaで連絡をし、Google Drive上に、発表のスライドを提示するという形での開催となった。この報告会の主たる目的は学生の発表であるが、このポスターセッションは社会学の教員も全員閲覧できる形となっており、そのため他の教員が演習という授業をどのように行っているのかが分かる形となっている。そのため、教員にとっては、次年度からの授業運営の参考になるという意味で、教員のFDにとっても有意義な会となっていると考える。

（２）社会・臨床心理学専攻

i 授業担当者懇談会の実施

例年に倣い、今年度も５月２７日（土）に授業担当者懇談会を実施した。実施形態は、Zoom 上でのオンライン開催となった。専攻からの話題提供として「今年度からの新カリキュラムについて」古田教務委員から説明がなされた。その後、専攻教員と参加された非常勤の先生方の自己紹介を経て、参加者全員でコロナ関連、欠席対応、学生対応、授業の課題点や工夫などについて意見交換が行われた。

ii 複数学年合同行事の実施

学年を跨いだ交流を活性化するため、複数学年合同行事を実施した。具体的には、前期には１～３年の合同授業を７月８日（土）に実施した。また、後期には、１１月８日（水）にゼミ説明会を実施し、主に３・４年生と２年生の交流の場を形成した。また、後期授業終了後、１月２５日（木）に行われた卒業論文の口述試験についても、１～３年生も参加できるものとした。総じて、各学生がこれからの大学での学び・これまでの大学での学びについて触れる機会をつくり、各学年時における適切な成長・発達となるよう工夫した。また、卒業論文の口述試験については、昨年確認・見直しを行ったものを基に対面で行い、より学会での発表に近づけた学術的な実施となった。

iii 公認心理師養成科目：実習教育における活動

臨床心理学を専門とする教員（福島哲夫、古田雅明、香月菜々子、春日文、三好真、小野聡士）によって、より質の高い実習を行うために求められる事項について検討した。心理実習におけるガイドやマニュアルが機能してきていることが確認された一方で、実習先の新たな開拓、実習の実施時期や履修の枠組みなど学生の理解を深めるための対応などを協議し、今後の教育指導におけるこれら資料のアップデートが図られた。

iv 専攻新カリキュラムの発展・展開へ向けた活動

一昨年度前に学部教育検討部会（参加者：田中優、堀洋元、本田周二、八城薫）から提案された新カリキュラムを専攻会議および調整会議（参加者：専攻の教員、平均月２回以上）にて、さらにブラッシュアップを図り、今後の専攻の方針・魅力の一貫性と明瞭性を持たせる協議がなされた。また、新カリキュラム実装に向けた合同ゼミ（６／８：パステルアート、９／２８：フィットセラピー・園芸療法）を実施し、融合実践科目に応用できる授業内容の検討を行い、新カリキュラムを含めた広報の広報活動を行った。

v その他

例年同様、継続的に全教員で学生対応についての課題や懸案事項を共有し、教員同士の連携を図ってきた。その結果、包括的な対応ができることができた。

2 人間福祉学科

i. 福祉実習発表会・福祉実習教育懇談会

令和5年度は昨年度と同様で実施した。

福祉実習発表会は昨年度同様 YouTube の動画を閲覧する形式とした。閲覧期間は 12 月 1 日から 23 日まで、指定された授業の manaba を活用して公開した。この発表会は、具体的な資格や実習選択について考える機会や自分の実習や今後のキャリアを振り返ることを目的としている。社会福祉士実習からは 4 人、介護福祉士実習からは 4 名、精神保健福祉士実習 1 名、専門実習 3 名と 12 名の学生が発表した。

福祉実習教育懇談会は、12 月 6 日 5 限にオンライン会議の形式で開催した。懇談会の初めは合同で行い、その後、分科会に分かれて実施した。ジョブユーチ実習の分科会は後日、1 月下旬に実施した。今後も、実習指導者と緊密な連携を保ちながら充実した実習実施を目指したい。

ii. 国家試験対応及び受験対策講座

人間福祉学科は、国家資格の社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士を養成している。1 年次から学科の必修授業に国家試験に係る指定科目を設置し、2 年次では主に社会福祉士、精神保健福祉士の配属試験等を行い国家試験の問題に触れている。国家試験対応委員会は、3 年次から卒業時に国家資格を取得できるよう、国家試験の受験指導等を行っている。

今年度は国試対策講座を充実させ、学生のモチベーションの維持ができるよう、対面での講座を前期から開催した。模擬試験は原則として 3・4 年生に対して、社会福祉士模擬試験は 2 回、介護福祉士模擬試験が 3 回、精神保健福祉士模擬試験を 2 回実施した。また、特別講座の開講と学科教員による直前講座を行った。また、国家試験の手続き及び個別学習指導及びグループ指導の支援を実施した。

iii. 複数教員で担当している科目における教員間の連携

複数の教員で担当している授業科目として、大きく①1 年次の必修科目である「社会福祉学基礎セミナーⅠ・Ⅱ」、②社会福祉士のカリキュラムである「相談援助実習指導」「相談援助実習事前指導」「相談援助実習事後指導」「相談援助演習Ⅰ～Ⅴ」、③介護福祉士のカリキュラムである、「介護実習」「介護総合演習」「生活援助技術」等の授業がある。

1 年次の必修科目である社会福祉学基礎セミナーはⅠが前期科目、Ⅱが後期科目である。それぞれ 20 名以下の少人数クラスに設定されており、入学して間もない学生への個別的な指導が対面でできる授業となっている。各セミナーは専任教員と非常勤講師で構成されており、打ち合わせや配布資料の統一などを行い、情報共有にも努めている。

社会福祉士の国家資格養成のため、相談援助実習、相談援助実習指導、相談援助実習事前・事後指導、そして相談援助演習Ⅰ～Ⅴにおいては 20 名以下のクラス編成が必要なため、複数教員で科目を担当している。

非常勤講師の先生方が複数担当されている相談援助演習Ⅰ～Ⅴ、相談援助実習指導においては、各担当する専任教員がシラバスや教育内容をまとめ、非常勤の先生方にお伝えし、情報の

共有などを行っている。

介護実習及び介護総合演習、生活支援技術・介護技術科目は介護福祉士養成のカリキュラムに合わせ、それぞれ実施している。

iv. カリキュラムワーキングチームの活動

令和5年度から、カリキュラムワーキングチームを編成し、新カリキュラムへの対応や科目の整理などを行った。夏以降、月に1～2回会議を行い、より良い学科を目指し話し合いを行った。

IV 保護者懇談会

【人間関係学科】

令和 5 年度の保護者懇談会は昨年度に引き続き対面で行われた。10 月 28 日午後 2 時半より、全体会。引き続いて、社会学専攻は 7127 教室、社会臨床心理学専攻は 7114 教室で開催された。参加者は社会学専攻が保護者 26 名、教員 8 名。社会臨床心理学専攻は保護者 49 名、教員 7 名であった。専攻ごとに内容をまとめた。

<社会学専攻>

1 年生

Q：就職のためにどのようなスケジュールで動いていく感じなのか。

A：基本的には、3 年次の前期にインターンシップ受付が大々的に始まり、後期に各種説明会が多く開催されるようになるなかで活動を開始していく流れになる。より早い段階から準備を意識している学生は OMA をより以前から受講している場合が多い。

Q：演習ではどのようなことをやっているのか。

A：各学年によって異なり、1 年では大学での学びや社会学に関する基礎的なことがらを習得し、2 年ではより応用的なテーマについて考えたり（現代社会論セミナー）、社会調査の演習を行ったりしている（社会調査及び演習）。3 年からは卒業論文に向けた演習になり、自分が書こうとするテーマについて掘り下げ、実際に調査して論文を書き上げる内容になっている。

Q：子どもが何を学んでいるのかよく分からず、本人に聞いても要を得ない。

A：1 年次は基礎的な科目と、広く教養にかかわる全学共通科目の受講が中心になるので、まだこれといった関心がないというのは仕方ないところもある。2 年以降、社会学の専門科目を本格的に受講するようになるので、そのなかで関心を深めていってもらえればよいので、また時間が経ってから聞いてみるとよいかと思います。

2 年生

Q：寮に入っていて日々の生活の様子がよくわからないし、自分とは話をしない。母親を介してしか、娘の話を聞く他はない。

A：これから就職を控え親子の意思疎通をはかる必要も生じてくるので、コミュニケーションには留意していただきたい。

Q：一人暮らしは自立心を養いよい部分もあるが、体調を崩した時に心配。娘は不器用のところがあり、それで躓いている印象だ。

A：お嬢様はまじめすぎるところがあるので、肩の力を抜いて楽に生きてもらいたい。

Q：学生たちはどういうところに就職しているのか。

A：メガバンクの大量採用は数年前で姿を消した。最近の学生の間では専門商社が人気がある。かつて人気だった旅行業や観光産業の人気はまだ戻っていない。

Q：就職に向けて何を頑張ればいいのか。

A：学生が取れる資格は就職ではあまり意味がない。むしろコミュニケーション能力を磨いたほうがいい。

3 年生

Q：3 年生になってから学校に行く回数が減っている。

A：2 年生までで十分に単位が取れているため。4 年生の時に、社会学セミナーと卒論だけになるのが良いと思われる。

Q：就職について漠然と不安がある。（3 年生のためか複数の保護者から）

A：大妻女子大学は就職のサポートが充実しているので安心してもらいたい。内定をもらう時期が友人より遅いと本人は焦るかもしれないが、最終的にはほとんどの学生が内定をもらえるので保護者は不安に寄り添ってもらえると良い。

<社会臨床心理学専攻>

1 年生

Q：一人暮らしの娘の出席状況を知りたい。

A：UNIPA の閲覧するための手続きをお伝えした。

Q：公認心理師養成課程履修の先修条件 GPA が心配。

A：先修条件について説明した。

2 年生以上

Q：ゼミ選びや選抜方法に悩みや不安があるようだ。ゼミ選びによる先への影響（進路）の心配、希望のゼミに入れないことがあるのか、など。

A：ゼミ説明会やオープンゼミ、希望調査の方法と内容、配属の方法などを詳しく説明した。

Q：複数の教員で担当する実習系の授業について、課題評価の偏りについての懸念がある

A：詳細なルーブリックを作成し同じ評価基準で採点する、成績会議での評価のすり合わせを行う、常に同じ教員が同じ学生を評価しないようローテーションを組むなどして工夫をしている。

Q：夏の留学でだいぶ成長があったようだ（数名あり）。

A：MCC 以外の留学プログラムでの参加も増えているようで、何よりです。

Q：就職内定の時期はいつごろからか？

A：4 年前期前の春休みから。但し、業界や企業によって時期は異なるため、学生の志望状況に即した形でサポートをしている。

Q：インターンに行った方がいいのか？

A：一概にインターンに行く方がいいとは言えない。大切なのはどのような体験であれ、それを振り返り、その体験とそこから得られた学びや知見を説明できるようになること。

Q：進路先として、公務員が紹介されていたが、心理学部卒でも心理卒の採用があるのか？

A：国家公務員の技官となると、大学院を卒業した者となるが、地方公務員（例えば、児童相

談所や学童）であれば、採用枠はある。但し、学生の中からボランティアやアルバイトでその分野で活動を行ったり、継続的に頑張れる人が向いているため、在学中から狭き門を目指すための努力は不可欠となる。

【人間福祉学科】

1. 開催日：令和5年10月28日(土)

2. 当日の予定

- ・14時30分～全体会（7127 教室） 学部長挨拶、学科長挨拶
- ・15時00分～学科別懇談会（7318 教室）
- ・保護者参加人数：31名 ・教員参加人数：11名

3. 学科全体会：学科長挨拶、教員自己紹介

- ・教務関係： GPA について、コロナ関連その他の公欠取扱いについて
 - ・実習関係： 実習の実施状況、2年生の配属試験等について
 - ・国家試験関係：受験者の動向、受験対策等について
 - ・学生生活全般：各種配慮願い、大学行事について
 - ・就職関係：就職率、進路状況、各種学内就職セミナーの紹介
- ※当日の保護者からの質問ならびに回答を以下に示す。

(1年生：保護者人数 10名)

学生は皆真面目に授業に取り組んでいる。高校までとは学習スタイルそのものが変わること
に慣れ、大学での学び方を習得している段階にあるというのが全体に言えることだと思われ
る。

科目ごとに、事前・事後課題があり、それぞれに締切の設定も異なるなかで、慣れない授業
支援システムを活用しながら学習に取り組んでいる。

Q 1. 成績や出席を閲覧するためのパスワードについて

A 1. 入学時に保護者に配布されている。紛失した場合は、教育支援学事グループに問い合わ
せてほしいと伝えた。

Q 2. GPA について、社会福祉士の取得のためには、どのくらいの成績が必要なのか。

A 2. 2年時に受ける配属試験では、2年前期までの GPA2.0 以上が必要である。その時点で
難しくても、救済措置がいくつかあること、今回の成績が思わしくなくても、1年後期
と2年前期で挽回できることを伝えた。

Q 3. 娘がスマホで「課題をやっている」というが、PC でやるものだと思っていた。課題は
スマホで取り組めるのか？

A 3. 授業支援システムは、スマホでアクセスでき、オンライン入力の課題であればそれで完
結する。多くの科目でオンライン入力の課題が課されていると思われる。Word や
Excel 等のファイルを作成してそれを提出する場合は、PC を使用することになる。厳

密に言えばスマホでも可能だが、ファイル編集の操作性を考えると PC の方がよい。日常的にはスマホで完結することの方が多いため、PC 操作に不慣れな学生が多いのも事実である。

Q 4. 実習先はどのような基準で決まるのか？ 遠方になることもあるのか？

A 4. 実習を指導できる要件を満たした施設・機関で、本学が実習先として登録しているところになる。適当な施設・機関がない場合は、新しく施設を登録する場合もある。登録されている施設・機関から、実習の分野（高齢・障害・児童・地域）および学生の居住地を勘案して、実習先が決定される。

Q 5. 学習成績や出席状況が Web で確認できることを初めて知った。今後活用したい。

A 5. 学科別懇談会でも説明があったように、GPA は資格取得に向けた要件の一つにもなっている。すべての科目が B 評価だと GPA2.0（社会福祉士の要件）になるため、目安にしてもらいたい。

※その他、感想や意見等について

- ・楽しく大学に通学しているのを見て、安心している。
- ・スポーツフェスティバルについて、家で話題となった。大学でこのような催しがあるのが珍しいと感じた。
- ・アルバイトを始め、学校との両立をどのようにしているか心配であったが、大学での様子を聞いてほっとした。

（2年生：保護者人数 11名）

Q 1. 一般企業の就職活動が不安である。学科として福祉系がメインだと思うが、企業就職をめざす場合、今何をすれば良いのか。

A 1. 福祉系、企業系の両方に対応しているので心配は要らない。企業就職の場合、早めにインターンシップに取り組んでいる。インターンシップに対応する就職講座等も準備しているので、活用してほしい。学生の中には複数の資格取得を目指す者もいるが、本人のキャパシティに合わせてゆっくり選んでほしい。

Q 2. スポーツフェスティバルの実行委員を頑張っていた。4 年に実習に行くことになる場合、就職活動も含めて大丈夫か心配である。

A 2. 実行委員の経験は無駄ではない。その経験を活かして就職活動に取り組むことができる。内定率も 90%後半なので、心配しなくても大丈夫。

Q 3. 福祉系と企業系就職で迷っている。

A 3. 資格取得と企業就職の両方を目指す学生もいる。ギリギリで進路を決める学生もいるため、迷っていても問題ない。

（3年生：保護者人数 9名）

Q 1. 自宅が遠方のため毎日 2 時間以上かけて通学をしている。往復するだけで精一杯だと思う

うが本人は楽しい様子。就活に向けて「学チカ」をする時間が無いため、心配している。

A 1. 長距離を欠席せずに通学できたことも学生の努力であり、力と考えることができるのではないだろうか、等の意見交換を行う。

Q 2. 同様に、遠方からの通学に加え、コロナ禍でサークルに入ることもできなかった。今からでも多摩キャンパスで活動できるサークル、人気のあるサークルはあるか。（就活も視野に入りたい）

A 2. 現時点で、就活（学チカ）のためのサークルに入る必要はないと考える。3 年生はサークルを引退する時期かもしれない。学生に人気があるのは手話やバルーンアートで、身につく技術があるため、特技として披露できる。

また、学チカとしてアピールできるポイントは、ゼミ活動や実習、ボランティア等もあると思う（具体例を挙げてお話しする）。

Q 3. これまで化粧等をしたことがほとんどなく、就職活動に向けた身だしなみなど心配。

A 3. 保護者のための就活説明会で配布された、就職支援グループの「就職関係行事日程」を基に、化粧やリクルートスーツの選び方等の講座があることをお話しする。

講座がなくても、就職支援グループに相談してみるとアドバイスがもらえる。

Q 4. 就活を始める時期について悩んでいる。一般企業も福祉職も視野に入れているが、授業を休みたくないため、企業の説明会等に参加するのをためらっている。

A 4. 一般企業と福祉職の両方を視野に入れしていると長い期間就活をすることになる。福祉職も一般就職と同じ時期に就活が始まるところもあれば、4 年次秋や冬頃から求人があるところもある。一般企業の活動は、3 年次の 2・3 月くらいからが良いと思うので、焦りすぎないことも大事である。福祉職に決めきれず、またご家族等からの助言もあり企業への就活をしている学生もいる。迷いが強いとなかなか一般企業の内定が取れず、悩んだり自己肯定感が低くなる場合もある。

学生には声を掛けていくように努めたい。

※就職説明会等、就活関連は公欠にならないことも説明する。

（4 年生：保護者人数 1 名）

1 名の保護者のみの参加だったため、学生の就職状況や資格取得に関する情報交換を行った。

※全学年を通して、成績（GPA）、実習関連、ガクチカを含む就職関連における関心の高さがあらわれていた。

V オフィスアワー

今年度は対面授業が8割となり、オフィスアワーの活用もコロナ前に戻りつつある。
このオフィスアワーを導入して20年目を迎えた。

表1. 令和5年度オフィスアワー実施要綱

活動目的	オフィスアワーは、学生の大学生活全般にわたる相談を通じて、学生がより良いキャンパスライフを送れるように支援する組織的な活動である。
相談内容	相談内容学生生活全般に関わる事柄であり、特別な制約は設けない。
対象者	対象者本学の学生個人又はグループとする（学部・学科・専攻は問わない）
担当者	学生は、クラス指導主任やゼミ担当教員に限らず、人間関係学部全専任教員（助手は除く）と相談することができる。
相談時間	①月曜日から金曜日までの1 時限から5 時限（昼休みを含む）、土曜日の1 時限から2 時限（昼休みを含む）のうち、原則として1 コマ（90分間）を相談時間に当てる。 ②指定時間外は事前予約により相談する。
相談場所	原則として各専任教員の研究室とする。
実施方法	①教員はオフィスアワーとして設定した時間内は研究室に在室している。 ②教員は、学生が安心して相談できるように事前説明を行ない、特別なことがない限り他に漏らさないことを説明する。
周知方法	①教員は、毎年講義開始時にオフィスアワーの利用を学生に伝える。 ②新年度毎に「人間関係学部オフィスアワー・スケジュール一覧表」を作成し、学生への配布および学部掲示板（1 階）、各共同研究室掲示板（4 階）に掲示する。
FD 報告	担当教員は、オフィスアワーに関する意見・感想等を当該年度のFD 報告書に掲載するため、報告書（年度末に別途配布）を提出する。

対面によるオフィスアワーでの実施が増えた一方で、メール、Zoomなどを活用したオンラインでの相談も継続して利用されており、相談方法の多様化が定着しつつある。

オフィスアワーの時間帯に相談を受けた教員もいたが、授業終了後などに入ることも多く、教員は柔軟に対応していた。相談内容は、授業全般に関すること、友人関係、メンタル、進路相談などが多かった。以下に、各教員からの主だった意見や感想を掲げる。

- ・授業の質問、資格課程の継続、心身の相談、他者との関わり相談等、多岐に渡る話を聞かせて貰う機会が少しずつ増えてきたように思う。
- ・学部や大学院のゼミ生が卒業論文研究や進路に関する相談で来室することが多くあった。気軽に相談できる時間帯として有効に機能したと思う。またオンラインでの相談はかなり減少した。次年度も対面中心のオフィスアワーになると予想している。
- ・今年度は、オフィスアワーが周知されていたようで、この時間帯における相談が多かった。来年も引き続き、周知を徹底させることが大切だと思う。
- ・メールでのやり取りは時間と場所に拘束されないので、空き時間を活用して適宜きめ細かく対応ができたと思う。

全体的にみると、このオフィスアワーについては、年度初めの周知が徹底しており、スムーズに運用されていたように思う。中には、あまり活用しなかったという感想もあるが、時間割配置等、タイミング的な要素もあると思われる。次年度も、対面、メール、Zoom などを活用したオフィスアワーを継続していくことが望ましいと考えられる。

オフィスアワー【大人2023(R5)】											
	月	火	水	木	金			氏名	ｼﾏｲ	オフィスアワー	
1	9:00				通年	香月 菜々子	9:00	伊藤 美登里	イトウ ミリ	通年 火	昼休み
	10:30						10:30	井上 修一	イノウエ シウイチ	通年 水	昼休み
2	10:40				通年	本田 周二	10:40	上野 優子	ウエノ ヨウコ	通年 木	昼休み
					通年	三好 真		牛山 美穂	ウシヤマ ミホ	通年 火	昼休み
	12:10						12:10	小川 浩	オガワ ヒロシ	通年 木	昼休み
								尾久 裕紀	オキエウ ヒロキ	通年 木	昼休み
屋	後期	春日 文	通年	上野 優子	通年	田中 俊之		春日 文	カサハ アヤ	前期 金	3限
休	通年	嶋貫 真人	通年	小川 浩	前期	堀 洋元				後期 月	昼休み
み					通年	牧野 智和		香月 菜々子	カツキ ナナコ	通年 金	1限
								金 美辰	キム ミジン	通年 木	昼休み
					通年	久保田 滋		久保田 滋	クボタ シゲル	通年 木	昼休み
					通年	田中 優		蔵野 ともみ	クラノ トモミ	通年 水	4限
					通年	千川 剛史		小谷 敏	コタニ ユウジ	通年 月	4限
					通年	八城 薫		齊藤 豊	サイトウ ユウカ	通年 木	3限
				後期		山本 真知子		阪井 裕一郎	サカイ ユウイチロウ	前期 木	4限
										後期 月	4限
3	13:00	通年		通年	前期	春日 文	13:00	嶋貫 真人	シマスキ マサト	通年 月	昼休み
	14:30						14:30	田中 俊之	ナカハ トシユキ	通年 金	昼休み
4	14:40	通年	蔵野 ともみ	前期		阪井 裕一郎	14:40	田中 優	ナカハ マサシ	通年 木	昼休み
		後期	通年	通年		丹野 真紀子		丹野 真紀子	タノ マキコ	通年 木	4限
	16:10	通年	原野かおり				16:10	原野かおり	ハラノ カオリ	通年 水	4限
5	16:20						16:20	飛田 和樹	ヒダ カズキ	通年 月	4限
	17:50						17:50	福島 哲夫	フクシマ テツオ	通年 水	昼休み
		月	水	木	金			古田 雅明	フルタ マサアキ	通年 火	4限
								千川 剛史	チノカワ ユウシ	通年 火・木	昼休み
								堀 洋元	ホリ ヒロト	前期 金	昼休み
										後期 火	昼休み
								本田 周二	ホンダ シュウジ	通年 金	2限
								牧野 智和	マキノ トモカズ	通年 金	昼休み
								三好 真	ミヨシ マコト	通年 金	2限
								八城 薫	ヤシロ カオル	通年 木	昼休み
								山本 真知子	ヤマモト マチコ	前期 火・水	昼休み
										後期 火・木	昼休み

オフィスアワーを利用する際は、相談を希望する教員のメールアドレスに連絡をして、予約をとってください。

*件名 ⇒ オフィスアワー利用希望:▲月▲日(方法:○○)

*▲ ⇒ 希望日

*○○ ⇒ 対面 or オンライン

*本文 ⇒ 所属、氏名、学年、相談内容の概要、その他(何かあれば)

*対面の場合の場所は、原則、各教員の個人研究室です。

【本件に関する問い合わせ先】

ningenfd@ml.otsuma.ac.jp

人間関係学部FD委員会 2023(R5)

齊藤豊(学部長)、福島哲夫(学科長)、上野優子(学科長)

大人社/伊藤美登里、大人心/三好真、大福/山本真知子(委員長)

Ⅵ クラス指導

クラス指導主任（担任）制度は、本学独自の制度と言える。現在人間関係学部には、3つの学科専攻に1年から4年まで、それぞれ2クラスの計24クラスが存在し、各クラスに1名の指導主任が配置されている。学部全体の教員の約8割が、クラス指導主任の仕事を担っている。

クラス指導主任の主な業務は、指導下のクラスの学生の相談に応じることである。現在、クラス指導主任には、1学期間のGPAが1.5に満たなかった学生への履修指導が義務付けられている。さらに2019年度入学生からは、1年間のGPAが、0.75未満でかつ、その学年までの標準履修単位の3分の1未満の単位しか取得していない学生に対しては、学科長同席の上での履修指導を行うよう義務付けられている。これは人間関係学部だけではなく、全学的に実施されている。

クラス制度は、学生たちにとっては、高校時代までになじみの深いものであり、概ね好感をもって受け止められている。また、3年生にならないとゼミは始まらないため、クラスは学生たちにとっての大学内での所属集団=居場所ともなっている。大学に入学してまずクラスの中で友だちをみつけ、在学時代を通して、さらには生涯にわたる交友を続けるケースも数多く見受けられる。

学院側では、千鳥会の補助を得て、学生一人当たり1500円の懇親会費をクラス指導主任に支給している。春の新学期が始まった直後に開催されるクラス懇親会は、メンバーの結束を確かなものとする場として機能してきた。しかし、2020年度と2021年度は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、懇親会を開催することができず、個別に焼き菓子を配るなどして、これはこれで非常に喜ばれた。学生によっては学外において数人で一緒に食べたという話も耳にした。

2022年度はコロナ禍は改善されたものの懇親会を開く教員は少なかった。2023年度はやつと常態に戻り、広い空間でのピザパーティなどを中心として、懇親会を開くことができた。

このピザパーティやゼミ合宿などを復活した教員からは、学生たちがこのようなイベントを渴望していたこと、そしてさらに経験不足から来るであろう「段取りの悪さ」と「イベントでの消極性」なども漏れ聞こえた。これらはコロナ禍の大きな後遺症と言わざるを得ないだろう。

個別の相談に関しては、ここ数年と同様Zoomやmanabaを使つての相談に加えて、研究室での対面による相談も復活しつつあった。個別相談におけるオンラインの使い方は、非常に手慣れた学生が多く、これはコロナ禍の副産物だったとすることができる。

VII 人間関係学部FD研修会

今年度は、原則対面での授業展開により、キャンパスでの対面授業が日常となった一方で、大学教育・研究の質を向上させる機会の充実化を目指し、学部でのFD研修会が実施された。また、学科・専攻を超えた教職員同士の相互理解と研鑽のための横断的な交流をさらに図るため、今年度から新たに迎えた新任教員や助教・助手、大学職員の参加も呼びかけた。本学部における教育・研究の場面で抱えている課題として、次世代に向けた意識づけ・知見・取り組みに関する資源を学部内で横断的に共有を図る事を目的として、「次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～」と題して研修会を実施した。

研修会は、多摩キャンパスにて対面で行われた。分科会では、3つのテーマに別れて実施した。各分科会において、学部で実際に起きている問題・課題に向き合う活発なディスカッションが行われ、研修会終了後は、アンケート調査を実施した。研修会での意見や情報共有、アンケートでの回答に基づいて、今後は、生産的な開発・発展に向けた教育・研究、研鑽を含む各種活動に取り組んでいく。

令和4年度 人間関係学部FD研修会 [2023.12.8(金)] (全体司会：山本FD委員長)

「次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～」(全体会：7318教室)

17:00～開会の挨拶(齊藤学部長) ➡ 17:15～分科会(各教室へ) ➡ 18:30～各分科会の結果報告(各分科会司会) & まとめ(小川副学長)

第1分科会	7385教室	第2分科会	7386教室	第3分科会	7313教室
違う学年でのコミュニケーション ～教員と学生の連携について～		授業の展開の方法 ～AIツールの活用など～		教員の研究と大学教育の両立や展開の方法	
石坂 和弘	多摩事務部	伊藤 美登里	大人社 FD委員	大坪 美香	大福
井上 修一	大福	牛山 美穂	大人社	小野 聡士	大人心
上野 優子	大福 FD委員 学科長	小川 浩	大福	金 美辰	大福
春日 文	大人心	尾久 裕紀	大福	藏野 ともみ	大福
久保田 滋	大人社	香月 菜々子	大人心	阪井 裕一郎	大人社
小谷 敏	大人社	杉田 雅治	大福	田中 俊之	大人社
嶋貫 真人	大福	丹野 真紀子	大福	田中 優	大人心
古田 雅明	大人心	飛田 和樹	大福	原野 かおり	大福
堀 洋元	大人心	★福島 哲夫	大人心 FD委員 学科長	古市 孝義	大福
★三好 真	大人心 FD委員	藤本 優	大福	千川 剛史	大人社
山崎 なる美	大福	八城 薫	大人心	本田 周二	大人心
齊藤 豊	大人社 FD委員 学部長	齊藤 豊	大人社 FD委員 学部長	牧野 智和	大人社
★司会				山崎 有望	大人心
				★山本 真知子	大福 FD委員長
				齊藤 豊	大人社 FD委員 学部長

<アンケート集計結果>

*回答数：35名

*実施時期・実施方法について：実施時期については、年度初めや例年通り通りなど意見が分かれた。一方で、分科会に分かれ、さらにスモールグループでのディスカッションをおこなう実施方法については、好評であり、引き続き、同様の形態での実施の希望もあった。

*研修会の内容：3分科会とも、いずれも好評との結果であった。

*今後への希望・要望：どの分科会にも参加したい。引き続き、今回出た内容を継続的・発展的に議論していくのもありという意見があった。

参加した分科会	今回行われた学部 FD 研修会の内容、実施時期、実施方法等について、ご意見、ご感想をお聞かせください。
第1分科会 「違う学年でのコミュニケーション～教員と学生の連携について～」 <7385 教室>	各分科会による発表を伺い、多摩キャンパスに人間関係学部の1学部しかないからこそできるフットワークの良さ、まとまりの良さを感じました。メンター制度やクラウド活用、研究と教育の融合実践など、多摩から、人間関係学部から発信できればと思いました。
	実施時期や方法に関して現状で異存はありません。企画から当日の運営に至るまで、委員の先生方ありがとうございました。
	実施時期は長年の積み重ねがありますので、すっかり定着しており問題ないと思います。実施方法も分科会と全体会との組み合わせが良いと思いました。今回の研修会の内容もさることながら、他学科、他専攻の先生方と日ごろゆっくりと同じテーマで話すことはないのも、とても貴重な時間となりました。どの分科会も参加したいので、3年くらい同じテーマで実施しても良いと感じました。FD委員の先生方のご尽力に感謝申し上げます。お疲れ様でございました。
	普段、ゆっくりお話しできる機会がありませんでしたので、先生方と自由にディスカッションでき、大変有意義な時間となりました。これまでの歴史をおうかがいしたり、社会や福祉の先生方の取り組みを知るなかで、大変さややりがいなども分かち合えたように感じました。具体的な案もあがり、すぐにでも実行したいです。FDの先生方、お忙しい中、ご準備、とりまとめ頂きまして、誠に有難うございました。
	各専攻がばらけてのスモールグループディスカッションは、普段なかなか話をする機会がない中での情報共有も図られ、全体共有で、今後の方向性・発展性も感じられる議論となりました。様々なテーマで、今後も進めらる一方で、今回出た内容を継続的・発展的に議論していくのもアリなのではと感じました。
	実施内容、時期、方法は、良かったと思います。他学科他専攻の様々な情報が共有できて良かったと思います。
	大変興味深く感じました

	異なる学年の学生同士のコミュニケーションについて、他学科の先生との議論を経て新たなヒントを得ることができた。しかし、同時に多摩キャンパスの規模縮小という厳しい環境下において、個々の教員の努力でなしうることは大きな限界があることも明らかになったような気がする。
	学部 FD 研修会ありがとうございました。 各学科での共有や意見交換ができ、とても有意義な時間でした。 ありがとうございました。
	他学科の先生方から有益な情報を得ることができました。
	非常に有意義でした。先生方のご苦勞の一端がわかりました。
第 2 分科会 「授業の展開の方法 ～AI ツールの活用など～」 <7386 教室>	とても勉強になりました。やはり、対面での研修会は研修内容もさることながら、集まっているという事の良さを痛感します。
	先生方が使われているツールのお話を聞かせていただき勉強になりました。途中退出となってしまう申し訳ありませんでした。
	今回も有意義な時間となりました。最後の他の分科会のまとめも聞かせていただけるのがいいですね。内容、時期、方法いずれもよいと思います。お忙しい時期に開催準備から運営までご担当くださった FD 委員長はじめ委員の先生方に感謝申し上げます。
	話題提供があつてからのディスカッションの方が話しやすい感じがしました。それでも皆様の様々な活動についてお話を伺えたことはとても勉強になりました。
	ひとつのテーマからさまざまな方向に発展した議論ができてよかったと思います。
	教育現場における AI ツールの活用について、自らが実践しているというよりも、純粋に興味があり、情報を得るために参加いたしました。AI ツールの活用しやすさが、専攻の特色や学生の特徴によっても異なることが明らかとなり、またテーマの出し方を工夫することで AI への依存や剽窃を防ぐことができるなど、さまざまなアイデアを得ることができました。最終的には大妻の学生さんがこれからの社会で生き延びていくために、必要な IT 技能とは何かというところにまで話が発展したことも有意義だったと思います。manaba の達人になったところで社会的な価値は低いというあたり、非常に考えさせられます。 実施の時期については、今年度はたまたま 2 週にわたり FD が続くのですが、この時期、専攻によっては卒論修論指導で佳境ですので、続いてしまうとやはりハードだと感じました。というよりも、FD の先生方が大変だったのでは？と想像しておりました。忙しい合間を縫って、非常に有意義な会の企画を本当にありがとうございました。
	途中で帰宅しなければならず、最後までいられなかったのですが、大変有意義だったと思います。

	AI 等に造詣の深い教員がいるわけではないため、基本的には既知の情報共有に留まった。学生が修得すべきスキルを考えて、manaba のような限定的なシステムを一方的に利用するよりも、汎用性の高い（世間で用いられている）システムを主体的に活用させたほうがよいという話に及んだのは良い議論だったと思う。
	・ chatGPT による文章を作成したものについての取り扱いを知ることが出来た。 ・ 今後 AI をいかに使いこなすかが必要になることが分かった。
	とても勉強になりました。やはり、対面での研修会は研修内容もさることながら、集まっているという事の良さを痛感します。
	先生方が使われているツールのお話を聞かせていただき勉強になりました。途中退出となってしまい申し訳ありませんでした。
	今回も有意義な時間となりました。最後の他の分科会のまとめも聞かせていただけるのがいいですね。内容、時期、方法いずれもよいと思います。お忙しい時期に開催準備から運営までご担当くださった FD 委員長はじめ委員の先生方に感謝申し上げます。
第 3 分科会 「教員の研究と大学教育の両立や展開の方法」 ＜7313 教室＞	それぞれの学科専攻の先生方でお話を共有することができ、とても参考になりました。FD 活動ではありますが、同じ学部内の連携や親睦にもつながると感じました。座談会形式は継続したいです。
	小さなグループに分けてくださって、話しやすい環境を提供頂きありがとうございました。
	3 専攻・学科の先生方のご意見が伺えたので、参考になりました。
	この時期だからこそその成果と年末がきたという思いにもなりますが、例年早い時期だと授業や学生指導に活用できると思うことがあります。
	全体会で、各グループのご報告がありましたが、FD 委員の先生方のまとめが明確で分りやすく、出席していない分科会についても内容が分り、勉強になりました。ありがとうございました。他にも出席したい分科会があったので、良かったです。
	他学科、他専攻の先生のお話が聞ける貴重な機会となりました。ありがとうございました。
	普段あまり話すことのできない他の研究者の両立の悩みを聞いたことは貴重でした。いろいろとアイデアをいただいたり、共感しあえたりと有意義な時間になりました。
	経験豊富な先生方のご意見を聞かせていただき、とてもいい時間を過ごすことができました。他学科の先生方との交流も、なかなかないので、このような機会があるといいと思います。実施時間は、19 時までには、少し長いように感じました。本日は、ご準備、取りまとめありがとうございました。
	実施時期と方法とも良かったです。
	内容は毎年すばらしいのですが、卒論提出前の週末という開催時期は厳しいものがあるかと毎年思っております。

	FD 委員の先生方のご尽力に感謝します。 どの分科会のテーマも興味深いので全体で最後に各分科会の内容をシェアいただけるのはうれしいです。ちょうど次の週が卒論提出なので、可能であれば一週間後にずれると助かります。
	「学部長は来年は」とおっしゃっていた研修会の後の懇親会があれば、さらに有意義な議論が展開すると思いました。
	第 3 分科会では教員の研究と大学教育の両立などについて話し合うことができました。大学で勤務するようになってから、メインとなる業務（実習担当や学生への対応など）に加え、個人の研究時間を帰宅後や休日といった時間外にコンスタントに確保することに苦勞していたため、常々大学教員の皆様は時間管理や切り替えなど、どのように工夫をされているのか気になっておりました。分科会ではこの点について専門領域や年代を問わず、幅広く意見交換ができ大変参考となりました。大学教員としての働き方の特殊さや大変さなどについてもあらためて認識することができたとともに、こうした共有できる場を設けていただけたことがとても有難かったです。また、第 1 分科会では違う学年や教員と学生の連携がテーマとなっていました。この FD 研修会全体が学部教員間での連携やコミュニケーションを促進する上で重要な役割を担っているようにも感じました。ありがとうございました。
	参加の先生方の研究への姿勢や取り組み等参考になることばかりでした。ありがとうございました。
全分科会	内容はよかったと思います。学科・専攻を超えた教員の交流もできましたし、総じて、良い会でした。
	学科・専攻を越えて意見交換する学部 FD の良さを改めて実感しました。 企画して下さった FD 委員の先生方、ありがとうございました。

VIII 学友会代表とFD委員会・教職員との懇談会

今年度は昨年度に引き続き、多摩キャンパスの学生と教職員による懇談会として、様々な意見や要望等を全員で共有し、少しでもお互いが納得し、学生が充実した学生生活を送ることができるように、その一助となることを目指して実施した。

1. 日時：2023（R5）年 12 月 15 日（金） 12:20～12:55

2. 開催方法：対面 7 号館 4 階会議室

3. 出席者：

学生代表（学友会役員と学友会委員）

（学友会役員）酒井 りな（大人心 2：学友会会長）・河原 彩乃（大人心 2）・藤巻 由紀（大人心 1）・多田 茉央（大人心 1）・川村 桃々（大人社 1）・大野 心愛（大人社 1）・吉住 優（大人社 1）・中村 琴乃（大人社 1）・加藤 莉奈（大福 1）

（学友会委員）卜部 梨里子（大人社 2）・宮島 理緒（大人福 2）・羽田 乃絵留（大人福 2）

教員（FD 委員）

齊藤豊（人間関係学部学部長）・福島哲夫（人間関係学科長）・上野優子（人間福祉学科長）
伊藤美登里（社会学専攻）・三好真（社会・臨床心理学専攻）・山本真知子（人間福祉学科委員/FD 委員長）

4. 内容

<学友会役員からの報告>

①移動販売（キッチンカー）の売上から、今後はドーナツ以外の新たな店舗の依頼を行いたいとの意見があった。

➡キッチンカーの場所の確認やキッチンカーを斡旋してくださる不動産屋さんの情報、また学生へ SNS を通じたアンケートなどで今後依頼をする店舗を考えていく。その際、昨年度この懇談会で出た購買部に売っている商品や学食との競合をしないようなキッチンカーに依頼するなどの意見が出された。また、学食の赤字の件も話題に出され、学食の利用も行ってほしいという意見もあった。

②学友会の総会の出席状況が年々下がっている報告と学生が参加しやすい日程にしてほしいという意見があった。

➡学友会は学生の自治的な組織のため、教員側から強く出席するように義務化することは難しいといった意見の一方で、TEP が学友会総会の日は休講になるので参加してもらえないことなどの意見が出され、1・2 年生の必修科目のある日で学友会から良い日程を大学側に意見を出してもらいたいという話題が出された。学友会からも特別講演に人が参加したいと思うような広報や講演者探しをしていきたいということであった。

<提案>

①学生主体のオープンキャンパスを行いたい。

現在大学側が運営を行っている OC では学生の意見が反映しづらい。例えば、サークル体験の時間が設けられていないため、人が集まらないことがあった。また、学生相談コーナーでサークルの質問を受けても答えられないなどミスマッチがある。そのため、来年度以降学友会や学友会委員が中心となって学生主体のオープンキャンパスを行いたい。

➡教員からは、早速入試委員や入試・広報グループにその旨を伝え、来年度から学生主体の時間などを OC に取り入れてもらえるよう意見をあげていきたい。

②学友会委員の活動がよくわかってもらっていないようで、学友会委員の活動である唐木田駅前の花植えの活動も出席率が非常に低いといった結果になっている。そのため、クラス委員を決める際に、学友会執行部から説明に行くことや動画などを作成して広報したい。

➡まず駅前の広場の PR（大妻女子大学が花植えを行っているなどわかるように看板を立てる等）を行っていくのが良いのではないかという意見、また教員側も学友会委員の活動を十分に理解しているわけではないので、パンフレットなどを作成していただくなどがあれば、委員決めの際に学生に周知することができるし、その方がありがたいという意見があった。その際、他の委員も含め学生からの意見を伝えられるとさらにわかりやすくなるといった意見もあった。

<その他の要望>

①フォレストカフェのカウンター席にコロナ禍の際にあった仕切りがなくなってしまったが、知らない人同士顔を見合わせて食べるのが気まずいことがあるので、仕切りを再度設置してほしい。

➡事務側に意見をあげてできるだけ仕切りを入れていただけるようにする。

②7号館にポットが欲しい。お昼時、フォレストカフェが混んでいて座れないことがあり、7号館のラウンジで昼食を食べるときがある。その際、カップ麺などを食べる際近くにお湯がなく6号館まで移動しなければいけないので、7号館にもポットがあると便利であるのでお願いしたい。

➡可能であるか検討して、ポットが置けるようであれば対応したい。（水の継ぎ足しなどの課題もある。7号館4階の給湯器の場所を学生に周知する、ウォーターサーバーでお湯の出るものを設置するなどの方法もあるか？）

③学食に行きたいと思っても、メニューがわからないことがあって、7号館から学食まで移動するのが面倒になるので、人が流れるようにできればありがたい。

➡意見をあげていくことや、100円の学食の継続などできることをしていきたい。

④7号館にウォーターサーバーが欲しい。マイボトルを持ってくることもあるが、水を入れる場所が学食に行かないとないので困っている。また、給水機は衛生面で使いたくないとい

う声もあるので、マイボトル用のウォーターサーバーが 7 号館にあるととても便利である。

➡昨年度も給水機に関しての意見が出たが、確かにマイボトルに入れ替えるのは不便であると思うので、意見を大学側にあげていきたい。(②のポットの件と関連するが、お湯の出るウォーターサーバーなどの導入は可能か?)

IX 非常勤講師との教育懇談会

人間関係学科

令和4年度の授業担当者懇談会は、5月27日土曜日の午前10時30分から、社会学専攻、社会臨床心理学専攻とも ZOOM にて行われた。参加者は、社会学専攻が、専任7名と非常勤講師8名。

社会臨床心理学専攻は、専任9名、非常勤講師7名、助手1名、助教（実習担当）1名が参加した。交わされた質疑は以下のとおりである。

（社会学専攻）

Q1：セミナー授業で、現時点で2回（無断）欠席の学生がいる。対応はどうか。

A1：その学生は、昨年度に関しては大きな問題はない学生であった。もう少し様子を見て、さらに欠席が続くようなら教務委員に相談してほしい。

Q2：（全学共通科目担当で）オンラインになってから一度も学生の顔を見ていない。可能なら対面に戻してほしい。

A2：現時点のルールでは、（秋に）申し込みをすれば次年度対面にすることは可能である。また、現在、来年度の全学共通科目をオンラインのままか対面に戻すか大学全体で協議中であるので、決定後、通知予定である。

Q3：対面授業だが、事務方のミスでオンライン授業とシラバスに表示されてしまった。受講者がいったん多くなり、広い教室をあてがわれ、設備が格段に使いやすくなった。小さい教室の方が機器の使い勝手が劣る。

A3：事務方の不手際で申し訳ない。また、予め（次年度の）授業で使いたい機器を書類に書いておくとその設備が備わった教室に配置される。また、予め教室を指定する方法もある。

Q4：オンライン授業を現在やっていて、来年度以降、対面に变化する。授業内容や方法の切り替えをどうするか考えているところである。また、受講者数200名のオンラインで課題のフィードバックが大変なため、2回くらい、課題フィードバックの授業回を設定し、そこでまとめて講評をしている。

A4：負担にならない程度のフィードバックのやり方は他にもあるかもしれない。例えば、オンラインで学生課題レポートのいくつか優秀なものを次回授業の冒頭でピックアップし読み上げ教員から口頭でコメントをだす方法などであれば、それほど負担ではないかもしれない。また、オンラインが対面授業に変わった際も manaba の活用は継続させ、学生コメントを共有し、教員が学生コメントにコメントする形にすると、オンラインの良さも対面でも継続できる。

Q 5 : 外部のゲストを招きたいが、その手順はどうすればよいか。

A 5 : 教育支援・学事グループに問い合わせさせていただきたい。

(社会・臨床心理学専攻)

Q 1 (専任教員から) : 学生、授業について気になっていることはありますか？

A 1 :

- ・学生たちは、発言の内容を聞いていても優秀だと感じる。授業内容に関して、質問を受ける機会がない。興味を持ってもらえるのか？一般教養の科目でも、学生にとって魅力に感じられる工夫を模索したい。
- ・大部分の学生さんは大変熱心に積極的に授業に取り組んでくれています。とても優秀であると感じています。しかし、一部の学生さんがすでに欠席の多い状態になってしまっており、心配しています。
- ・(オンデマンドの授業) manaba 上で熱心書いている。特別に配慮が必要な学生は若干名。「オンラインの方が質問したい」VS「対面の方がしやすい」という声がある。どのような工夫ができるか？授業中で扱うトピックによって学生が苦しくなってしまう事が気になっている。
- ・(オンデマンドの授業) 出席を全くしない学生がいる。8割ぐらいは、毎回出席している。昨年並みの出席にある。
- ・授業も対面となり、これまでに一番多い受講者数となった。自分を振り返ると過去のことを思い出して、つらくなってしまう学生がいる。課題の負荷についてバランスを取りながら進めている。欠席が続いている学生さんが大学に戻れるようになればと感じている。
- ・オンデマンドの授業は、自己管理ができる学生とできない学生で得手不得手の2極化があるように思う。
- ・(欠席の多い学生について) UNIPA の出席管理システムで学生自身も把握しやすくなっているので、選択科目については、特段細かい関わりをしていない。
- ・後期の授業については、後期履修登録で修正したり、履修取消制度によって、履修数の変動があるのが学部共通科目での特徴でもある。

Q 2 (非常勤講師から) : 少人数のクラスなのですが、英文読解の基礎を教えるにあたってどうしても上意下達的なレクチャーの要素が大きくなってしまいます。もっと水平なディスカッションもしたいのですが、良いやり方がありますでしょうか。

A 2 :

- ・大妻の学生はディスカッションが苦手な人が多くて、長年その点は苦慮しています。ゼミでも、よほどメンバーに恵まれないとディスカッションになりません。その代わりに順番に話してもらおうとか、紙に書いてもらうなどをするとかかなりできる感じになります。
- ・respon を使ってみてはどうでしょう。
- ・ペア・トリオでのチームでの進め方もいかがですか。

- ・トピックの難易度や順番の工夫もいかがですか。

Q 3 : 配慮学生について、障害学生就学支援相談員に連絡したが、一か月過ぎても返事をいただかず、対応に苦慮しました。挙句に戻ってきた答えが「把握する部署ではない，配慮の具体的な方法も先生のご判断で」と言われました。どうすればよかったのか教えていただけるとありがたいです。

A 3 :

- ・学生委員会でも改めて共有、確認いたします。
- ・非常勤と専任教員とのつながり、相談できる窓口があるとよい。
- ・学生対応のことでお困りの際には、まずは共同研スタッフにお声をかけていただき、専攻主任、教務委員、学生委員など専任教員と連携し、対応していけるようにしていきたいと思います。

以上

人間福祉学科

*開催日時：令和 5 年 5 月 27 日（土）10 時 30 分～12 時 00 分

*開催方法：Zoom によるオンライン

*出席人数：専任教員 11 名 非常勤講師 12 名

はじめに、学科長より挨拶があり、本学科に対する協力への感謝の意が述べられた。続いて、参加頂いた非常勤講師の皆さまから、簡単な自己紹介があった。その後、教務委員より、「コロナ感染症 5 類移行に伴う今後の授業その他の取扱い」、学生委員より、「コロナ感染状況関連」「就職状況」、FD 委員より「授業改善のためのアンケート依頼」等について説明があった。

その後の意見交換で話題となった内容については下記の通りであった。

○意見・要望等について

Q 1：学生から提出される書類の扱い（遅延証明書等）に悩んでいる。

A 1：授業期間中は、教務委員やその他の教員に確認頂きたい。実習や感染症に関する届に関しては教務委員より、遅延証明書の取り扱いについては FD 委員より説明を行った。

Q 2：学生の理解度の差が年々大きくなってきていることもあるので、学生の理解度に合わせて進めていきたいと思う。

A 2：学生の個別の理解度に沿って授業を行っていただけることにお礼を申し上げる。今後も学生への対応等宜しく願いたい。

Q 3：パーテーションがある部屋で、学生からパーテーションが不要であるという意見も多いと感じる。

A 3：取り扱いについて、今後、学内で検討していきたい。

Q 4：オンライン授業であると、学生の状況を把握することが難しいことが多い。

A 4：何か不明点等があれば教務委員や窓口になっている教員に相談してほしい。

Q 5：オンライン授業における学生の参加状況はコロナ前と変わらないが、一部の学生が全く参加していないといった状況がある。8 割程度の学生が全回出席している。対面のほうが、学習効果が上がると感じている。

A 5：オンラン授業が苦手な学生もいるのでそのような学生には個別で声をかけるなど対応していきたい。来年度の方法に関しては先生方のご希望や学部間の調整を行っている。

Q 6：実習において、オンデマンド授業の際に関して公欠は対応するのか。

A 6：実習期間が決まっているので、提出の期間を延ばして頂く等の対応をお願いしたい。対面の場合も、公欠は欠席扱いとしないが、課題提出は必須である。課題等について個別対応頂けるか、学生からも先生方にお聞きするように伝えている。

X 人間関係学部におけるFD活動の課題

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響も段々と落ち着き、一部の全学共通科目を除き対面授業を行うことができた。5 類に下がったことにより、マスクの着脱も本人の意思となり学生の表情を確認しながらの授業が行うことができるようになったことは、非常に明るいことであったと思う。その一方、高校生活や大学生活の多くをコロナ禍で過ごした学生にとって、リアルな人間関係の形成やオンラインから対面になることによる負担もあっただろう。

本学部は、各種の委員会や事務部の各部署、学生代表である学友会等と協働の上に成り立っている。全学で取り組んでいる授業改善アンケートに対する改善策等の提出や研修会終了時のアンケート提出方法、各教員からの FD に関する数種の手稿提出やチェック方法については、引き続き Google フォーム等の機能を使って効率の良い作業ができるようになった。授業改善アンケートに対する教員へのアンケートへの回答も多くいただいております、昨年度に引き続き学部 FD 委員会だけでは対応できないことは全学 FD 委員会や各事務の担当者の方に繋ぎ対応をすることとなった。教員からのご意見や要望の中には ITC 機器に関することなども含まれており、これらに対する速やかな対応と各部署への連絡方法や共有方法を引き続き丁寧に行っていくことが求められるだろう。また、学生への授業改善アンケート回収率はオンラインでの回答になってから年々減少していることなどの課題も残されている。今後も学部内だけではなく、全学および各部署との情報共有を進めることで、学生と教員がともに協働し、よりよい授業構築を目指していきたい。

今年度は、学部 FD 研修会を昨年同様対面で開催できた。開催後のアンケートにあったように、新しく着任された教員だけではなく、学科・専攻を超え教員同士が雑談も含め対面で対話する時間の大切さを感じることができた。FD 活動は教育内容・方法等をはじめとする研究や研修を大学全体として組織的に行うことであり、その内容は多岐にわたる。例えば、他学年との交流や繋がりを持つ方法、授業のより良い方法やアクティブラーニングの方法、AI ツールの活用、配慮を必要とする学生への対応、研究を教育へつなぐ方法などである。魅力ある授業を行うためには一人のアイデアだけでは限界なこともある。その際、他の教員からの意見や悩みを共有できることで、その方法だけではなく、土台となる研究も含めて発展させていくことができるのではないかと考える。

少子化の中、大学が生き残るためには学生の満足度が重要であり、その背景には教員の教授方法や研究、教職員間の連携等が必要となる。今後もこれまでの人間関係学部の FD 活動で行ってきたことを継続しながら発展させていくことが望まれるだろう。

最後に、本学部は教員、助教、助手、学務助手で構成されている。各種の能力を生かし、いわゆる適材適所として学部を構成している。助教、助手、学務助手の方々のご協力やご尽力があったからこそ、FD 活動を行うことができた。この場を借りて御礼を申し上げる。

【資料編】 01

【オフィスアワー・クラス指導・教員個々のFD活動：人間関係学部専任】

氏名	オフィスアワーに関する意見・感想	クラス指導の現状	クラス指導で工夫している点	クラス指導に関する意見・感想	参加または企画した学会・研修会等	授業で活用するために作成した教材・テキスト等	教育内容に関する質の向上に向けた取り組み
伊藤 美登里	今年度は、学生にオフィスアワーが周よく知されていたようで、この時間帯における相談が多かった。来年も引き続き、周知を徹底するのがよいかと思う。	多くの学生はオフィスアワーに相談をした。こちらからのメールでの呼び出しには、それに気づかない学生も多少おり、そこへどのように周知させるかが、検討事項であると思う。	相手(学生)が理解するのを気長に待つよう心がけている。	特段困ったことはなかった。	社会学関連の学会や研究会にZOOMで参加し、知見を広げた。	配付資料に用語解説やイラスト入りのイメージ図などを入れ、学生にわかりやすくなるよう心がけた。	関連する分野の知見を広めた。教授方法については、学内のFD研修会を活用し、よりよくなるよう努めた。
井上 修一	特になし	1名呼び出しに応じない学生がいた。できるだけ早い時期に名前を覚え、教室での様子、学内での友人関係等を把握しながら、個別に対応できるように工夫している。今年度は、地域イベント等への参加も呼びかけることができて、その成果が少しずつ見られた。また、気軽に相談できる雰囲気ができきた。	半期ごとの履修指導の際に対面で会うと同時に、普段から相談にのれるように全体に広く呼びかけられるようにした。	学年があがるにつれて、少しずつ多くの学生が研究室に来てくれるようになった。	・日本社会福祉学会第71回大会(武蔵野大学)に参加した。・人間関係学部FD研修会2023(2023.12.8実施)次世代の大学教育へのパラダイムシフト”人と技術の活用”に参加した。	著書『ジェネラリスト・ソーシャルワークの継承と創発』(風間書房)、内容:第1章『ジェネラリスト・ソーシャルワーク実践における「人間:環境:時間:空間」概念の検討』を執筆した。ジェネラリスト・ソーシャルワーク実践における「人間:環境」概念は、当事者にとっても状況を冷静にみる際の概念になりえている。一方、「時間:空間」概念は、実践現場で有効に活用しきれていない。本章では、「時間:空間」概念に新たな解釈を加えながら演繹的に現代的有効性を検討した。	manabaのrespon機能を使い、双方向授業に努めた。
上野 優子	オフィスアワー以外の時間帯も、研究室を訪れてくる学生は多い。場所がら、他学科他専攻の学生同士が情報共有できることは、大変良いと感じる。	担当無し	担当無し	担当無し	学部、全学FD研修会、日本体育・健康・スポーツ学会、第78回体力医学会等に参加。	体験学習の授業テキストとして、4名の担当教員で、執筆、写真撮影等を行い作成した。	1年生の前期期間に、福祉に関連する様々なアンケート調査を実施し(4名の専任教員)、授業内容に反映させた。建設的な意見が多く、このような取り組みは必要と感じた。
牛山 美穂	今年度は、数は少なかったが卒論指導などでうまくオフィスアワーを使ってくれた学生もいてよかったと思う。	それほどクラス指導をする場面がなかったが、お菓子を配るときにクラスの学生たちと顔を合わせることはできた。	何か問題が起これば適切に対処するよう心掛けている。	クラス指導よりもゼミ生の指導のほうが影響力が大きく、クラス指導で学生とかかわることはそれほどない。	人間関係学部FD研修会の分科会「授業の展開の方法～AIツールの活用など～」に参加した。おもとに、AIツールへの対処について先生方と意見交換をした。	レジュメの作り方、レポートの書き方、卒業論文の書き方、エクセルやGoogleドキュメントの使い方等について、教材を作成し配布した。	できるだけ学生が気軽に声をかけやすいような雰囲気づくりに努めるとともに、ResponのRoomなども取り入れ、学生から質問等がしやすい環境を作ること心掛けた。
大坪 美香	担当無し	担当無し	担当無し	担当無し	学内では、全学FD研修会および学部FD研修会に参加した。新潟医療福祉学会学術集会では、OHATの効果と今後の展望について発表した。	特になし	学会への参加や学内のFD研修会を通して学んだことや取り入れられる内容を参考にして、教育内容に関する質の向上に向けて取り組んだ。
小川 浩	1件のみ、オフィスアワーでアポを取ってくれた学生がいた。他は、授業の後に教室等で相談があったので、適宜、個別に時間を設定して対応した。	担当無し	担当無し	担当無し	①日本職業リハビリテーション学会の神奈川大会(8月26日)において、政策委員会のワークショップとして「高等教育機関におけるジョブコーチの人材養成～ニーズと可能性を探る～」を開催した。②日本職業リハビリテーション学会の政策委員会として、5月20日にオンラインセミナー「高等教育機関におけるジョブコーチ養成の可能性を考えるセミナー」を開催した。	ジョブコーチ論、障害特性論、障害者福祉論では毎回パワーポイント形式の資料を配布している。今年度も見直しをして、内容のアップデートと、より分かりやすいように更新を行った。	すべての授業でmanabaでのリアクションペーパー提出を求めている。これにより、予習・復習の時間が増加した他、授業で強調したポイント等について自ら調べて学習を深める事例が増えた。今後もmanabaやresponを活用して双方向型の授業になるよう工夫していきたい。
尾久 裕紀	授業に関する質問等はオフィスアワー以外でも受けていた。	今年度はクラスを持たなかった。	傾聴すること。個人情報に留意すること。	担当無し	【研修会・研究会参加】1)産業保健実践講習会 日時:令和5年4月9日 名古屋国際会議場 2)東京法哲学研究会 2024年度5月例会 日時:令和5年5月20日 オンライン 3)夏季WEBセミナー「メンタルヘルス不全に陥らないために」に講師として参加 日時:令和5年8月2日 オンライン 4)鹿屋市保育会主任主幹会に講師として参加 日時:令和5年7月28日 鹿児島県鹿屋市 5)日本キャリアカウンセリング学会 第13期スーパーバイザー養成講座に講師として参加 日時:令和5年9月9日 オンライン 6)第91回産業保健研修会で講師として参加 日時:令和5年12月1日 神奈川労務安全衛生協会【学会参加】1.「企画」あるいは「参加」した教育関連の研修会 1)第96回日本産業衛生学会に参加 日時:令和5年5月10日～12日 ライトキューブ宇都宮 2)第39回日本ストレス学会・学術総会に教育講演座長として参加 日時:令和5年7月21日 仙台国際センター展示棟 3)第48回日本リスクマネジメント学会で発表 日時:令和5年9月30日 大阪 あべのハルカス 阪南大学	オリジナル資料をすべて見直し、最新に修正し、配布した。	
小野 聡士	担当無し	担当無し	担当無し	担当無し	【学会参加】第47回日本自殺予防学会総会(9月15日～17日)および日本ロールシャッハ学会第27回大会(12月2日～3日)にて発表を行なった。【研修会参加】公認心理師養成機関連盟第13回(6月18日)・第14回(10月29日)・第15回(2月12日)研修会等へ参加した。	公認心理師養成課程の科目である「心理実習」において、学ぶべき内容、受講する上での留意点などを記述した『心理実習ガイド』を2023年度版へ更新・配布し、実習生の適切な学習の促進に役立てた。	社会・臨床心理学専攻の実習担当教員らと、本学における実習教育について協議する会議を定期的に開き、より質の高い実習を行うために求められる事項について検討した。
春日 文	オフィスアワー時間以外でも、適宜、個別相談の対応をしている。対面とオンラインを併用している。	年度初めは履修相談が多かったが、1年生の授業を担当していないため、実際の様子は他の教員から情報を得ることが多かった。	対面に限らず、オンラインでも指導をする等、学生のニーズに合わせた対応をしている。	クラス指導主任であっても、実際の学生の様子は、授業担当の先生の方がよくご存じの事も多く、日頃から情報共有・連携を図ることが今後も大切であると考えています。	学部FD研修会、全学FD研修会に参加した。学会は、日本心理学会、遊戯療法学会、ユング心理学会に参加した。	「人間関係総論Ⅱ」ではオンライン授業用の使用を作成した。「発達心理学」では、内容の理解が深まるように関連動画の資料を適宜とりいれた。	どの授業においても毎回のリアクションペーパーやmanabaを活用した課題を出し、受講生の習熟度、感想が把握できるように努め、次の回でフィードバックができるように準備をした。また学生の要望に寄り添い、良いレポートを紹介するといった取り組みをした。
香月 菜々子	学部生および大学院生の授業に関する相談、および進路相談の時間として活用しました。	担当無し	担当無し	担当無し	参加した学会・研修会 ①日本描画テスト・描画療法学会 第32回大会 ②日本ロールシャッハ学会日 第27回大会 ③日本心理臨床学会 第42回大会 ④ 第2回 ユング派臨床研究会 *①は単独で研究発表 ②は修了生(遠藤愛里氏)との共同研究の発表を実施 ④は講師として参加企画した学会・研修会 ①芸術療法研修セミナー(対象は医師、心理士を含む芸術療法実践家)②公認心理師資格試験練習会(4月・12月)③臨床心理士資格試験練習会(8月・10月)	1)人間関係総論Ⅱ:オンライン授業用の動画資料をあらたに作成 2)キャンパスライフ・メンタルヘルス:自著テキスト「キャンパスライフ・サポートブック」(2019)の内容を補強するため、書き込み式のレジュメを作成。重要なポイントを空欄とし、書き込むことで理解が深まるようデザインした 3)大学院授業の教材の作成・改訂:大学院生のニーズに基づき「心理所見の書き方」の改訂を行った	リアクションペーパーの提出を求めることで学生達の主体的な学びを促し、翌週の授業で教員から口頭でフィードバックすることで授業内容の理解を深めることに役立てた。オンライン授業(リアルタイム)では、Zoomのチャット欄とresponを活用することで講師と学生との間、そして学生同士の間での感想や意見の共有を可能にしたところ、従来よりも活発な議論が可能となり、多角的な視点を養えるといったオンラインならではの利点が生じた。
金 美辰	オフィスアワーの時間に合わせて相談に来る学生も増えていますが、マナバやメール、研究室に直接来る学生も多く、空いている時間には学生の相談に乗るようにしています。	様々な悩みを抱えている学生が増えている現状です。休みが続いている学生に対しては、本人を含めて保護者の方とも連絡を取り、連携しながら指導をしています。	指導内容に応じて、学科の先生方と情報を共有し、連携しながら指導をしています。	マナバとメールで連絡が取れない学生は、携帯と自宅に電話しても連絡が取りにくいので、指導の際に少し難しさを感じております。	地域福祉学会・人間福祉学会、「外国人雇用・定着セミナー」の講師、社会福祉法人の職員研修等の講師を務めています。	学生の理解度を確認しながら、授業で活用する教材を工夫しております。	教育の質を向上させるため、本学のFD研修会だけでなく、外部の研修会にも参加おります。
久保田 滋	昨年に引き続き、学生の中でオフィスアワーを利用するものの数は少ないが、新たにスタートしたMCCにおいては、利用する学生も若干見られた。	指導を要する学生ほど、こちらからアクセスしてもリアクションが乏しく、苦労している。	コロナ 禍では、オンラインでのコミュニケーションを導入したが、現在は特に問題はないと考えている。	学生同士のコミュニケーションの総量が減退してしまっ	学部や大学で実施している各種FD研修会に出席	『テキスト社会調査』梓出版	授業における映像資料などの利用や、manabaなどの教育用プラットフォームの利用、学生からの授業へのフィードバックの活用、少人数クラス内でのコミュニケーションスキルの向上を目指した取り組みなどを行った。

氏名	オフィスアワーに関する意見・感想	クラス指導の現状	クラス指導で工夫している点	クラス指導に関する意見・感想	参加または企画した学会・研修会等	授業で活用するために作成した教材・テキスト等	教育内容に関する質の向上に向けた取り組み
藏野 ともみ	授業の質問、資格課程の継続、心身の相談、他者との関わり相談等、多岐に渡る話を聞かせて貰う機会が、少しずつ増えてきたように思う。コロナ前のように他学科の学生はいないが、学生が困った時に話せる場の1つとなればと思う。オフィスアワーの時間については学生の時間割を確認しながら設定していきたい。	3年生となり、ゼミ教員中心に対応できるようになってきたので、学習状況について対応することが中心となった。経済状況や進路について等の課題があり、オフィスアワーを活用して対応した。	就活情報等、クラス会及び学年manabaを通して情報発信をしている。	卒論ゼミとなると担任よりもゼミ担当教員との関わりが多いため、全体的な情報発信になるが、manabaやWebメールを通しての発信も多くなるため、全員に伝えることが難しい点もある。	日本社会福祉士会主催の認定社会福祉士研修講師、認定社会福祉士認定・認証機構の更新申請研修講師、日本ソーシャルワーク教育学校連盟の実習・演習教員研修の講師を務めた。また、医療現場のソーシャルワーカーと対面でのスーパービジョン研修を主催した。日本職業リハビリテーション学会の国際委員会主催のシンポに参加し、アメリカハワイ州の大学における障害のある学生支援の学習・就職支援の現状について学んだ。	演習授業で活用する事例について、実践家である医療機関のソーシャルワーカー3名とオリジナルで作成した。2大学の授業で活用しており、授業のねらいに即した内容に修正している。また、社会福祉士養成課程における相談援助演習のテキストの執筆者の一人として、コミュニケーションとスーパービジョンの項目を執筆、出版した。	他大学の教員と教員向けの授業の教材・グループを活用した授業展開方法について、教員研修向けにプログラム開発を行っている。
小谷 敏	前期にメンタルに問題のある学生のお父様が来訪されたことを印象深く思っています	大きな問題はありませんでした	なるべくリラックスして話せるようにしています	とくになし	日本社会学会と日本社会学会に参加しました。	とくになし	とくになし
齊藤 豊	学部長になった今年度はゼミ生を除いて、オフィスアワーに訪れる学生はいなかった。授業後に教室で質問(授業に関係ないことも含め)を受けることはあった。	担当なし	担当なし	担当なし	今年度は学部長業務を優先したため、学会・研修会には参加していない	現代企業論については、15回分のレジュメを作成した。女性の就労に関して国内外の多岐にわたる内容を盛り込んだ。	教育の質の向上にかんしては、受講生に考えさせる内容(質問)を多く取り入れ、リアクションペーパーも回数も多く実施したが質が向上したかどうかはグレーであった。
阪井 裕一郎	ゼミ生や授業履修者との相談を週1回程度の頻度でおこなった。後期は卒論指導が毎回入っていた。	月1くらいの頻度で学習相談をおこなった。	最近はメンタルの問題を抱えている学生も多いので、こちらから一方的に話すよりは、相手の状況を確認してから、対策を話し合うようにした。	特になし。	関東社会学会の編集委員会委員として、機関紙の編集作業をおこなった。	基本的には各講義、レジュメを配布し、パワーポイントを投影し講義を行った。有斐閣のテキスト『社会学の基礎』(2024年3月刊行)の執筆もおこなった。	学生が主体的に学べるような工夫が必要だと思い、文献調査や調べたテーマに基づいたディスカッションを取り入れた。
嶋貫 真人	例年のことではあるが、学生が研究室を訪ねて来る際には、オフィスアワーを意識して来ることは稀であったと思われる。	今年度は4年生の担任ということもあり、相談内容としては就職活動に関連するものが圧倒的に多かった。	これまでどおり、面接等の対応をした後は必ず学生ごとに作成している相談記録票にメモを残しておくように心がけてきたが、これは指導の継続性・一貫性を保つうえで非常に有効であったと思う。	3年生・4年生については、ゼミ担当教員との連携が重要になってくると思う。	実習教育指導者懇談会に参加し、相談援助現場実習の運営方法等について現場指導者の方と意見交換を行った。2021年度入学生から適用される「新カリキュラム」の初年度ということもあり、二段階で行われることになった実習の相互関係等について、今後の授業展開のうえで参考になる知見が得られた。	社会福祉学セミナーⅠ～Ⅳで使用する教材について、各種社会保険制度等の法改正に対応するための改訂を行った。	多人数の講義形式の授業については、受講生との双方向のコミュニケーションを活性化するため、リアクションペーパーを複数回実施した。
杉田 雅治	担当なし	担当なし	担当なし	担当なし	東京都介護福祉会「環境づくりから考える認知症ケア」	教材・テキストなどは作成していない。	実習巡回の時には体験を通して返答できるときにはそのように心がけている。学生の実習体験を大切にするように指導している。
田中 優	卒論の相談に来るゼミ生以外の来談者はいなかった。	欠席届への押印、GPA1.5未満の学生への指導を行った。奨学金の推薦書については、昨年度まで推薦書の作成の労力が大きかったが、今年度から署名のみになり負担が軽減した。	学生とのやり取りについては、学生に不要なプレッシャーを与えないように、メールなどでの文章表現を工夫したり、クラス全体へのメッセージなどに形を変えるなどの配慮をしている。	授業でmanabaを使っているが、クラス指導にも使えると思う。ポートフォリオとして、個別のやり取りが残っていると、学生との指導がやりやすいと思う。また、指導記録としても有用であると思う。	全学FD講演会(令和5年7月28日:アフターコロナのICT教育―responを活用して全学生参加型の双方向授業をつくる―、令和5年12月15日ChatGPTとビジネス・大学教育研究―AIの発展に伴う課題と対応―)、学部FD研修会(令和5年12月8日:次世代の大学教育へのパラダイムシフト―人と技術の活用―第3分科会 教員の研究と大学教育の両立や展開の方法)に参加した。	心理学概論Ⅰ・Ⅱ、質的データ解析演習、心理学基礎実験等、授業で使用する資料をパワーポイントで作成し、PDFファイルで配布した。	講義において、manaba等で、学生の意見をできるだけ吸い上げ、授業の中でフィードバックし、それを元に討議する形を取り、学生の考える時間と双方向のコミュニケーションを多くする努力をした。
田中 俊之	あまり研究室に相談に来る学生がいなかった。	成績不振者について適切な指導を行えた。	とりわけ成績不振者について適切なフォローをすること。	特に問題ありません。			
丹野 真紀子	1年生と4年生の利用が多くありました。	1年生については、成績が心配な学生が多く、個別面接をしておいたところ、一部の学生は後期の成績が向上していた。他の学生にも個別対応をしていきたいと思います。	オフィスアワーを活用し、個別面接などを通して、1年生の学校での状況を確認した。	丁寧な指導を必要とする学生が増えたと感じています。	1. 第43回日本医療社会事業学会に2023年6月17・18日の2日、対面で参加した。東京MSW協会が長年実施してきたGSVIに関する報告が興味深かった。2. 日本医療ソーシャルワーカー協会の基幹研修1「事例検討の方法と実践の検証」8月20日と10月22日の2回にわたり、3年未満のMSWIに対して事例検討の方法について講義した。3. 社会福祉実践に関わる研究会の実施。毎月1回、社会福祉士等の相談員らと最新の社会福祉現場の実情、支援の実践についての研究会を主宰した。	1. 著書「保健医療ソーシャルワークの知識と技術―キャリアアップのための実践力の構築」(中央法規)内容:第13章医療ソーシャルワーク実践の事例検討の方法について執筆した。社会福祉士を目指す学生のために授業内で用いた。2. 「ソーシャルワークⅡ―A」「ソーシャルワークⅡ―B」「社会福祉援助技術論Ⅲ―A」「保健医療サービス」の4科目は配布使用を改定し、最新の現状に合った事例を提供するため、新しい事例を加えた。	1. manabaの活用:毎回の授業でアンケートとレポート機能を利用し、授業に関するコメントを求めた。特に、質問は次の授業で取り上げた。課題についてはコメント機能を活用し、全員にコメントをつけて返却した。2. 専任教員と非常勤教員との連携:主担当である相談援助演習Ⅲでは、共通シラバスを作成し、教育内容、授業展開の共有化を試み、学生がどの教員が担当することになっても一定レベルの教育の質を確保できるよう調整した。
原野 かおり	オフィスアワー以外で授業の後に来室することもある。対象は3.4年生がほとんどであり、進路について主たる相談であった。	なるべく早めに面談予定をmanabaで確認して、前期は全員に面談を行い、後期は状況に応じて面談を行った。	基本的に対面による指導を行うが、状況に応じてオンラインも活用している。学生の話を傾聴し、自己決定できるように指導している。	連絡がとりにくい学生とどのようにコミュニケーションをとっていくかが課題である。結果的に一人で抱え込んでいる場合が多いように感じる。	自身の研究課題に関連する学会に参加した。研修会は学内で実施されるFD研修会に参加している。	授業の内容に合わせて、最新情報を含め、補助資料としてPPTを作成し、配布している。	厚生労働省等の新しい情報を入手するようにしている。また、関連論文も検索して授業にフィードバックしている。
飛田 和樹	1年生から「オフィスアワーの時間に授業があって行けない」という相談を受けた。同様のケースが潜在化している可能性は否めない。一方、オフィスアワーを意識している学生は少数で、オフィスアワー以外の時間帯にも随時相談等に対応した。	履修、資格・実習、進路、大学生活について適時面談、相談に対応した。1年生のため、大きな環境変化への対応に関する相談も一定数あった。	個別の相談・指導は必要に応じて対面・オンラインを併用した。学生が教員に求める関わり方・密度のニーズは個々に異なるため、アセスメントしながら関わるよう努めている。適時、学生相談センターと連携を図った。	特になし	学内では、学部FD研修会、全学FD研修会に参加した。所属学会(日本地域福祉学会、日本社会福祉学会、人間福祉学会等)の大会に参加して最新の知見を蒐集するとともに、一部の学会で研究成果を発表した。	当年度新任のため、担当科目の全授業資料を作成した。オムニバス科目についても、個々の教員に裁量がある範囲については独自資料を作成し、学生の学修促進に努めた。オムニバス科目「社会福祉学基礎セミナーⅠ」では先輩学生の協力を得て、授業資料の一部を作成した。	自身の研究成果や他の研究をもとにした最新の知見を提供できるよう研究活動に取り組むとともに、社会福祉の動向や一般社会・地域の趨勢(例:生成AI等)についても情報を蒐集し、それらを教育内容に反映させることで質の向上に努めたい。
福島 哲夫	主にゼミの学生や大学院生の奨学金推薦書とメンタル相談が数件あった。	担当無し	担当無し	担当無し	FD関連のものは特になし	「実践心理療法統合」(仮題)というテキストを執筆し、原稿段階から教材として使用した。	IT関連の能力を少しずつ伸ばしていく必要があると実感している。
藤本 優	担当無し	担当無し	担当無し	担当無し	日本職業リハビリテーション学会 第50回(2023年度)かながわ大会にて「地域活性化に資する効果的な農福連携プログラムモデルの構築に関する研究―障害者就労継続支援事業における農福連携の援助要素の抽出―」の発表を実施。日本社会福祉学会第71回秋季大会へ参加し、各分野の学びを促進した。農福連携プログラムに関する研究の進捗報告及び意見交換会を開催し、各地域で農福連携を実施している障がい者就労継続支援事業所職員、受け入れ農家に参集いただきグループワークを実施した。一般社団法人PBEE研究・研修センター事務局・研究員として、開催した評価セミナー等に参加した。	社会福祉士相談援助実習のための個人票の作成において作成方法を記した資料を作成した。	実習指導において学生の学びが深まるように、各分野の先進的な取り組み、業界の状況についての講演会に参加した
古市 孝義	担当なし	担当なし	担当なし	担当なし	FD研修会に参加した。学外では、介護福祉教育学会、人間福祉学会に参加した。学会では自身の研究成果の発表を行った。	相談援助実習事前指導に関して授業補助として授業に参加し、学生の資料作成の補助をした。	介護実習入門～Ⅳおよび相談援助実習において学生の相談に応じ、実習目標の指導・助言、実習報告書作成に際しての指導を行った。

氏名	オフィスアワーに関する意見・感想	クラス指導の現状	クラス指導で工夫している点	クラス指導に関する意見・感想	参加または企画した学会・研修会等	授業で活用するために作成した教材・テキスト等	教育内容に関する質の向上に向けた取り組み
古田 雅明	今年は1年生Aクラスを担当していたことと、教務委員であったことから、前期に履修登録に関連した相談が多くありました。あとは、学部や大学院のゼミ生が卒業論文研究や進路に関する相談で来室することが多くありました。気軽に相談できる時間帯として有効に機能したと思います。またオンラインでの相談は2020～2022年度に比べてかなり減少しましたので、2024年度も対面中心のオフィスアワーになると予想しています。	今年は1年Aクラス指導主任をしました。大学への移行期となる前期の最初に大学適応に関する相談があり、また、5月～6月は出欠に関連した指導が数件ありました。後期は休学の相談などもあり、学生・就職支援グループや学生相談室のスタッフと連携しながら保護者の方と面談もしつつ、学生対応をしました。連携がスムーズだと保護者の方も学生本人も安心して相談できるようです。	カウンセリングを専門としているためか、学生からメンタルヘルス相談を多く持ちかけられますが、カウンセラー的な対応にならないよう職業的立場の境界を保ち、あくまで大学教員として対応するように工夫しています。	クラス指導は1学年にAクラスとBクラスがありますので、大学教員として経験が長い教員と若手の教員とベアになると良いと感じています。	1.企画 シンポジウム「保育領域に心理職は必要？」2024年2月18日に大妻保育臨床研究会のメンバーとして企画・運営に関与した。2.参加「日本心理学会第87回大会」9月、保育臨床研究会のメンバーとして共同発表を行った。	1.「心理実習ガイド」「心理実習引率指導マニュアル」、内容:公認心理師養成に係る実習の学生向け実習ガイドと、教員向け指導マニュアルを臨床心理学系の教員と共同で作成し、心理実習の授業に使用した。2.乾吉佑監修・加藤佑昌・森本麻穂編著 橋爪龍太郎・古田雅明著「力動的な心理アセスメントワークブック」創元社(5月発刊)を作成した。次年度より心理演習や大学院の授業において活用する予定である。	9月に専修大学人間科学部心理学科の3・4年ゼミと本学の4年ゼミとでオンライン合同ゼミを行った。各大学の卒論要項や指導方針を比較検討することで、ゼミ指導や卒論指導に関するFD活動を行うことができた。
干川 剛史	manabaを通して担当クラスの学生や担当授業を受講する学生に教員のメールアドレスを周知した。対面でのオフィスアワーでは、研究室を訪ねてくる学生は、1、2名しかいなかったが、メールで問い合わせる学生は数十人いた。教員としても、メールでのやり取りは時間と場所に拘束されないで、空き時間を利用して適宜きめ細かく対応ができたと思う。	GPA1.5未満の学生に対しては、学期初めにメールで呼び出して履修指導を行った。また、休学や復学を希望する学生については、学生本人と直接話すのが困難な場合は、保護者に確認をとった上で書類に署名捺印を行った。	担当クラスで問題を抱えている学生については、適時、社会学専攻会議で状況を報告し、専攻全体の教員で情報を共有しながら、専攻主任と教務委員を中心に対応するようにしている。	心身の困難を抱える学生やGPAの低い学生の人数が、これまでと比べて、担当クラスに多い印象を受ける。	1.人間関係学部FD研修会「次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～」日時:2023年12月8日(金)17:00～19:00「分科会での議論」第3分科会(司会:山本FD委員)7315教室「教員の研究と大学教育の両立や展開の方法」2.全学FD講演会(Zoom開催):ChatGPTとビジネス・大学教育研究日時:令和5年12月15日(金)16:30～18:00—干川参加	1.タイトル:『現代と社会学』干川剛史著・同友館・2016年)内容:○「社会学概論I」(前期火1時限・4時限)・「社会学概論II」(後期火1時限・4時限)で使用2.タイトル:『デジタル・ネットワークの展開』干川剛史著・晃洋書房・2014年)内容:○「現代社会論セミナーI」(前期木2時限)で使用	講義では、manabaを使用し、授業の課題を「コースニュース」で提示し、Google Driveに資料を掲載した。受講者は、課題の解答を「レポート」に提出し、質問は、メールで随時受け回答した。課題レポートの中から選抜した学生の主な回答を「コースニュース」で提示し、受講者にそれを読んで復習するように指示した。演習・実習では、manabaを使用し、発表者が「掲示板」に掲載した報告内容について対面で質疑応答を行った。
堀 洋元	授業時にアナウンスしたが、オフィスアワーでの利用はほぼみられなかった。一方、代替手段としてアナウンスしたmanaba個別指導コレクションはどの授業でも活用されていた。予約なしでの相談窓口としては、オンライン上から入る方が学生にとってもやりやすいのではと思う。	主にGPA1に基づいた履修のアドバイス、相談があったクラス学生へのアドバイスを行った。	クラスを担当する授業があったため、面談等の日程を授業後に設定するなどした。	とくにありません	人間関係学部FD研修会2023 日時:2023.12.8(金)17:00～19:00 テーマ:次世代の大学教育へのパラダイムシフト～人と技術の活用～ 第1分科会 7385教室 違う学年でのコミュニケーション・教員と学生の連携についてに参加。全学FD講演会 日時:令和5年12月15日(金)16:30～18:00 テーマ:ChatGPTとビジネス・大学教育研究-AIの発展に伴う課題と対応ー講師:塩崎 潤一氏(株式会社野村総合研究所 未来創発センター 生活DX・データ研究室長)	とくにありません	授業内容に関しては新しい知見をアップデートして資料を作成していくこと、授業方法については受講する学生の特徴に合わせて変えていくことを意識して取り組みたい。
本田 周二	授業に関する質問、進路に関する質問がメインである程度機能していたと思います。	個別相談とweb申請がメインです。	気軽に相談に来てもらえるように対面のみならずZoomやメールも併用していること。	当初、web申請を見落としがちだったので、それを意識するように改善しました。はじめの頃の学生の皆さんには申し訳なかったです。	学内で実施されているFD研修会に参加しました。	授業外での自学自習を促すための課題集を作成し、実施しました。	大学教育に関する書籍に目を通すことや専攻内の複数名の教員と不定期に部会を開催し、科目間のつながりや授業内容についてのディスカッションを行っています。
牧野 智和	問題なかったように思います。	1年後期の時点で、2名ほど、低成績かつ連絡が返ってこないという状態になっています。	1年担任なので、以後状況をみて検討していきます。	1年担任なので、以後状況をみて検討していきます。		「社会調査及び演習」の輪読素材となるテキストについて現在編集を進めています。	「社会調査及び演習」では、調査対象地についての理解を増すためにフィールドワークを行いました。卒業論文については、提出後、自分自身およびゼミの後輩にとって卒業論文の趣旨とプロセスを説明するべく、卒業論文発表会を行いました。
三好 真	オフィスアワーについては、利用する学生が一定数いますが、公欠の届け出などが電子化されたため、事務的な要望で訪れる学生は少なくなった。一方で履修に関する相談やゼミ(特に卒論)に関連した来訪がメインとなっている。	オフィスアワーとも関連するが、公欠の届け出などについては、電子化されたため、学生と対面で言葉を交わすことが少なくなった。また、現在3年生を担当しているため、ゼミ担当の教員とのかかわりが学生にとってもメインとなり、必要に応じてゼミ担当の教員同士で連携を図ることがメインとなっている。	クラス指導においては、事務的な関わりにおいてはできるだけ迅速対応できるようになった。特に、公欠の届け出などは、電子化されたことの恩恵がある。また、年度初めのガイダンスにおいては、学生たちの主体性を発揮するよう求め、各委員選出についても、クラス内で討議して報告するように伝えている。	担当学年次によって、対応する度合いがかなり変化してきているように思う。1・2年次では、細かい対応が求められてきていた側面があるが、3・4年次では、効率化が図られている一方、ゼミ担当の教員との連携は非常に重要となっている。	学外学術団体としては、日本キャリア・カウンセリング学会、日本心理臨床学会、日本カウンセリングの大会及び研修会にて、シンポジスト・招聘講師として参加した。また、学内においては、FD委員として、FD研修会の企画・分科会の司会を務めた。	心理学研究法で使用する教材を他教員と共に統合し、指導の際にはできるだけ同じ教材資料で指導に当たれるよう工夫した。	より実践的な学びをするため、ゼミにおいては外部講師を招聘し、芸術療法や園芸療法などを合同ゼミにて開催した。合同ゼミにするに当たり、各ゼミでの特徴を活かし、振り回りの視点切り口が多角的に行えるテーマを選定した。
八城 薫	コロナが明けて、学生もオフィスアワーを上手に使うようになってきたように思います。効果的に機能したと思います。	各期の履修指導、感染による欠席席の対応、休学や配慮願いに関する相談、就職活動の相談などの対応を行った。	それぞれの状況に応じて相談しやすいよう、対面、オンライン、メール、SNS等で柔軟に対応した。	対面、オンライン、メール、SNS等多様なルートで相談が可能になり、学生も相談しやすくなったように思います。	日本心理学会、動物介在教育・療法学会などの学術大会および勉強会、ワークショップ等に参加した。	データ処理やデータ解析、研究レポート作成に関する教材、および心理学概説書(「新・心理学を今に活かす」教育情報出版)を作成した。	新科目開講に向けて学外視察や他大学の教員等との意見交換などを行った。また学年を越えた学び合いの場を多く企画し、学生の積極的・主体的学びの場を増やした。
山本 真知子	今年度は人間福祉学科の学生だけではなく、他学科・他専攻の学生のオフィスアワーの活用があった。人間福祉学科の学生は就職についてや資格取得を目指す学生の相談に応じた。他学科・他専攻の学生は研究テーマの話をする時間となった。	4年Bクラスを担当し、主に卒業に向けての履修の確認や就職の相談等を受けた。主に対面、manabaの個人指導別コレクション、電話、zoom、メール等で行った。	4年生担任ということもあり、なかなか大学で会うことができないため、manabaで呼びかけを行ったり、個別にメールを送ったりして、いつでも相談ができる関係性でいるように心がけた。必要に応じて、対面での面談、zoomや電話での対応を行った。	各事務部署との連携がとても必要であると感じる。特に4年生で履修の確認をする際に、教育学事支援グループと連携が必要であったり、復学退学等は学生・就職支援グループの情報共有がとてもありがたかった。	①参加した学会:日本心理学会、子どもアドボカシー学会、日本子ども虐待防止学会 日本子ども虐待防止学会 ではシンポジウムを企画し実施した。子どもアドボカシー学会は研究報告を行った。②学内の全学FD講演会の出席と前期の講演会の講演の一部を担当した。後期の人間関係学部のFD研修会も参加した。	『クエスチョン・バンク社会福祉士国家試験問題解説2024』『社会福祉士国家試験のためのレビューブック 2023-24』概要:2023年2月に実施された第35回社会福祉士国家試験の解説を行った。担当した解説部分は「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」の4問である。またレビューブックの児童分野の監修を一部担当した。	manaba・リアクションペーパーを使用したフォローアップが心にかけている。毎回リアクションペーパーで質問や感想を受けた後、質問に対して回答できる機会を作った。小テスト機能を使用した復習の機会を取り入れた。respon上で他の学生の意見が見られるようにするなど相互の関係を感じられるような授業を行った。個別では、就職活動の相談だけではなく面接練習等も行っている。

【資料編】 02

【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 前期

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等）
伊澤 冬子	カウンセリングセミナー	responを用いて自身の考えを言語化したり、場合によっては共有したりすることに重点を置いていたのですが、原則として全員が記入を終えるまで待っていたため、時間を持て余す人が出てきてしまっていました。全員が記入を終えるまで待つのではなく、授業後の記入を促す等の別の方法も探り入れたいと考えています。	特にありません。	
伊藤 美登里	社会学基礎セミナーⅠ 現代社会論セミナーⅠ 恋愛と結婚の社会学 哲学と思想	授業を全体にやや時間的余裕を設けて運営する（発言前の考える時間がもう少し欲しいという意見をふまえて）、課題や発言に対するフィードバックをより丁寧に行う、説明に具体例をより取り入れる	なし	なし
井上 公人	職業とコミュニティ特論Ⅱ	教員としては十分配慮しているつもりでも、かなり手厚い「サービス」をしないと、授業についてこれない学生が一部いることがわかったため、その点については考慮したい。ただ、「大学」教育としてそれで本当にいいのかという葛藤も感じるので悩ましい。	シラバス他で表示された情報をよく読んだ上で履修を決めてほしい。	何度か「授業改善のためのアンケート」への回答をするよう周知してはいるが、学生にとってあまりメリットがないからか、回答者数が毎年振るわないので、正直意味のある集計・内容確認になっているのかが疑問ではある。
井上 修一	高齢者福祉論	内容を充実させ、より質の高い授業に取り組みたい。	特になし。	特になし。
井上 修一	権利擁護と成年後見制度	内容を充実させ、より質の高い授業に取り組みたい。	特になし	特になし
岩本 圭子	子どもの保健	manabaの使用が初めてで十分に活用できなかったと感じています。FD研修会で様々な活用法を知ることができたので、今後はmanabaの機能を取り入れ、学生の考えを引き出しやすい授業運営を目指したいと考えています。	全体的に出席率がよくないので、そこは改善して欲しいです。	
上野 奈初美	スポーツB スポーツC	学生の運動欲求はそれなりに高いものがあると思われます。学生の要望も取り入れつつ、授業を展開していきたい。	特になし。	特になし。
上野 優子	スポーツと健康	受講生が大人数であり、授業形態はオンライン授業のため、質問に対する回答が遅れがちとなる。こまめなチェックが必要である。	特に無し	
牛山 美穂	社会学基礎セミナーⅠ 社会調査及び演習Ⅰ 文化表象分析入門 医療と社会	今回は学生側から特別改善してほしいという要求はなく、授業評価もよいものだったので、今後とも慢心せずに努力していきたい。	発言する場のときはぜひ積極的に発言してほしい。	特になし
浦尾 和江	介護技術	実技の理解度確認テストを行う際、課題の説明や物品について十分説明する。授業課題の動画が視聴できないこともあったため、YouTube等利用する。	介護方法を学ぶだけではなく、利用者の立場になって考え、利用者の気持ちに寄り添う介護について学んでほしい。	特にありません。
大西 典子	生活支援技術E	人生の最終段階について様々な視点に気づくことが重要であるため、今までと同様に学生に身に授業を計画しプレゼンさせる方法で進めたい。	学生の自由な発想がとても良いのでこのまま進めたい。	特に問題ありません。
大西 典子	生活支援技術C	生活行為の支援は、その対象になることを知ることがすべてだと思っているため、自分でその動きを体験してみようということを中心に授業は構成しているのでこのまま進めたい。	固定観念にとらわれない発想ができる人が多いので、このまま進めたい。	実習室の環境の改善をしていただいており、大変感謝しております。
小川 浩	障害特性論	バワボの文字を大きくして欲しいとの要望があった。資料として印刷配布しているので、枚数が増えないようにすることのバランスが必要と考えている。改善できる部分もあると思うので次年度に生かしたい。	特にありません。	
小川 浩	ジョブコーチ論	全体に授業に対する満足度は高く、修正・改善の要望もなかったが、個人的には「演習」の部分について、もう少し短時間で効率的に行えるよう、実施方法の工夫が必要と考えている。	特にありません。	
奥村 英一	科学と環境	先日のFD研修にあったrespon機能を今後活用したい。	対面授業が増えてから、オンライン授業での小テストやアンケートへの回答率の低下や遅れが増えた。朝の登校移動時間に重なったり、部活動や学外活動が再開した影響もあると思われるが、学期末にまとめてではなく、コロナ禍そうだったように毎週コツコツ進めて頂きたい。	manabaの小テストやアンケートでも、レポートのように、締切後の回収を行うオプションが欲しい。コースニュースを通じて次の講義までの回答を促しているものの、学生さんからの意見で、締め切りを学期末に設定すると、締め切り順に課題を表示した時に優先順位が低くなるため回答が遅れるとコメントされた。
小野塚 邦子	女性と企業	この授業を初めて担当させていただきましたが、特に前半はこちらから一方的に伝える場面が多く、受講生の興味や理解を得にくかったように感じています。途中からワークシッップやアンケートを取り入れる等、工夫を致しましたが、今後はより双方向の運用を強化して、受講生の理解促進を図っていききたいと思っています。	授業の進め方にも問題があったかと思いますが、より積極的に参加していただけるよう改善を図りたいと思っています。	
加藤 浩治	コンピュータ基礎A	毎回の授業で取り組む課題を通して得られるスキルについて、より丁寧な説明をするよう心掛けてゆきたい。	授業での説明がわからなかった場合は、その授業時間内に質問するよう心掛けてください。	設定と管理が行き届いていて、細かな不調についても常に適切にご対応いただき、とても感謝しております。
門林 道子	老いと死の社会学	学生から、この授業は試験ではなく、期末レポートにしたほうがよいとの提案があった。しばらく前までは履修生が多かったこともあり、また、用語などをきちんと把握してほしいとの想いがあったため、学期中にレポートを求めるほか、期末には試験と決めてきたのだが、今後また検討していきたいと考える。講義内容をめいばいにするとどうしても最後に早口になったり、リアクションペーパーを書く時間がタイトになったりしがちなので、内容を次年度はもうすこし吟味して取捨選択を考えていきたい。	今年度は履修者が少なかつたにもかかわらず、やはり後ろの座席にかたまる傾向にあったので、前や中間席に着席するように。（私のほうでもそのように促せばよかったかなと思っている。）	
菊池 真弓	家族支援論	予習・復習時間につながるための工夫	特にない。	特にない。

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等）
蔵野 ともみ	ソーシャルワーク論ⅠB 相談援助演習Ⅰ ソーシャルワーク実践入門 精神保健福祉の原理 精神保健福祉援助実習指導 精神保健福祉援助実習事前指導	100名規模の講義科目から10名程度の演習科目まで多様な形態の授業を担当し、2年生から4年生まで、学生の予習や復習、課題等について、個別の学習進捗状況に応じたフィードバックに苦慮した。manaba等を活用してある程度事務作業がシステム化できる分、フィードバックへの時間と内容の工夫をより一層していきたい。グループワークを取り入れたアクティブラーニングをしたため、学生全員の細かなグループでの貢献度を十分に踏まえた指導ができないため、学生との決めごとを事前にする必要があった。グループ学習を個別の成果としてフィードバックできる方法を検討していきたい。	予習・復習を熱心に取り組んでくださった授業は、学習効果としても良い成績となっています。manabaを通じると、学生に自己管理が求められるため、大変だとは思いますが、ぜひ続けていただきたいと思います。	
小谷 敏	人間関係総論Ⅰ	とくにありません	とくにありません	
小谷 敏	社会学基礎セミナーⅠ	とくにありません	とくにありません	
小谷 敏	現代社会論セミナーⅠ	とくにありませんが、テキストが難しいのではないかと危惧していましたが、みんな努力してよくついてきてくれました。	後期も前期と同様ががんばってください	
阪本 真一	職業とコミュニティ特論Ⅰ	個人で考え、自ら手を挙げ、皆の前で発言する事とグループディスカッションのバランスは受講生の状況をみて微調整をしています。	自分で問いの内容を考えるように意図的に授業中の問題提起の仕方をしています。整理されたものを習う学びではなく「問う」学びが不確実な将来へ挑戦し対処する力を養うと理解して授業に参加して下さい。	
佐藤 史緒	パーソナリティ	授業の振り返りが長い、オブラートに包んだ形で提示してほしいという意見があった。一方で振り返りによって学びたいことを学べたし、調べるという自主性が身についたという意見があった。振り返りは学生の質問や意見によって進めているため、急遽コメントについて講義形式で説明することもある。もう少し提示の仕方を工夫できるように考えていきたい。	1限であるため気分がのらないなどあるのかもしれないが、授業のはじめに挨拶をしても何も反応がないということもあった。お互いが気持ちよく授業を進めていくためにも、せめて挨拶くらいはしてほしい。	
篠原 亮次	社会福祉調査の基礎	manabaの活用の促進	この科目は、社会福祉士国家試験の必須科目であり、その点を理解して履修してほしい。	特になし
嶋貫 真人	社会保障Ⅰ	従来「授業への積極的参加」の質問に対する回答が低評価だったが、今年度はリアクションペーパーを2回実施することでこの点をかなり改善できたと思う。次年度も引き続きこのスタイルを継続していきたい。	特になし	特になし
嶋貫 真人	公的扶助	従来「授業への積極的参加」の質問に対する回答が低評価だったが、今年度はリアクションペーパーを2回実施することでこの点をかなり改善できたと思う。次年度も引き続きこのスタイルを継続していきたい。	特になし	特になし
下田 敦子	博物館実習	分習法的に単元ごとの学習をもって博物館学実習全体の学習を実現できるように指導にあたった。	当科目のシラバスは学習の順次性に配慮して構成しているので、各回十分に理解した上で次の講義を受講してほしい。	受講生数、授業内容に併せて教室を使用することができた。
鈴木 江津子	神経・生理心理学	学生の復習のために、常に終わった講義回の動画を公開しておきましたが、その点について、いつでも復習できるのがとてもよかったというコメントがありました。公認心理師試験に必要な科目でもあり、講義動画をいつでも見られるようにしておきましたが、次年度からは対面講義のみ、ということでも承っており、心配しています。	特になし。	
鈴木 孝子	文学の世界	私から受講生へのフィードバックが滞りました。申し訳ありません。学生が充実感を持ち満足できる内容になるべく、改善を急ぎます。	社会学、心理学そして福祉の分野を専門にする学生から貴重な提言、指摘、意見そして若者として気付いた事など教員の私が多くを学びました。そして私の欠点を示し反省を促す場をみんなから頂いたことを感謝します。率直な感想そしてコメントほど貴重なものではありません。ありがとうございます！前に進む勇気がありとう(smile)。	特になし。大妻女子大学の能力が高く、献身的なスタッフと共に仕事ができることは大きな喜びです。いつも本当にありがとうございます！
須藤 麻紀	保育原理	対面となりmanabaの活用機会が以前より減っている。次年度は積極的に活用していけるよう工夫したい。	特になし	特になし
田中 究	家族心理学(社会・集団・家族心理学)	授業資料については引き続き改訂して参ります。また、オンラインでは難しい部分がありましたが、来年度は対面授業とのことで、直接話しかけることでいっそうの授業参加を促していきたいと考えております。	なし。	
田中 優	心理学概論Ⅰ	メリハリのある話し方を望む声があったので気を付けたい	真面目な学生がほとんどなので、特にありません	「教室がいつも暑いので空調管理を改善して欲しい」との意見がありました
丹野 真紀子	ソーシャルワーク論Ⅱ-A	スライドが見づらいとの回答があったので、中段部分まで暗くするようにしてみます。	テストがあるならレポート提出は控えてほしいとの要望がありました。初回の授業時にレポート課題があること、どの時点で提示するかすべて話していますので、時間配分を考えながら対応していただきたいと思います。	
丹野 真紀子	医療福祉論	満足度が高かったので、このまま続けていきたいと思っています。	テストは初回から14回目の内容から出すので復習を必ずしてほしいと思います。	
丹野 真紀子	相談援助演習Ⅲ	満足度が高いので、同様な授業を続けたいと思います。	演習なので積極的な授業参加をお願いします。	
丹野 真紀子	相談援助実習事前指導	学生の理解を深めるような、今回と同様の授業を続けていきたいと思っています。	実習前の授業なので、積極的な学びを期待します。	
土野 瑞穂	女性史	オンデマンド型授業ではありますが、もう少し学生がアクティブにコミットできる仕組みを作りたいと思っています。	特にありません。	manabaの小テストに「回答制限時間」機能を設けていただきたいと思います。（本務校のmanabaにはあります）。可能であれば宜しくお願い致します。
東後 昌弘	英語3A	このところ履修者は数が3～4名、実際に授業に参加する学生は1～2名です。英語のコミュニケーションスキルを習得するクラスなので人数が少なすぎると、最大限の効果が得られないこと、また学生同士のインターアクションが少なくなり学生のモチベーションにも影響します。なんとか履修者の数を増やす方法を考えて頂ければ幸いです。	④と同じ内容です。	特にありません。

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等）
東後 昌弘	英語3B	このところ履修者は数が3～4名、実際に授業に参加する学生は1～2名です。英語の読解力とコミュニケーションスキルを習得するクラスなので人数が少なすぎると、最大限の効果が得られないこと、また学生同士のインターアクションが少なくなり学生のモチベーションにも影響します。なんとか履修者の数を増やす方法を考えて頂ければ幸いです。	④と同じ内容です。	特にありません。
飛田 綾子	日本国憲法	音声入りパワーポイントをいちいち再生するのは非常に面倒だという指摘がありました。また、Google Driveの映像も聴きづらいと言う指摘がありました。来年度はyoutubeへの映像のアップなど他の方法を考えたいと思います。また、授業内容と教科書が合致していないという指摘があったので、教科書指定を再考したいと思います。	特にごさいません。	特にごさいません。
飛田 綾子	法律と現代社会	音声入りパワーポイントとGoogle Driveの映像は見づらいと言うご指摘があったので、youtubeへの映像のアップなどを考えたいと思います。また授業内容が詰め込み過ぎている、というご指摘もあったので、内容を切り詰めてポイントを絞った講義内容にしたいと思います。授業内容とテストが合致していないというご指摘もあったので再考したいと思います。	特にごさいません。	特にごさいません。
中條 共子	相談援助演習Ⅰ	より積極的に学生からの質問を引き出し、わかりやすく説明していきます。	ロールプレイを通して、クライアントの内面の理解に努めてください。	
中條 共子	相談援助演習Ⅰ	リアクションペーパーへのコメントにもっと力を入れたい	ロールプレイのクライアント役は、恥ずかしがらずに、その人の気持ちをよく考えて、役に取り組んでください。	声が小さい学生もいるので、マイクがあると良い。
中村 道子	コミュニケーション技術AとB	レスポンスなどの機能を使って、さらに双方向の授業を心がけたいです。	期末にまとめて出欠席の修正を求めている学生さんがいらっしゃるの、その都度、出血登録ができてるかご自身で確認して欲しいです。	
中村 道子	コミュニケーション技術AとB	リアクションペーパーだけでなく、manabaやresponなどの機能を使い、更に双方向の授業に努めます。	本講義ではグループワークや事例検討を実施するため、積極的な発言や授業への参加を求めます。	
西川 徹	コンピュータ基礎A・B	コンピュータを扱う能力に差があり、同じことをやっても、早すぎてついていけないという生徒もいれば、遅いし簡単すぎるといふ生徒もいます。パソコンの能力別のクラス分けがなされてない以上やむを得ない事だと思しますので、例えばデータを入力してその後続きの問題を扱うといった場合、ある時間になれば遅い生徒の入力が終わっていないくてもそこでストップをかけ、まだ入力できていない生徒には私が用意したファイルを使用してその後の作業を続けてもらう、といったことで両方の不満を少しでも解消していきたい。また後ろの席の方で聞き取りづらいことがあるという点に関しては、マイクを使用することにします。	授業についてこれない原因は、Word/Excel/PowerPoint、全てはタッチタイピングができるかどうかだと思います。キーボードマスターを使用してタッチタイピングの練習をしっかりと実施し、とにかくパソコンに触れる時間を長くして、授業の復習をしっかり行うという習慣をつけてほしい。	非常に使いやすいと感じております。
仁科 薫	ケアの社会学	リアクションペーパーの内容について、自由な感想を歓迎するとともに、教員からも論点の示唆を効果的に出していきたい。	特にありません。	授業のテーマに関心を持って参加して下さる方が多く大変励みとなっております。
仁科 薫	現代社会論セミナーⅠ	学生が表現技術を高めていけるよう工夫しているが、優れた実践例に学びながらさらに工夫を重ねていきたい。	特にありません。	
原野 かおり	介護総合演習Ⅲ	記録の書き方など学校の方針に基づいたやり方でない気がするとの意見があった。このことについては、大学の記録の方法を変更した指導は行っていない。記録をする上での多様な考え方を伝えたかったが、誤解を生じることがあることを意識して教授するように努めたい。	なし	まし
原野 かおり	介護総合演習Ⅳ	なし	なし	なし
原野 かおり	医療的ケアⅡ	なし	なし	なし
原野 かおり	医療的ケアⅢ	なし	なし	なし
原野 かおり	介護過程Ⅰ	現時点の改善点はないが、事例を多くしてほしいという要望が1件あったが、介護過程Ⅰは基礎であるため、基礎的なことと身の回りの課題で介護過程の展開を体験してもらっている。今後は、履修者の状況に合わせて対応していきたい。	なし	なし
飛田 和樹	地域福祉論	授業外学習時間にバラつきがあった。最大値は1-2時間で概ね正規分布（下寄り）だったため、課題内容としては概ね適当で、個々の取り組み姿勢によって差が出たものと考えられる。課題提出の方法・時期・量などを調整して、平準化できるようにしたい。	特になし	
深水 浩司	図書館情報技術論	授業内で質問する機会や考えを述べる機会をより多く提供できるように改善を進めます。	授業以外での勉強の機会を増やすよう努めてください。	特にごさいません。
深水 浩司	情報サービス演習(2)	回答いただいた方が少ないこともありますが、教員からのフィードバックが十分ではないように思われました。今後は、よりフィードバックが充実できるように努力いたします。	ほぼ毎回の課題をよくこなしていることは、受講生の皆さんへの高い評価につながっています。今後も努力することを忘れずに、毎日を過ごすよう希望します。	特にごさいません。
深水 浩司	図書館情報資源概論	解答数が少ないので判断が難しいですが、概ね授業については満足いただけているように感じました。授業外での学習がより進められるように、内容の変更も考えてまいります。	特にありませんが、他の授業や演習ほか何にでも、真摯に取り組むことを続けてください。	特にごさいません。

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等）
福島 哲夫	心理学的支援法	概ね、学部平均と同じ結果だった。ただ、自由記述の中に「授業のテキストを飛ばし飛ばして抜ったり、試験範囲を明確に言わなかったり等、テスト対策が大変しづらく、非常に困っている。」などの記述が複数あった。期末試験直前のアンケート実施だったせいもあるが、高校までの「知識伝授・記憶型の学習」を前提とした感想と思われた。この点については、授業内でふれたつもりではあったがさらに丁寧に、大学での学びについて説明し、実践してもらおうようにしたい。	特になし	特になし
古田 雅明	臨床心理学概論	授業全体の満足度は高かったのですが、授業への積極的参加が低かったです。2年次必修の大人対象の講義ですがmanabaやレスポなどをもう少し積極的に活用することで、学生の積極的な参加を促す工夫が必要と考えました。また宿題を出すなど授業時間外の学修時間を増やす工夫も必要と思います。	特にありません	
千川 剛史	社会学概論Ⅰ	自由記述について、「教科書と資料だけではわかりにくい」という指摘がある一方で、「毎回、提示される資料をじっくり読んで考察することで理解が深まった」と評価がされている。また、「解説のオンデマンド動画が欲しい」という指摘や要望がある一方で「動画がないので電車の中でも難なく受講できた」と評価もされている。基本的な方式は変えたいが受講者からの要望を取り入れて授業に反映できるようにしたい。	教科書を読んで十分時間をかけて予習した上で、manabaの掲示板に質問や見解を書いたり、メールで質問するなど積極的に授業に参加してほしい。	
堀 洋元	安心・安全の社会心理学	とくにありません。	授業内容について応用心理学の視点で考えてもらえればと思います。この授業ではこれまでの専門的学びや個々の知識を大いに活用してください。	
堀 洋元	社会心理学実験研究法(心理学実験)	グループ課題として取り組む内容を厳選していく必要がある。	グループワークでは、自分の持ち味を見つけて貢献できるよう取り組んでください。グループ内で情報を共有することも意識してみましよう。	
堀 洋元	質的データ解析演習	グループで分析する作業が授業の中心であったが、さらにふりかえる時間を設けられるよう改善したい。	心理学研究法のひとつとして質的データの解析を行う授業です。量的データだけでなく、テキストデータの分析も身につけて、卒業論文や文献講読に役立ててください。	
前田 優二	福祉と現代社会	特にありません（回答した学生の評価は高評価のため）	ありません	特にありません
馬淵 聖二	心理的アセスメント	復習の時間について、1〜2時間という人が多かったため、もう少しだけ課題を出す余白があると考えられる。	特にありません	
三好 真	社会・臨床心理学基礎セミナー	主体的な学び・新しく大学生活を始めるという点においては、大きな変更・改善をする必要はなく、安定・充実した授業内容となってきた。一方で、分科会の学び（グループワーク）については、リアベの時間の確保など時間的なマネジメントや学生のニーズにより則した展開に修正をしていきたい。	グループでの協働作業や様々な学びをする中、頑張っています。レポート課題などについて、十分な時間を確保しながら、是非、オフィスアワーなどを有効に活用しましょう。	特になし。
三好 真	心理学研究法	授業の進行・情報については、各プロジェクトグループによって進捗や理解度の差があるため、調節をする必要がある一方、学生間の情報共有による混乱もあった事が考えられる。カリキュラムとしては、尺度研究に関する論文の読み込みなど、研究の内容の具体性をより明示的に示す必要がある事が推察される。また、曜日を跨いでの開講（火曜日・木曜日）であったので、その連携をより綿密にしていくなければならない。	プロジェクトベースの学びとなっていますので、主体的・積極的な行動が求められます。教員が回ってくるのを待っているのではなく、教員を捕まえに行く、自ら質問をしに行くという積極的な姿勢をもって臨んでいきましょう。また、1〜2年で学んだことの統合・発展の授業ですので、これまでに学んだことはよく予習をしたうえで、授業に臨みましょう。	6213教室HDMIや教材提示、VGA入力に不具合が出ていました。応急処置的に対応してもらっていますが、設備のメンテ・点検をお願いしたいです。
三好 真	キャリア心理学セミナー	概ね、ポジティブな反応をしているが、回答数が少ないため、判断をしづらいところがある。プロジェクトベースの学びとしているが、一部の学生にはその目的が良く理解されていない事がうかがえる。プロジェクトに対する考察・洞察が非常に浅い点については、学生たちのモチベーションをより細かく見ていく必要がある。一方で、教員の側からすべてを把握していくのは限界があるため、学生の方から授業に関する質問や相談をしてもらえるよう、声掛け・案内を充実させていく点が改善点としてあげられる。	授業の課題に対して、意義や意味を見出せなかったり、モチベーションが上がらないような場合は、今一度、授業の目的と課題説明を読み返してみよう。それでも、モヤモヤする場合は、是非、オフィスアワーの時間を含めて、教員に主体的に相談しに来ようにしよう。また、逆にポジティブな反応もまた、気兼ねなく共有してもらえると嬉しい。	特になし
三好 真	グループワークⅠ	グループワークのカリキュラム内容に対して、履修生の数はちょうどよく、学びを深められたと感じている。一方で、演習系の授業ではあるが、基礎的な知識の共有・教示の際の学生の反応が薄くなってしまう事があるため、クイズやスモールグループでの確認などもより交えるなど、学びの充実化に工夫をしていく必要がある。	毎回の振り返りの深さが学びの充実に大きく影響を与えます。指定の課題（振り返り）は、提出期限を守り、ただ授業に参加するだけでなく、自分自身で小さなゴール・目標を持ちながら授業に臨みましょう。	特になし。
森 功次	自己表現論	概ね好評だったので、特になし。	なし	HDMIで接続できる環境を整えてもらえると助かります。
守屋 敬子	生活の化学	説明のわかりにくい部分があると指摘を受けたので、・言い回しに工夫をする、・専門用語は解説を加える、などの工夫をしたい。	せっかく課題を提出してくれても、出席が足りずに単位を取得させてあげられない学生が数名いて心苦しかったです。	
守屋 敬子	生活の化学	音声ボリュームの不均一さを解消したいと思います。	期限内に授業を受講してアンケートを提出するだけなのに、出席日数が足りなくなってしまう学生がいます。レポートをちゃんと提出していても出席点が足りず単位を上げられないのが申し訳なく思ってしまうので、出席アンケートだけは提出してほしいと思います。	
山口 育子	こころとからだのしくみA	科目の特性上、なかなか皆さんの意見や考えを聞きだしディスカッションするなどの場面が作れず、私からの一方向の講義になってしまっていますね。レスポなどを活用したりして改善できればと思います。	小テストの最後の項目で、いつもとても良い質問をいただきありがとうございます。授業内でも気軽に質問していただければと思います。	

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他（本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Googleフォームの使い勝手等）
山口 育子	こころとからだのしくみB	科目の特性上、なかなか皆さんの意見や考えを聞きだしディスカッションするなどの場面が作れず、私からの一方向の講義になってしまっていますね。レスポなどを活用したりして改善できればと思います。	小テストの最後の項目で、いつもとても良い質問をいただきありがとうございます。授業内でも気軽に質問していただければと思います。	
山本 真知子	児童・家庭福祉論	ディスカッションできる場がほしいとの意見があったが、1人で授業を受けたいと考えている学生もいるためrespon等で学生同士の意見を話し合えるような工夫をさらに取り入れていきたい。	特にありません	特にありません
山本 真知子	相談援助実習事前指導 相談援助実習事後指導	回答人数はそれぞれ少なかったが、事例検討や個別の発表の対応を行っていたので引き続き対応していきたい。	特にありません。	特にありません。
行貴 志都子	精神障害リハビリテーション論	今後でもできるだけ、精神障害者のイメージが伝わるように工夫をしていきたいと思います。	特にありません	特にありません
吉方 りえ	女性と健康	資料の掲示期間が短いとの意見があったため、今後は学期の終わりまで掲示を行うよう変更しました。また、各自の意見を述べる機会が少ないことを解消するため respon を活用するよう試みています。	無し	特に無し

【資料編】 03

【授業改善アンケート集計結果に対する授業担当者の対応】 後期

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他(本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等)
相川 富哉	社会福祉学基礎セミナーⅡ	グループワークのメンバー分けを気にしていました。トラブルも無かったようで安心しました。	基礎的な学習なので、いろいろな視点からアドバイスを 行ないましたが、理解してもらえたようで有り難いです。	出欠の取り方は非常に面倒でした。
相川 富哉	相談援助演習Ⅳ	概ね授業の目的は達成できたかと考えます。	グループワークでの個々の役割分担が上手くできずに負 担のバランスが気になりました。	出欠の方法は面倒でした。
相川 富哉	相談援助実習事前指導	1名の学生が授業に満足していないとの結果は、重く受 け止めています。	個別の対応が中心になりがちで、個々に平等に関われ るように配慮しましたが、十分だったかは検討です。	出欠の方法が面倒でした。
相川 富哉	相談援助実習指導	実習現場の状況や実習の価値を具体的に伝えられるよ うに努力しましたが、アンケートの9、と10、に①との回 答者が2名いることは、大きな反省点です。	講師をしていて初めて、予想もしない辛辣な意見をもら い、非常に重たく受け止めています。今後どのように解 釈して改善するか検討します。	出欠の方法は面倒でした。
相川 富哉	相談援助演習Ⅴ	他の先生方と一緒にだったので、アンケート1の「ため になっていない」のは自分と理解すれば、内容の再検討が 必要であると考えます。	特にありません。	出欠の方法が面倒でした。
相川 富哉	相談援助実習事後指導	実習報告書の発表などで、多くのコメントと福祉現場の 実情を伝えたりしましたが、不十分だったようで、反省し ています。	特にありません。	出欠の方法が面倒でした。
池見 正剛	環境の社会心理学	ほとんどの学生が授業に満足してくれたようだが、受講 生の数が少なすぎるので、授業外課題などを減らすつもり です。	ごく一部の学生ですが、国民性の違いや男女の社会生 物学的違いを述べただけでレイシズムとか女性蔑視など と批判する前に、物事をもっと深く学んでほしい。	manabaは作成した課題の順番を持続的に変更できない ので少し使いづらいです。
伊澤 冬子	キャンパスライフとメンタルヘルス	特にありません。オンライン授業であったにもかかわらず ず、比較的満足度が高かったのは、理解度確認および 学習内容定着のための小テストを毎回実施し、レスポ ンスも高頻度で(内容によって受講生の間で回答をシェア することもあった)実施したことにより、受講生に、主体的 に取り組んだ感覚をもってもらえたためではないかと思っ ております。	特にありません。	
伊東 一郎	障害の理解	視聴覚教材も使用した授業は学生の理解がよいので、も う少し使用機会を増やしていきたい	テキストを購入していない学生がいるので、購入してほ しい	
伊藤 美登里	社会学基礎セミナーⅡ 現代社会論セミナーⅡ 社会学史 身体とファッションの社会学	1.「お気に入りの学生」との意見があった。過去にも1回 そのような意見があったが、どちらの場合も、教員とし ては、それらの学生は「お気に入り」ではなく「扱いに困っ ている問題学生」であった。他の学生の中には扱いに困っ ているときの教員の態度が、「お気に入り」と映る可能性 があるということであろうから、「扱いに困っている学生」 に対して特段意識せずに行なうようにしたい。2. 教員 が「学生に発した問に対する学生の解答に対する「教員の 意見」があればよいと書いてあったが、教員は、していな いわけではなく、意見をコメントとして述べている。ただ、 授業の内容上「正解」が一つしかないような問いを発して はいないため、そのことも授業で述べているのだが、もう 少しはっきりと説明するようにしたい。他方で、明らかに 誤った回答をした学生も、確かにいるのだが、大勢の前 で学生の行った発言を否定するようなコメントを教員が した場合のマイナスの効果を考えると、それは難しい。む しろ、どのような問いに対しても、学生がみな頑張って考 えて意見を述べたことを評価するようにしている。	特になし。	特になし。
井上 修一	社会福祉学概論Ⅱ	理論と現実を踏まえながら、よりわかりやすい授業に努 めたい。	特になし。	特になし。
今井 信治	現代における宗教	人間関係学部全体と比べて、知識の提供や満足度につ いては見劣りしないものの、積極性や学習時間のスコア が著しく低いことが分りました。宗教というテーマは非 常にセンシティブなので、それなりの履修者数を抱える 現状で、授業内で個人の意見を問うことは難しい ように思います。最終試験にて自身と宗教との関わりを 主語化した論述を求めているのですが、アンケート実施 時点においては講義に終始しておりますので、主体的思 考が問われる機会が少いと思われるのも仕方ないと思 存します。今後の授業では知識を伝達するだけでなく、「問 い掛け」を強く意識したく存じます。死生観等を含めた宗教 に拠って立つ問いを投げ掛けることで、自主学習の足掛 かりを作れればと思います。	授業改善に係る自由記述では、出席確認のみで帰宅する方に対 する不快感・不公平感が目立ちました。これに関しては、当方とし ても思うところがございます。まず、きちんと聴講している方と遅参 してしまつて、同等の出席点が与えられることに不公平感がある ことは理解できます。そして、当方がそうした方々を捕まえてお説 教をすれば溜飲が下がるのかも知れません。ただ、それが貴重な 講義時間を削ってまで行う事柄であるか疑問です。詳細という点に おいての不公平感は共有いたしますが、自由記述中の「真面目に 出席している人がかわいそう」という意見はいささか本意で ず。聴講する利得については学生個人が考えることだと思います が、授業内容に大きな損益がないならば、出席者が損をしてい るという見解には至らないのではなかろうか。この度、出席管 理システムの更新によって、PC/スマホから講義中に示された認証 コードを入力する形式になりました。そのため「学生証を壊れにか ざして、授業に出席せずに退出する」行為は出来なくなりました。そ れは結構なのですが、例えば出席せずに認証だけ行う学生を牽制 するために授業中頃に認証コードを提示する方法を模と、「遅 刻」判定が付きま。授業開始直後にコードを提示する場合であつ ても授業時間が削られますし、「学生がスマホを操作するところか ら授業が始まる」というスタイルに違和感を覚えます。また、授業開 始時点でちゃんと登録してね」と毎回呼び掛けしているのに「遅刻 判定になってしまったから変更して欲しい」という要望を、今年度は 多々経験しました。認証コードの設定と提示という手間が増えた割 に、昨年度までの問題に対する根本的な解決にはなっていないと思 えます。当方が使い方を分かっているだけなのかも知 れませんが、是非、認証コードの提示方法についてのご意見を いただきたいところです。	昨年度までと同様、本「授業改善のためのアンケート」に ついて回答するにあたり、人間関係学部全体の集計結 果とUNIPAで閲覧できる結果の平仄が合っていないこと が気になりました。システムの都合上、様式を細かく合 わせることまでは望みません。ただ、全体集計にてCoverage とSDが提示されているにもかかわらず、個別集計では値 と比率のみですと、こちらで分析結果を出して突き合 わせねばなりません。こうした手間を掛けねばならないなら 素データを頂いた方が、クロス集計等が出来る分、まだし も分析のしがいがあります。その他システムについては特 に不満ございませんが、アンケートは学習時間を犠牲に して行っている事柄ですので、より有意な分析ができるよ う求めたく存じます。
上野 奈初美	スポーツB	特になし。	特になし。	受講生の意欲は高く熱心な学生が多い。
上野 奈初美	レクリエーション実技	特になし。	特になし。	多摩の自然を活かしたウォーキング等授業内で取り入れ ることができた。運動能力や体力面で自信のない学生も 意欲的に取り組んでおり、教養科目として今後も継続し ていきたい。
上野 優子	スポーツと健康	各質問に対する回答で、「わからない、どちらでもない」 という回答を、どのようにとらえれば良いのか、いつも気 になります。	特にありません	どくにありません
牛山 美穂	文化人類学	この授業は最初の5回をオンデマンド、その他10回を対 面で行った。学生からは、すべての授業をオンデマンドに してもよかったという意見や、最初の数回がオンデマンド だったため、後から復習しやすかったという意見があっ た。来年度からはすべて対面での開催となるが、学生に とってオンデマンドのよさもあっただけに、できればハイ ブリッドで授業を続けたかったが、残念である。	特になし	今年度は、いくつかの授業でResponのRoomを使った。 ゲストスピーカーに対する質疑応答にはとてもよかった が、それ以外の場面ではあまり利用されず、学生は Roomを使うよりも直接教員に質問に来ていた。
浦尾 和江	生活支援技術D	本授業では基本技術を学び実践できるようになることを 目的にしている。より良い利用者支援のため、介護者体 験だけではなく利用者体験を実施しているが、体験方法 について学生の理解がより深まるよう事例やワークシ ートの記入方法など工夫したい。	施設の介護実習がすでに終了してから学ぶ教科となっ てしまっているため、利用者の尊厳や自立支援、介護に必 要なコミュニケーションなど実習で学んだことを振り返り、 授業に活かしてほしい。	
小川 浩	障害者福祉論	パワーポイントは毎回更新して改善しているつもりだが、 字が小さいとの声もあったので、更なる改善を図りたい。 動画の活用や現場の方をゲスト講師に招くなどの工夫が 評価されていた。今後実践の様子をイメージできるよう に、情報提供の在り方を工夫していきたい。	特になし	特になし
小幡 正子	コンピュータ基礎・応用	学生さんからの質問の際に机間巡視をしておりますが、 作業を見られたくない学生さんものでも声をかけなが ら対応したいと思ひます。	受講生の皆さんの気分転換の時間を取りながら集中して 学習してもらえように対応いたします。	manabaのrespon、毎回とても盛り上がりります。コレクショ ンは違う使い方でオンデマンドの楽しさを発見できれば と思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。
春日 文	発達心理学	特にございません。	特にございません。	

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他(本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等)
香月 葉々子	キャンパスライフとメンタルヘルス	特になし。 本講義は内容的にも、オンラインリアルタイムでの実施が適していると考え、現在もこの形式で継続しているが(メンタルヘルスを具体的に扱った内容であり、対面授業に適応が難しい学生も受講できるため)この件について「学生の体調に配慮した制度になっていたことがありがたかった」との声があり、こちらの意図が伝わったようで、ありがたかったです。	どくにありません。今年の受講生は様々な意見を挙げてくれるなど全体的に活発で、こちらも勉強になりました。	レスポンスは非常に有用でした。
加藤 浩治	コンピュータ基礎B(応用)	レポート課題の意義を概ね理解されている一方でそうでない学生もいるようなので、いっそう十分な説明を心掛けたい。	積極的に取り組み、質問してください。	とても良好な状態を保っていただき、授業の準備と運営が進めやすくて助かりました。
木下 朋美	児童サービス論	授業へのフィードバックについて、良い評価をいただきましたが、受講人数が前年度より多かったため自分では十分にフィードバックができていないように感じていました。個々に行き渡るような丁寧なフィードバックを心がけていきたいと思います。	特にありません。	特にありません。ありがとうございました。
金 美辰	介護過程Ⅱ-A	予習と復習の時間が確保できるように努めていきたい。	現状のまま、自ら学ぼうとする姿勢で授業に取り組んでいただきたい。	
久保田 滋	社会調査講義Ⅱ	他の調査系の授業と内容的な重複について、それぞれの学生が履修しているバターンによって、受け止め方が違うので、そのような点に配慮していきたい。	ノート・メモをとりながら授業を受けること、理解度が低い学生はテキストを予習・復習時に参照するようにしてほしい。	
蔵野 ともみ	精神保健福祉制度論	50名前後が受講する講義科目ではありますが、知識の定着のためにロールプレイを取り入れ、小グループで事例に基づいて実施しています。今後も他の方法をきめて双方向授業を工夫していきたい。毎時間、予習と復習を具体的に示してきたが、学生の自主性に任せようとしたら、毎時間提出して良いかとの申し出があり、受講生の6割から8割が提出してきました。毎回、チェックし、コメントを書いて返却していたのですが、提出をする学生の中には達成感や予習・復習をすることで教科書を活用したり、調べ学習をする習慣が付き、質問等を個別に書いてくれるようになったりしました。大学は自ら学ぶ場ではありますが、どの様に学習するか、何を学習することを求めているか等を示し、個別の状況に少し合わせたサポートを今後も心掛けたいと思います。	制度を学ぶ本授業は、「制度は活用するものであり、必要に応じて制度を変更するソーシャルアクションを起こすこともソーシャルワーカーに求められている」ということを一貫して伝えています。したがって、事例や新聞記事、視聴覚教材を使いながら、皆さんに考えてもらう機会をたくさん設けています。また他の授業で学ばれたことも取り入れて皆さんに考えてもらう参加型の授業です。積極的に参加することを期待します。	特にありません
小谷 敏	人間関係総論Ⅱ	特段ありません	自分の気に入らない考えであつても耳を傾ける姿勢は必要と思います	特にありません
小谷 敏	社会学基礎セミナーⅡ	特にありません	まじめに授業を受けてくれました	
小谷 敏	現代社会論セミナーⅡ	少し課題の負担が大きかったかと反省しています	まじめによくがんばりました	
齊藤 豊	現代企業論	現代企業における女性を国内外、役職の違いなど、多岐にわたる事例を紹介したが、多岐に渡りすぎて内容が散漫となった。この点を改善して、焦点を定めた内容に改善する。	特になし	教室内の電波のせいしか、出席登録ができない学生がいた。授業期間内に改善していただいたが、それでも登録できない学生がいた。
澤田 唯人	アイデンティティ論	本年度はコロナの影響をほとんど気にすることなく、対面授業で積極的にグループワークを再開したこともあったが、アンケート結果においても、授業内容への関心を高くもってもらえ、受講生それぞれの興味にそって毎回リプレイもできたため、満足度も高かったのではないかと思います。改善点としては毎回の感想やミニ課題をGoogle フォームに投稿してもらうようにしましたが、manababにしてほしいという要望もあり、次年度はmanabaを活用してみたいと思います。またこれはアンケート結果からではないですが、授業の進捗が遅れないように、あまり詰め込みすぎないようにしたいと思います。	アイデンティティに関してさまざまな困難や苦しみをケーススタディ的に学ぶ授業であり、毎回聴くのがつらいことも多かったと思いますが、今年の受講生さんはみなさん真剣に向き合ってくれて、グループワークでも自分なりの考えを導きだそうとするだけでなく、受講生同士で互いの意見を尊重しあい、触発しあってくれていました。私自身もみなさんの経験や考えに教えてもらうことも多くあり、深く感謝しています。ありがとうございました。	manabaなどで、教員だけではなくは投稿者の個人名がわかるが、投稿者(受講生)からは互いの個人名はわからない匿名の授業掲示板などがつくれると、毎回の授業への感想や意見、質問などを教員が把握するだけでなく、受講生間でも匿名で把握できるのでありがたいが、そのような機能はあるのか(設定次第で可能なのか)知りたいです。
嶋貫 真人	社会保障Ⅱ	質問6(授業への参加度)での評価が芳しくなかったもので、次年度はより積極的にリアクションペーパー等を活用していく必要があると思われる。	特になし	特になし
嶋貫 真人	社会福祉学基礎セミナーⅡ	回答数が4件と非常に少なく、全体の傾向が読み取れないので、改善すべき点が不明だった。	特になし	特になし
嶋貫 真人	刑事司法と福祉	「授業中、他の受講生の考え方を知りたいと思う場面があった」という意見があったので、次年度はクイズ等の活用を検討したい。	特になし	特になし
嶋貫 真人	SDG'sと現代社会	授業内容に関して言及しているアンケートが8件と非常に少なく、全体の傾向が把握できないので、改善点は明らかにできなかった。	特になし	特になし
杉山 正司	生涯学習概論	講義が一方向的にならないように、学生に適宜質問をしていきたい。	事前に配信する授業資料を、必ず一読しておいて欲しい。	教員用のPCが横向きにあるため、学生に顔を向けて話にくいし、学生の反応が確認できない。PC装置を正対した配置にして欲しい。
鈴木 文子	健康・医療心理学	responでは通知が届かない、という旨のコメントがあったため、responの使い方を工夫する必要がある。オンデマンド授業であったため、通知がしっかりと届く方が良かった。	オンデマンド授業であったため、課題や小テストへの取り組みは、期限をよく確認してほしい。通知、連絡はするように心がけたが、各自で期限や取り組み方法を確認してもらえると良い。	
田代 光輝	情報社会論	特にありません	特にありません	特にありません
田中 俊之	ジェンダーの社会学	もう少し現代の若者向けの話題を増やす必要がある。	いつも真面目に授業を受けてくれてありがたいと思っています。	
田中 俊	心理学概論Ⅱ	配慮申請学生の申請内容の把握に努めたい。 予習復習を促す努力をしたい。	予習復習、授業の感想を積極的にしてほしい。	
丹野 真紀子	ソーシャルワーク論Ⅱ-B	電気が明るく、スライドが見にくいときがあるようなので、照明には気を付けたいと思います。また、個別指導コレクションが途中まで使用できなかったので授業開始から使用できるよう設定したいと思います。	社会福祉士資格試験科目です。実習で活用できる技術も伝えていますので、実践にどう活かすか考えながら受講してください。	
丹野 真紀子	ソーシャルワーク論Ⅲ-A	学生が真面目に学んでおり、新しい考え方の習得に理解を示してくれていたため、今後も学生の理解を深める授業を続けたい。	社会福祉士資格試験科目です。実習で活用できる技術も伝えていますので、実践にどう活かすか考えながら受講してください。	
丹野 真紀子	相談援助実習事後指導	実習後の指導について学生はまじめに取り組んでおり、学生の成長を感じる事の出来る授業を引き続き行いたいと思います。	実習での内容を言語化するため、考えることが多い授業です。言葉に出すことで文章化できるので、素直に、聴することなく語ってほしいと思います。	
千田 若菜	就労支援サービス	周りの人と意見交換する機会があると良い、という意見から、一人で参加したい方もいるのでしたため、グループワークは強要せず、リアクションペーパー記入時に、周囲の人と話してよいということ、を、伝えようと思います。	特にありません	UNIPA上の出席およびmanaba上の課題提出や質問が「わからなかった」「できなかった」「うまくいかなかった」という受講生からの相談や申し出が多く、非常勤講師として対応が難しく感じました。今回は、受講人数が多くなかったため、申し出があれば柔軟に対応しましたが、人数が多いとこのようにいかないだろうと感じています(たとえば毎回の出席を手動で入力するなど)。一方、操作や提出が部分的でも、申し出がない学生へのフォローも、同様に困難でした。
中條 共子	相談援助演習Ⅱ	課題を提供する際に学習目標をより明確に示すようにします。また、グループワークの発表により多くの時間を割くようにします。	理解できないことがあれば、リアベなどを通じて気軽に質問してください。	なし
中村 道子	介護の基本DとE	改善に関する要望はありませんでした。	概ね好意的な意見が多かったため、来年度も学生の要望を細かく聞いて学生のニーズに沿った授業を展開していきたいです。	
西口 守	社会福祉基礎セミナーⅡ	問題意識をさらにもってもらうための、ひと工夫が必要	特にありません	特にありません。
仁科 薫	政治と現代社会	回答して下さった方々の満足度が高く、大変ありがたくなっている。授業でとりあげた国際社会の状況などは、日々変化しているため、今後も常に新たな状況についても紹介しながら授業を進めていきたい。	リアクションペーパーでは、本講義がきっかけとなり、よりニュースに関心を持つようになったという大変嬉しいご感想をいただきました。今後も、受講者の皆様には現代社会に主体的に関心を持っていただければ(そして本講義がその一助となれば)大変嬉しい。	

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他(本学の施設、設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等)
仁科 薫	現代社会論セミナーⅡ	アンケートにご回答下さった方々の満足度は高く、大変ありがたく感じている。発表者がご欠席された際に、代替課題等に変更となる場合があること等について、より丁寧に説明するようにしたい。	プレゼンでは緊張して当たり前であり、それを前提としながらも発表を楽しんでほしいと考えている。そういったことを可能とするような雰囲気作りについて、自分より学びが工夫してきたいと考えている。	
西谷内 博美	環境社会学	授業内に発言を促すコーティングに改善すべき課題があるようです。	中学生レベルで構わないので社会科の基礎を踏まえ、そのうえで自分が生きる社会に対してより深く関心をもつとよいですね。	特になし
原野 かおり	生活支援技術A-Ⅰ	前期の授業とのダブりがあるとの指摘があった。授業進行と時間割の問題があるため、学生さんに説明しつつ改善を試みる。カリキュラム検討については学科で検討をしている。	なし	なし
原野 かおり	介護過程Ⅲ	なし	なし	なし
原野 かおり	医療ケアⅠ	なし	なし	なし
飛田 和樹	地域福祉論Ⅱ	授業外学習時間は1-2時間(最頻値)~30分未満で9割以上だった。授業内容は常時ブラッシュアップするとともに、課題内容、提出の方法・時期・量などを調整して、授業外学習をより平準化できるようにしたい。	特になし	
飛田 和樹	ケアマネジメント論	授業外学習時間は30分未満(最頻値)~1-2時間で9割以上だった。授業内容は常時ブラッシュアップするとともに、課題内容、提出の方法・時期・量などを調整して、授業外学習を少し強化・平準化したい。ただし、授業外学習については個々の取り組み姿勢による差異が考えられる。	受講生により履修のモチベーションに差が大きいように見受けられた(資格指定科目との比較)。授業内でのディスカッションで他の学生にも関係するため、履修する以上は授業中・事前事後課題ともにきちんと取り組んでもらいたい。	
飛田 和樹	相談援助演習Ⅳ	指定科目(演習)で出席回数の基準が厳しいことに対する意見があったが、資格養成課程による基準のためやむを得ない。授業目的の明確さに関する意見については、授業内での説明や授業担当者間の認識統一(オムニバスのため)を強化することで対応できると思われる。	特になし	
飛田 和樹	社会福祉学基礎セミナーⅡ	授業中に回答時間を設けて促したものの、受講者に対して回答者が少なかった。回答者には概ね高評価だったが、授業外学習時間が30分-1時間にとどまったため、事前事後課題の量・難度を少し引き上げる必要がある。	特になし	
飛田 和樹	相談援助実習指導	オムニバス科目で、授業資料のリニューアルが不十分ではないか(教材が古い)と授業担当者間で確認された(非常勤講師からも指摘あり)。授業次年度以降、授業担当者間で検討が必要と思われる。	特になし	
深水 浩司	図書館サービス概論	授業外学習の時間をあまりとっていない学生が多いいるようなので、今後は、事前・事後学習ができるような仕組みをより多く取り入れる予定です。	アンケート回答数が少ないので、ぜひ、次年度以降は回答をしていただけるようお願いいたします。	特にございません。
深水 浩司	情報サービス演習(1)	アンケート回答数が少ないので何とも言えませんが、課題提出後のフィードバックを強化する必要性を感じています。今後は、できる限り機会を多くするつもりです。	次年度以降は、アンケートへの回答をぜひお願いいたします。	特にございません。
深水 浩司	情報資源組織演習	事前・事後学習の機会を多く持つべきだと感じています。合わせて、演習内でのフィードバックを強化するように努めます。	特にありませんが、アンケートへの回答が少ないことが残念でした。	特にございません。
深水 浩司	情報資源組織論	事前・事後学習の機会をもう少し設ける必要性を感じています。	次年度以降は、アンケートへの回答を、ぜひお願いいたします。	特にございません。
千川 剛史	社会学概論Ⅱ(火1・4)社会調査及び演習Ⅱ(火3)現代社会論セミナーⅡ(木2)	社会学概論Ⅱ(火1・4)については、manabaを使用したオンデマンド方式のオンライン授業である。「3.シラバス」、「4.理解を深めるための工夫」、「8.新しい知識・技能・ものの見方や考え方の習得」、「9.授業への満足」については、「⑤そう思う・④ややそう思う」を合わせて7割~9割であり、まずまずの出来であると思う。また、「7.授業外学習の時間」は、「30分以上2時間未満」が9割であり、受講者は都合の良い時に長時間じっくりと学習に取り組んでいることがわかる。しかし、自由記述については、「社会学の考え方を深く学ぶことができた」「新聞記事が毎回興味深かった。」と評価がされる一方で、「期末レポートが理解しにくい」という指摘や要望があるので、受講者からの指摘と要望を取り入れて授業に反映できるようにしたい。なお、毎回の授業では、レポートの課題と資料のmanabaによる配付だけでなく、manabaの「コースニュース」で前回の授業の課題に対する受講者のレポートに記載された模範的な解答を紹介しながら、適宜、担当教員がそれらの解答についてのコメントや追加説明を記載した「第○回授業の課題についての講評」というタイトルのPDFファイルを添付して、前回の授業の課題についての講評を行い、受講者へ毎回フィードバックを必ず行っている。他方で、「社会調査及び演習Ⅱ(火3)」と「現代社会論セミナーⅡ(木2)」は、manabaを併用した対面授業を行った。各項目の評価については、「社会学概論Ⅱ」と同様である。学生同士の直接的な交流ができるように心がけたい。	講義科目もセミナー科目も、教科書を読んでも十分時間をかけて予習した上で、manabaの掲示板に質問や見解を書いたり、メールで質問するなど積極的に授業に参加してほしい。	なし。
堀 洋元	人間の成長と心理:オンライン	回答先が課題によってmanaba、respon、Googleフォームと異なっており、課題の管理が難しいとの声があったため、manabaに集約できるよう工夫したい。	この授業はオンラインで行われましたが、受講生による意見交換の機会を作り、自分と異なる視点をも身につける場として十分に機能したと考えています。全学共通科目のため、さまざまな専攻の学生、異なる学年の学生が受講します。ひとつのテーマについて多様な視点を得られる場にもなりますので、その点を念頭に置いて受講してください。	
堀 洋元	産業・組織心理学	開講以来オンライン授業として行っていたため、今年度の実施を踏まえ今後は対面による双方向的な意見交換の方法を活用していきたい。	就職活動など、今後の進路を考える上で産業や組織上の問題に関心があると思います。社会人として関わり得る現象や心理学的概念について、客観的に、ときには自分ごととして考えてみてください。	
堀 洋元	心理学研究法基礎	チームティーチングによる授業のため、その利点をより活かせるように授業方法や授業内容を改善していきたい。	この授業では、科学としての心理学を学んでいくにあたり、研究法のひとつである実験法を中心に体験的に学びます。この授業から卒業論文に向けての学びにつなげていきますので、積み重ねを意識して取り組んでください。	
堀 洋元	心理学統計法	分析方法の課題は、全体向けのフィードバックと巡回による個々の理解度を確認する形で進めていった。今後は個々が身につけたスキルを各自で確認できるようなくみを作っていきたい。	この授業では毎週パソコンを使い分析や結果の整理を行うため、パソコンの活用スキルも身につきます。積み重ねることがいかに大切であるかを実感しつつ、集中して取り組んでください。	
本田 周二	対人コミュニケーション	休みの連絡遅くなってお迷惑をお掛けしました。なかなか事前に予測がつかないのですが、出来る限り早めに連絡できるようにします。	ない	
牧野 智和	基礎統計学Ⅱ	全体として満足度は高かったように思われるが、2年次に社会調査士クラスの希望者が減ったので、もう少し平易になるよう心掛けた方がよいかもしれない。	特にありません。	
牧野 智和	子どもと教育の社会学	無勉強でテストに臨んだ場合本当に落第することになると口酸っぱく伝えたものの、5%程度はば無勉強(で落第)という学生がいたので、この点を今後改善したい。	特にありません。	
馬淵 聖二	心理検査セミナー、心理的アセスメント	回答者が少な結果から判断することが難しかった	なし	次年度は回答を促進したい
壬生 尚美	介護の基本F	避難所ゲームや車いすでの戸外の移動介助など体験的な学習内容を取り入れ実施することができ、受講生からも好評でした。	ご自身の考えをもってディスカッションをすることができていました。	必要に応じて教えていたきながら進めることができました。
三好 真	心理学特別セミナーB	特になし	特になし	特になし

氏名	科目名	授業の改善点	受講生への要望	その他(本学の施設・設備、UNIPA、manaba、Google フォームの使い勝手等)
八城 薫	社会心理学調査研究法	チームティーチング時の教員同士のやり取りは、学生さんを心配させないように注意を払って行うようにします。	この授業は2クラス合同のチームティーチングで実施している演習授業ですので、出来るだけ学生さんの様子と進捗に合わせて、臨機応変に授業を展開するべく、授業中にも教員同士ですり合わせをする事が多いです。教卓側で何を話しているのか気になるという事があるのは理解して気をつけたいと思いますが、学生さんたちのために常に最善を考えて誠実に誠心誠意授業をしていたことはご理解いただけると嬉しいです。	Manabaの個別指導コレクションをファイル保管場所に使う学生さんがいますが、Googleドライブなどを使うように指導することを講師全体で共有したいです。
山口 育子	発達と老化の理解	授業の理解度を確認する毎回の小テストにしっかり取り組んでいただきありがとうございます。フィードバックも概ね有効をもらえていただけて良かったです。授業内ではなかなか皆さんの意見や考えを聞きだしてディスカッションするなどの場面が作れず、私からの一方向の講義になってしまっています。レスポンスなどを活用したりして改善できればと思います。	確認小テストの最後の質問受付で、いつもとても良い質問をいただきありがとうございます。授業内でも気軽に質問していただくとよいと思います。遠慮なくどうぞ。	特にありません。施設・設備、システム等、快適な学修環境、授業環境が整っていると思います。
山本 真知子	ソーシャルワーク論ⅠA	小テストを入れて欲しい要望があったのでmanabaやresponを使用しながら、より良い授業を目指していきたいと思っています。	特にありません	特にありません
山本 真知子	社会的養護論	複雑な内容になっていると思うので、できるだけわかりやすい授業をこれからも心掛けていきたいと思っています。	特にありません	特にありません
山本 真知子	相談援助演習Ⅱ	レポートの締め切りの時間に関して次年度以降検討していきたいと思っています。	演習の授業はグループワークもあるので、苦手な方にとっては大変だったと思いますが、実習や現場では必要なことだと思いますので、今後の授業でも頑張って取り組んでください。	特にありません。
吉方 りえ	女性と健康	オンデマンド授業であるが学生とのコミュニケーションの工夫が更に必要と思われる。	特に無し	
吉野 薫	キャリアデザインⅠ・Ⅲ	特にありません	特にありません	教室に設置してあるPCのブラウザのブックマークに「UNIPA」を登録していただきたい。教室に携帯電話の電波が入りづらいので改善されたい。

【資料編】 04

【授業改善アンケート集計結果：学部全体・カテゴリ別】 前期・後期

2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

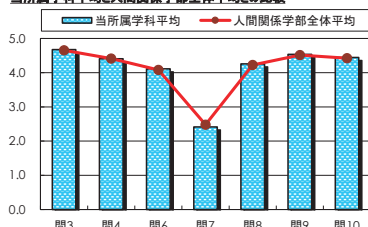
大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会学専攻							受講者数		-	
									回答者数		1,506	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他				
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データ&テキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)					
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.68	69.8	20.5	2.5	1.4	0.2	5.6	0.62			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.41	57.0	27.8	8.4	2.5	1.5	3.0	0.86			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			14.0	18.6	51.3	6.0	23.6	1.8	24.6			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.11	40.2	27.1	14.2	4.1	2.6	11.9	1.03	区分 平均値	4.14	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.41	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	全体 平均値	4.13	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.26	48.1	24.6	11.2	3.5	2.3	10.4	0.99			
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.54	63.1	28.6	4.6	1.3	1.0	1.5	0.73			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.45	61.6	26.1	7.1	2.7	1.6	0.9	0.87	※問3,4,6~10の平均		

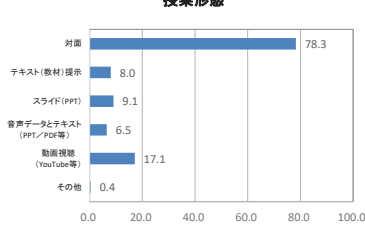
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

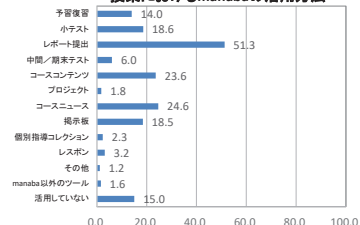
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

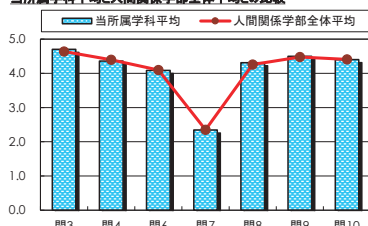
大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会学専攻						受講者数		-	
								回答者数		1,100	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.70	69.2	18.1	2.3	1.2	0.3	9.0	0.61		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.36	56.4	26.1	9.0	4.2	1.5	2.9	0.92		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			16.8	14.3	45.6	5.7	29.2	2.8	30.5		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.09	39.3	27.9	14.4	3.5	3.5	11.5	1.05	区分 区平均値	4.13
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.35	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.31	48.4	24.6	10.3	1.8	2.5	12.5	0.95		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.50	61.4	28.8	5.1	1.9	1.2	1.6	0.78		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.40	60.1	26.5	6.1	4.7	1.6	1.0	0.92	※問3,4,6～10の平均値	

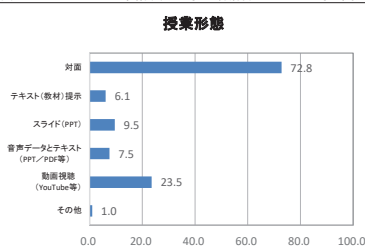
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

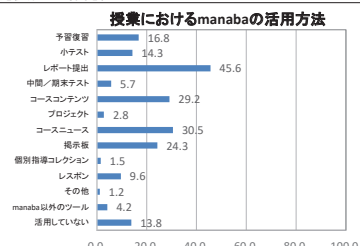
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

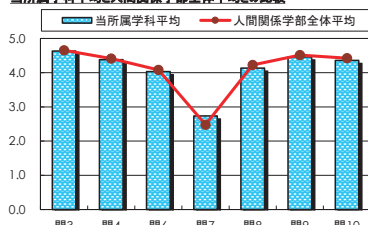
大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会・臨床心理学専攻						受講者数		－	
								回答者数		1,294	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.63	67.4	23.0	2.9	1.3	0.6	4.9	0.67		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.38	56.1	31.3	5.8	2.9	2.3	1.6	0.90		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			25.0	33.0	59.8	7.7	35.8	6.7	38.3		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.03	35.3	32.1	13.8	4.9	2.9	11.0	1.03	区分 平均値	4.11
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.73	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.13	39.6	29.4	11.7	3.9	2.8	12.6	1.02		
9	この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。	4.46	59.0	31.5	4.6	2.4	1.4	1.2	0.81		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.36	56.4	29.3	8.9	2.6	2.3	0.5	0.92	※問3.4.6～10の平均値	

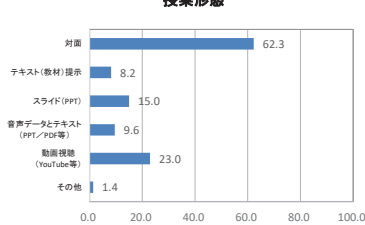
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

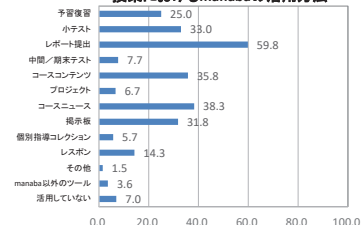
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

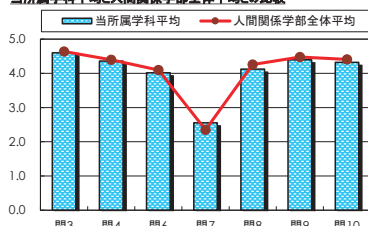
大妻女子大学

所属学科		人間関係学科 社会・臨床心理学専攻						受講者数		-	
								回答者数		940	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.60	65.7	26.4	3.3	1.2	0.6	2.8	0.68		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.36	54.5	32.6	7.2	3.3	1.7	0.7	0.88		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			25.6	28.4	60.6	6.2	47.6	4.0	43.2		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.01	36.6	30.2	16.3	6.2	2.2	8.5	1.03	区分 区平均値	4.06
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.55	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.12	51.4	29.9	12.6	4.8	2.7	8.7	1.02		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.40	56.2	33.3	6.1	2.7	1.7	0.1	0.85		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.32	54.1	31.9	7.9	3.0	2.8	0.3	0.94	※問3,4,6～10の平均値	

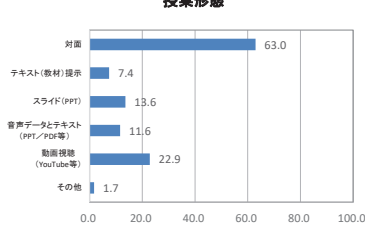
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

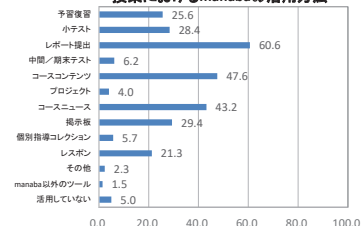
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

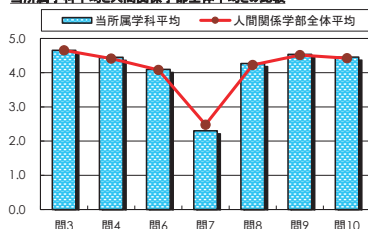
大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科						受講者数	-						
								回答者数	1,427						
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差						
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい							
												オンデマンド型			
												対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		91.5	2.1	4.2	2.5	5.2	0.2							
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	65.0	22.4	2.7	0.8	0.4	8.7	0.62						
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.45	58.7	25.4	8.1	2.0	1.3	4.6	0.84						
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。	予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース							
		15.1	16.0	45.5	4.2	21.2	1.9	32.9							
		掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない								
		18.8	2.7	7.7	1.6	1.3	19.9								
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.10	39.7	29.2	14.7	3.6	3.0	9.7	1.03						
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.30	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09	区分 平均値	4.13				
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.27	46.4	24.5	10.0	2.9	2.5	13.7	0.99	全体 平均値	4.13				
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.54	62.7	27.9	5.4	1.0	1.0	2.0	0.73						
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	60.8	26.9	6.9	1.7	2.0	1.8	0.85			※問3,4,6～10の平均			

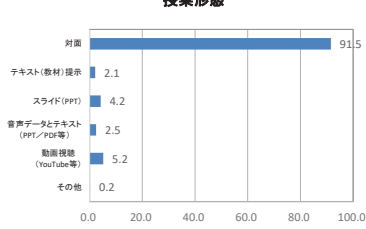
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

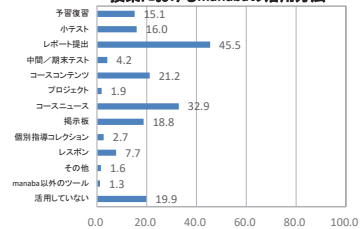
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(所属学科別)

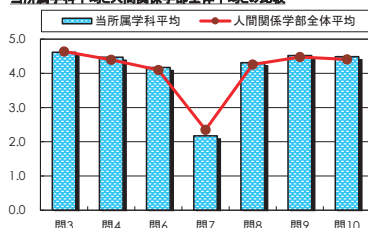
大妻女子大学

所属学科		人間福祉学科					受講者数		-						
							回答者数		1,140						
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差						
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい							
												オンデマンド型			
												対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		85.5	3.4	5.6	5.1	9.0	0.4							
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	64.4	25.0	3.9	0.4	0.5	5.8	0.64						
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.47	59.7	26.7	8.2	1.5	1.0	2.9	0.79						
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース						
			15.4	19.5	54.9	5.9	20.3	1.6	30.7						
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない							
			19.6	2.8	11.7	2.2	0.7	13.2							
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.17	42.0	30.0	14.9	2.5	2.2	8.4	0.96						
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.17	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.99	区分 平均値	4.14				
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.31	49.5	26.1	11.6	2.0	1.8	8.9	0.92	全体 平均値	4.11				
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.52	63.2	26.2	6.2	1.6	1.0	1.8	0.77						
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.49	62.8	24.2	8.1	1.8	1.1	1.9	0.82			※問3,4,6～10の平均			

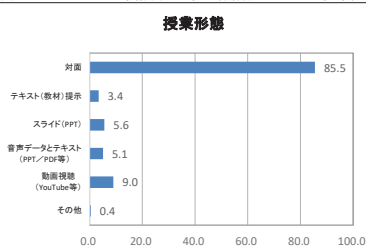
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

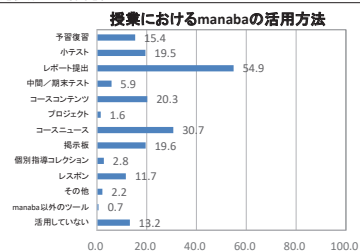
当所属学科平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

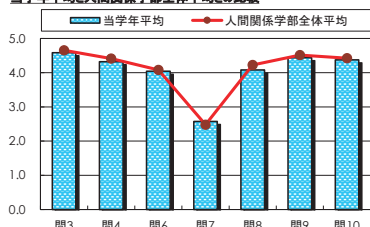
大妻女子大学

学年		1年					受講者数		-		
							回答者数		1,308		
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/ノド等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.58	62.4	23.6	3.4	2.2	0.3	8.1	0.71		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.32	53.1	28.9	9.6	2.7	2.3	3.4	0.93		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間ノ 期未テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			17.8	19.4	56.3	5.9	18.1	1.1	23.1		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.04	37.5	27.7	16.1	3.9	3.3	11.5	1.06	区分 平均値	4.07
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.57	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.08	37.5	26.0	14.4	3.7	2.9	15.4	1.05	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.44	57.4	32.3	4.4	2.3	1.8	1.9	0.83		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.37	55.8	30.3	7.9	2.6	2.0	1.5	0.89		
※問3.4.6～10の平均値											

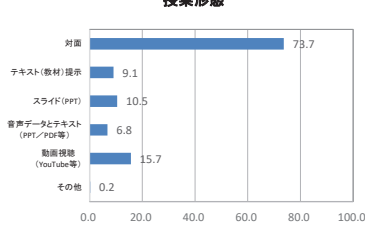
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

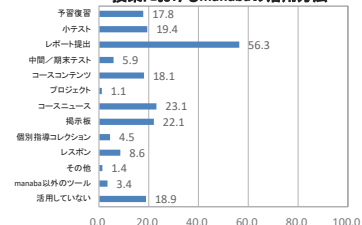
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

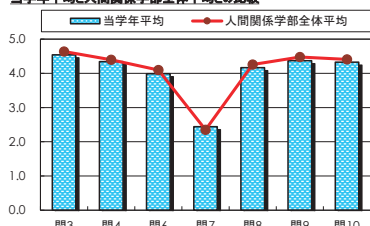
大妻女子大学

学年		1年		受講者数		-					
				回答者数		1,042					
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)					
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.54	58.7	26.4	5.3	1.1	0.6	8.0	0.71		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.34	51.5	33.8	9.2	2.8	1.1	1.6	0.84		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			19.2	21.6	61.0	7.2	24.4	1.2	30.4		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.99	36.3	29.9	18.3	4.5	3.3	7.7	1.05	区分 平均値	4.03
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.44	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.00	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.16	41.2	29.8	15.1	3.0	1.7	9.2	0.95		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.37	53.6	32.8	8.4	2.1	1.4	1.5	0.84		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.33	55.7	27.9	9.4	3.9	2.0	1.1	0.95	※問3,4,6～10の平均値	

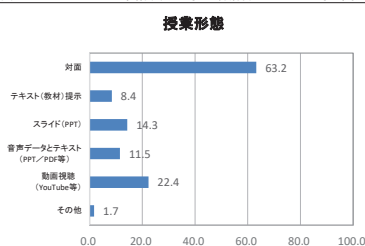
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

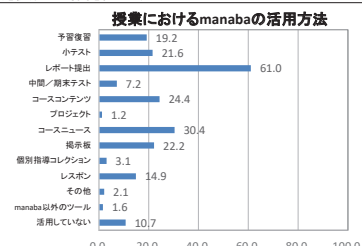
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

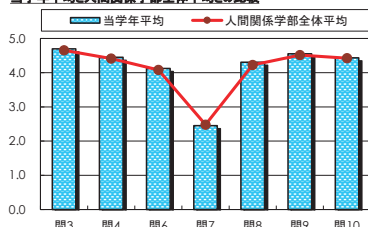
大妻女子大学

学年		2年		受講者数		-			
				回答者数		1,716			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他	
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.70	70.9	20.4	2.3	0.6	0.4	5.4	0.59
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.45	59.6	27.2	7.2	2.6	1.0	2.3	0.83
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			17.9	22.4	48.7	4.7	24.4	4.1	32.6
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
			22.4	2.6	10.8	1.8	1.0	13.2	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.12	39.7	29.0	14.3	4.2	2.0	10.8	0.99
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.45	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.30	48.7	26.3	8.6	3.7	1.9	10.8	0.95
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	63.5	28.3	5.1	0.9	0.8	1.5	0.71
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.43	61.0	26.4	7.5	2.5	1.9	0.8	0.88
※問3.4.6～10の平均値									

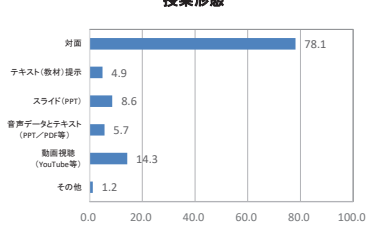
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

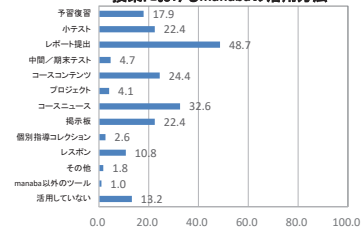
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

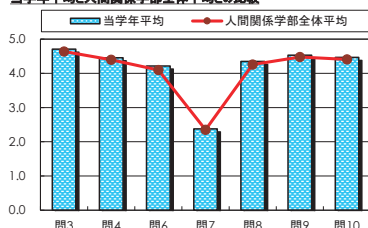
大妻女子大学

学年		2年		受講者数					-		
				回答者数					1,168		
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
			80.3	3.6	5.6	6.2	13.8	0.3			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.71	71.1	19.3	2.0	0.8	0.5	6.3	0.60		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	63.3	22.8	6.7	3.2	1.9	2.2	0.90		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			19.3	18.1	53.0	4.3	31.9	3.0	34.5		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			20.5	3.8	11.0	1.7	1.5	10.6			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.21	44.0	30.1	10.2	3.2	2.7	9.8	0.98	区分 平均値	4.18
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.37	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.35	54.5	23.5	7.8	2.8	3.1	8.3	0.99	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.53	65.1	25.4	4.5	2.2	1.4	1.5	0.80		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	63.6	24.2	5.7	2.8	2.1	1.5	0.89		

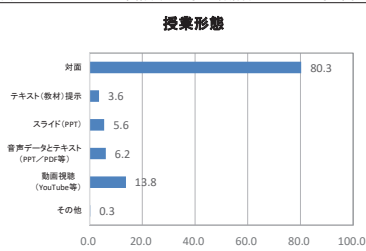
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

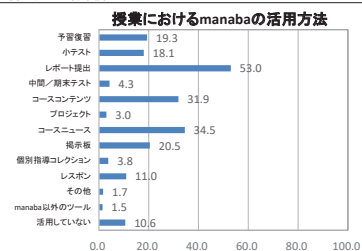
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

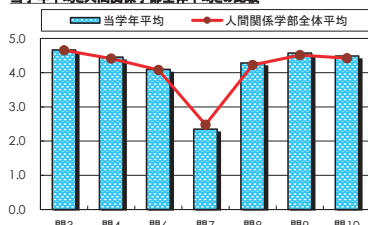
大妻女子大学

学年		3年				受講者数		-			
						回答者数		932			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/ノド等)	動画視聴 (YouTube等)					
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	68.2	23.1	2.5	0.6	0.5	5.0	0.82		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	59.7	27.8	6.1	2.0	1.7	2.7	0.84		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンカーなど)	小テスト	レポート提出	中間ノ 期未テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			18.9	24.9	54.7	7.4	40.1	5.2	37.4		
			提示板	個別指導 コレクション	レスポ	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.10	38.3	32.3	12.1	4.3	2.9	10.1	1.02	区分 平均値	4.15
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.35	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.20	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.29	49.4	25.4	10.3	2.5	2.8	9.7	0.98		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.57	66.5	26.5	4.2	1.6	0.8	0.4	0.72		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.49	64.5	24.7	7.4	1.4	1.8	0.2	0.84	※問3.4.6～10の平均	

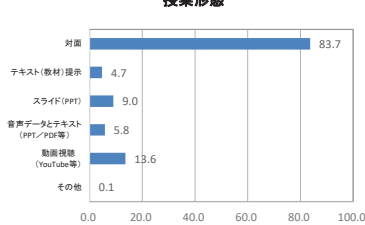
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

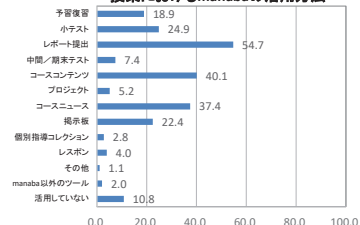
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

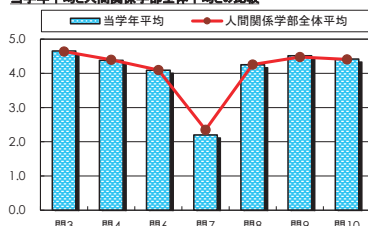
大妻女子大学

学年		3年		受講者数		回答者数		- 830	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		80.4	4.6	8.8	6.0	18.3	0.8	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	68.3	24.5	2.4	0.8	0.4	3.6	0.61
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.38	54.8	29.2	9.0	3.3	0.8	2.9	0.85
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンカーなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			17.3	21.9	47.2	7.1	37.8	3.7	37.1
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.09	39.3	27.6	18.0	3.6	1.9	9.6	0.99
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.20	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.06
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.25	43.4	28.4	11.8	2.2	1.7	12.5	0.92
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.52	62.3	29.9	4.9	1.6	1.0	0.4	0.75
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.42	57.6	30.4	7.3	2.9	1.0	0.8	0.83
※問3.4.6～10の平均値									

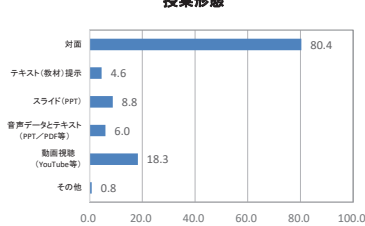
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

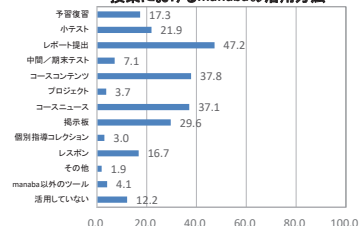
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

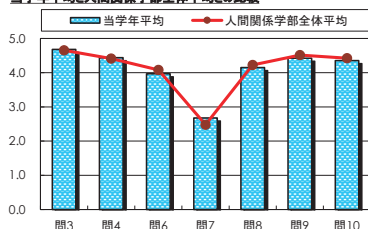
大妻女子大学

学年		4年				受講者数		-			
						回答者数		271			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声テキストとテキスト (PPT/ノドク等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.68	67.5	19.2	2.2	1.8	0.0	9.2	0.82		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.44	54.2	30.3	3.3	1.8	2.2	8.1	0.86		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間ノ 期未テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			12.5	23.6	41.7	8.9	33.6	2.6	45.8		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.97	36.2	29.5	12.9	4.8	5.5	11.1	1.15	区分 平均値	4.12
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.68	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.21	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.15	41.3	26.9	10.7	3.3	3.7	14.0	1.06		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.42	55.0	29.9	8.1	1.1	1.5	4.4	0.82		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.36	54.6	28.4	7.0	3.0	2.6	4.4	0.94	※問3.4.6～10の平均値	

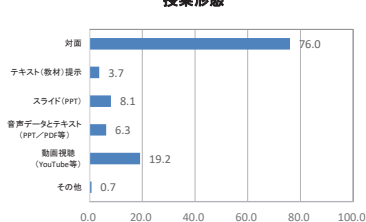
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

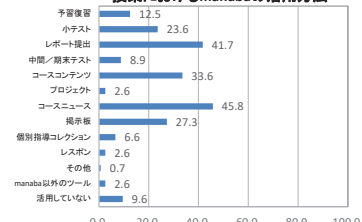
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(学年別)

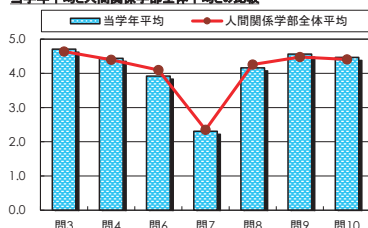
大妻女子大学

学年		4年		受講者数		-			
				回答者数		144			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
			75.0	6.9	6.9	5.6	21.5	2.8	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.71	72.2	21.5	1.4	1.4	0.0	3.5	0.57
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.44	58.3	27.1	8.3	0.7	2.1	3.5	0.85
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			21.5	20.1	35.4	2.8	43.1	5.6	47.2
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.92	27.1	29.2	15.3	6.9	1.4	20.1	1.02
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.31	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.23
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.16	43.8	20.1	11.8	4.2	3.5	16.7	1.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.56	63.2	29.2	2.1	2.1	0.7	2.8	0.71
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.47	61.8	28.5	4.9	2.1	2.1	0.7	0.85
			※問3,4,6～10の平均値						

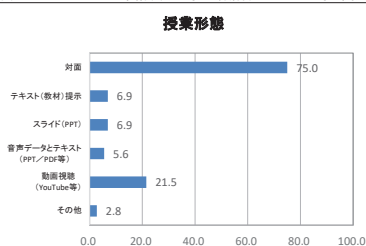
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

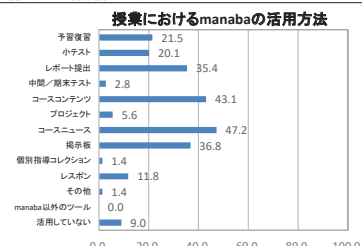
当学年平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

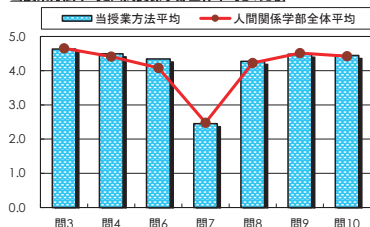
大妻女子大学

授業方法		演習						受講者数		2,117	
								回答者数		1,021	
問.	説明文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データ&テキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			97.4	0.8	0.8	0.6	2.3	0.1			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.63	64.8	21.1	3.7	1.5	0.1	8.8	0.65		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.49	63.3	23.5	7.0	1.9	1.6	2.8	0.84		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			9.8	6.0	31.3	2.4	17.6	5.1	30.8		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			22.1	3.4	2.9	2.1	3.3	29.9			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.34	50.7	31.9	9.6	2.1	1.5	4.2	0.86	区分 平均値	4.17
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.45	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.21	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.27	46.7	26.3	9.6	3.2	2.3	11.9	0.97		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.48	60.8	28.2	5.3	2.2	1.3	2.3	0.80		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.44	61.5	25.5	7.5	1.8	2.3	1.5	0.88	※問3,4,6～10の平均値	

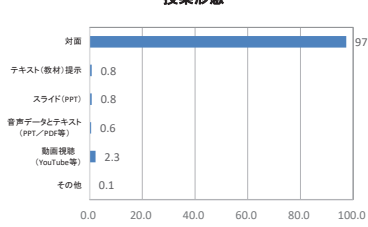
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

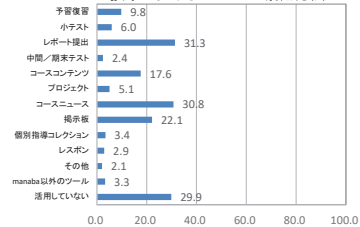
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

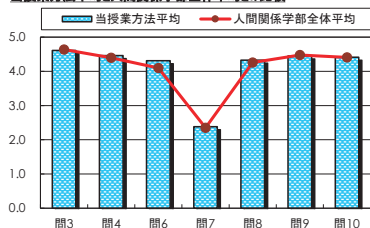
大妻女子大学

授業方法		演習						受講者数		1,933	
								回答者数		812	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			99.0	0.4	0.7	0.5	0.7	0.1			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.61	61.7	22.2	4.7	0.5	0.5	10.5	0.67		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	60.2	28.1	6.5	2.5	1.1	1.6	0.82		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			11.9	4.7	42.4	0.7	19.0	3.3	32.3		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			18.2	3.6	3.6	2.8	0.7	22.7			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.31	50.9	30.3	11.0	2.6	1.6	3.7	0.90	区分 平均値	4.15
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.38	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13		
			4.2	11.1	23.8	27.8	23.9	9.2		全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.33	51.1	27.0	11.3	2.2	1.6	6.8	0.90		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.45	59.9	28.2	6.4	2.0	1.7	1.8	0.84		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.41	61.3	24.5	7.5	3.0	2.3	1.4	0.93	※問3,4,6～10の平均値	

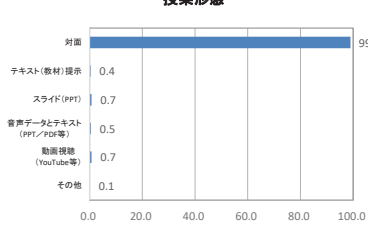
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

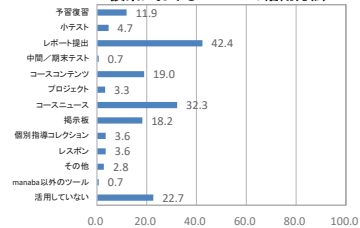
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

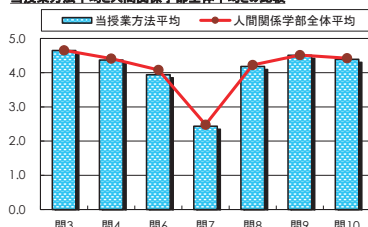
大妻女子大学

授業方法		講義		受講者数		回答者数			
				6,160		2,899			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他	
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)		
			68.7	8.4	13.1	8.6	20.6	0.9	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	67.3	23.0	2.4	1.1	0.5	5.8	0.64
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.37	54.5	29.8	8.1	2.7	1.8	3.1	0.89
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			20.4	26.6	57.3	6.9	28.1	1.1	31.0
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
			21.4	3.2	8.9	1.1	1.7	9.9	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.94	32.4	28.6	16.6	5.2	3.5	13.8	1.08
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.44	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08
			3.9	8.8	29.3	26.4	19.9	11.8	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.18	43.0	26.2	11.6	3.6	2.8	12.8	1.02
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.51	61.0	30.3	4.9	1.3	1.1	1.4	0.75
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	58.1	28.4	7.8	2.8	2.0	1.0	0.90
			※問3,4,6～10の平均値						

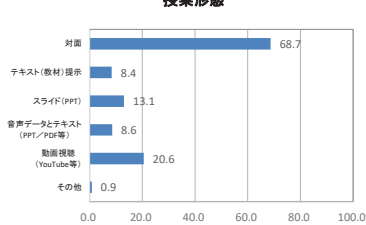
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

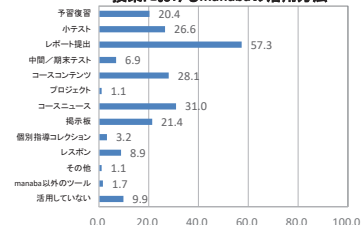
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

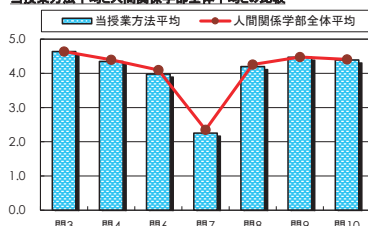
大妻女子大学

授業方法		講義		受講者数						5,945	
				回答者数						2,161	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
				62.8	8.1	13.4	11.3				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.64	67.0	24.2	2.7	1.1	0.5	4.6	0.65		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.35	54.0	29.3	9.2	3.3	1.4	2.7	0.89		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			19.9	23.1	57.8	7.4	34.4	2.4	35.1		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			25.8	2.7	17.0	1.6	2.6	6.8			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.98	34.3	28.7	17.2	4.6	3.2	12.0	1.06	区分 平均値	4.07
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.25	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.99		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.20	43.3	26.9	12.1	3.1	2.5	12.0	1.00	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.47	60.0	30.0	5.8	2.0	1.1	1.1	0.79		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	57.5	28.9	7.6	3.4	1.5	1.1	0.88		
										※問3,4,6～10の平均	

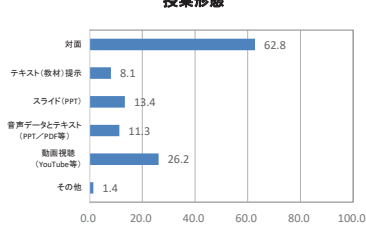
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

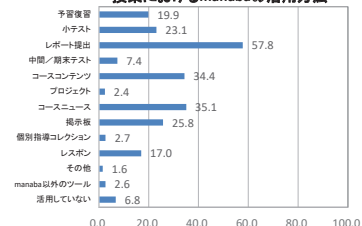
当授業方法平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



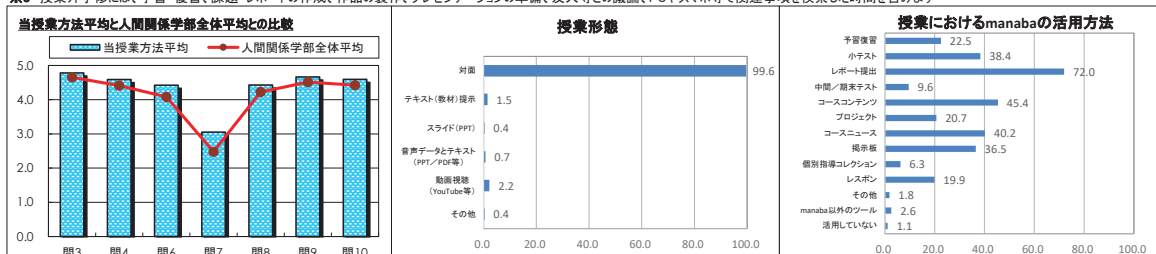
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・演習						受講者数		558	
								回答者数		271	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型					その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声テキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			99.6	1.5	0.4	0.7	2.2	0.4			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.78	78.2	15.1	1.1	0.7	0.4	4.4	0.54		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.59	64.6	28.4	2.2	1.8	0.4	2.6	0.87		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			22.5	38.4	72.0	9.6	45.4	20.7	40.2		
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			36.5	6.3	19.9	1.8	2.6	1.1			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.42	56.1	28.4	7.7	1.8	1.5	4.4	0.84	区分 平均値	4.37
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	3.05	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.21		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.43	57.2	24.0	8.5	2.6	1.1	6.6	0.86	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.66	72.3	22.9	1.8	0.7	1.1	1.1	0.66		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.60	67.5	24.4	6.3	0.0	0.7	1.1	0.68		

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



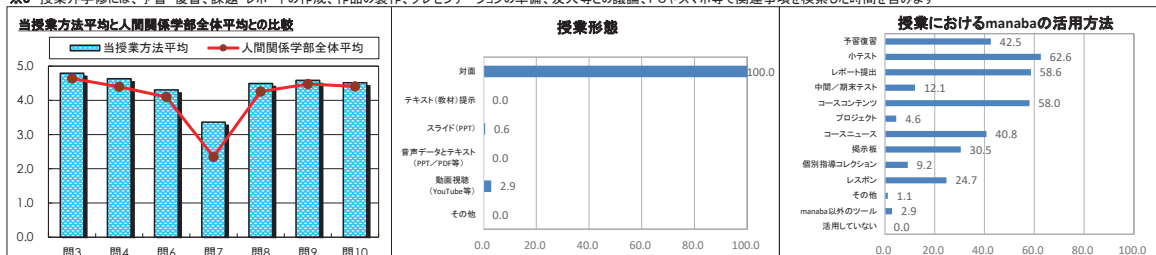
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・演習						受講者数		452	
								回答者数		174	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.79	100.0	0.0	0.6	0.0	2.9	0.0	0.53		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.63	75.9	16.1	5.2	1.1	1.7	0.0	0.78		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			42.5	62.6	58.6	12.1	58.0	4.6	40.8		
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.30	46.0	34.5	10.9	2.3	0.6	5.7	0.82	区分 平均値	4.38
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	3.36	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.17	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.49	65.5	23.6	5.7	1.1	2.9	1.1	0.89		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.59	69.0	24.7	3.4	1.7	1.1	0.0	0.75		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.51	67.8	23.0	3.4	2.3	2.9	0.6	0.90	※問3,4,6～10の平均値	

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



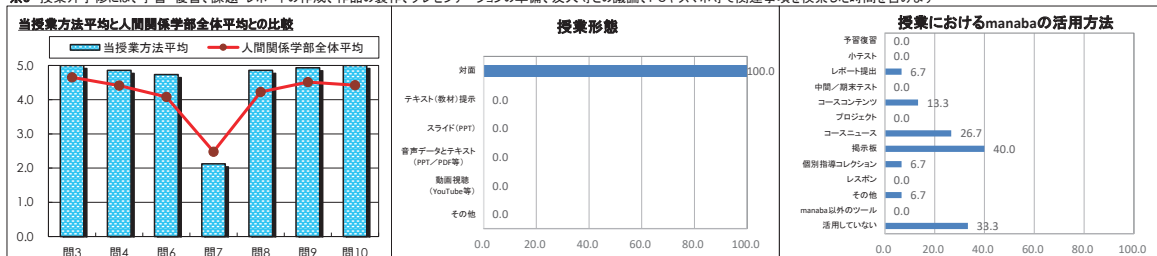
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・実習							受講者数		40	
									回答者数		15	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データ&テキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.86	86.7	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.53			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			0.0	0.0	6.7	0.0	13.3	0.0	26.7			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.73	80.0	13.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.59	区分 平均値	4.67	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.13	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.99	全体 平均値	4.13	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.86	80.0	13.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.36			
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.93	93.3	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.26			
10	あなたは授業に満足しましたか。	5.00	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.00	※問3,4,6~10の平均値		

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



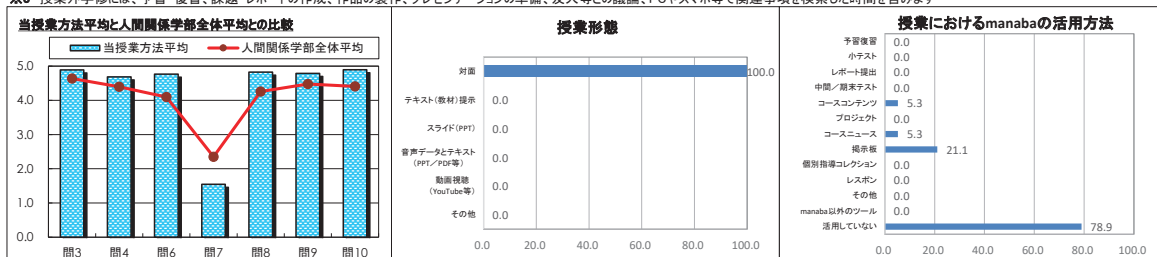
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		講義・実習						受講者数		27	
								回答者数		19	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。 ※1	4.89	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.32		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.68	73.7	21.1	5.3	0.0	0.0	0.0	0.58		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	5.3		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。 ※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.76	73.7	10.5	5.3	0.0	0.0	10.5	0.56	区分 平均値	4.51
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。 ※3	1.55	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.82	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.82	73.7	15.8	0.0	0.0	0.0	10.5	0.39		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.79	89.5	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.71		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.89	89.5	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.32	※問3,4,6～10の平均値	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



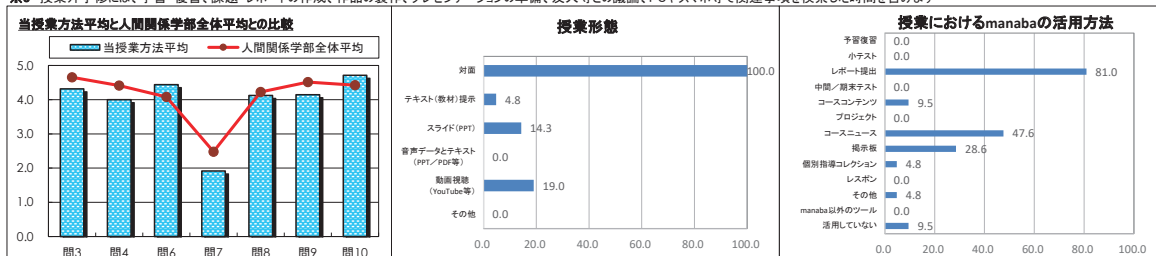
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		実技							受講者数	83
									回答者数	21
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	4.8	14.3	0.0	19.0	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.32	52.4	19.0	14.3	4.8	0.0	9.5	0.95	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.00	28.6	28.6	19.0	4.8	0.0	19.0	0.94	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			0.0	0.0	81.0	0.0	9.5	0.0	47.6	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			28.6	4.8	0.0	4.8	0.0	9.5		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.44	38.1	33.3	4.8	0.0	0.0	23.8	0.83	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	1.92	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.24	
			4.8	0.0	9.5	14.3	28.6	42.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.13	28.6	28.6	19.0	0.0	0.0	23.8	0.81	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.14	42.9	33.3	19.0	4.8	0.0	0.0	0.91	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.71	71.4	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.46	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



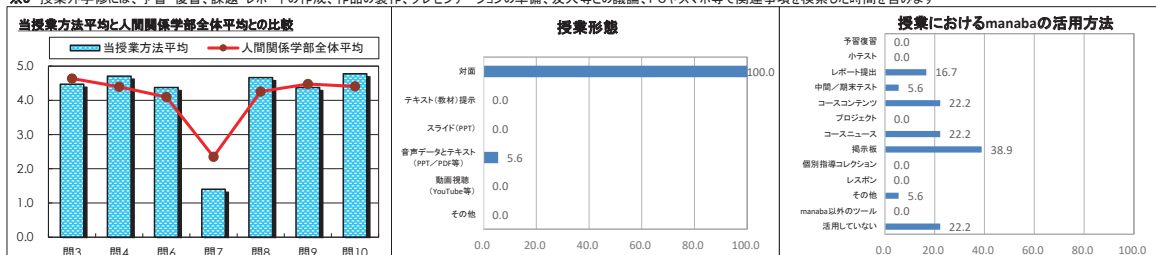
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(授業方法別)

大妻女子大学

授業方法		実技							受講者数	60
									回答者数	18
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	0.0	0.0	5.6	0.0	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.47	55.6	27.8	11.1	0.0	0.0	5.6	0.72	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.71	66.7	27.8	0.0	0.0	0.0	5.6	0.47	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			0.0	0.0	16.7	5.6	22.2	0.0	22.2	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			38.9	0.0	0.0	5.6	0.0	22.2		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.38	50.0	33.3	0.0	0.0	5.6	11.1	1.02	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	1.40	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.55	
			0.0	0.0	0.0	11.1	16.7	72.2		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.67	55.6	27.8	0.0	0.0	0.0	16.7	0.49	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.38	38.9	44.4	5.6	0.0	0.0	11.1	0.82	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.78	83.3	11.1	5.6	0.0	0.0	0.0	0.55	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

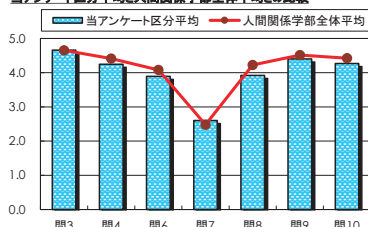
大妻女子大学

アンケート区分		31人間(教養科目)							受講者数	1,984
									回答者数	820
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			37.1	14.4	25.7	17.9	38.4	0.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	65.7	24.8	1.5	1.0	0.2	6.8	0.59	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.25	49.1	30.7	10.2	3.3	2.8	3.8	0.98	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			21.7	32.0	68.2	7.8	27.9	1.2	30.4	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			22.2	3.3	1.8	1.2	1.7	7.8		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.89	30.5	29.0	15.4	5.0	4.8	15.4	1.13	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.60	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13	
			5.5	11.5	31.1	22.4	17.6	12.0		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.92	32.4	25.7	13.5	5.6	4.8	17.9	1.16	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.40	53.9	34.3	6.0	2.2	1.5	2.2	0.82	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.27	50.9	32.1	9.9	2.8	3.0	1.3	0.97	

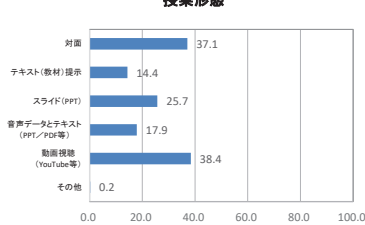
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

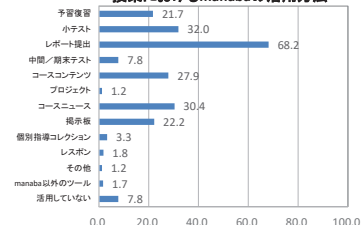
当アンケート区分平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

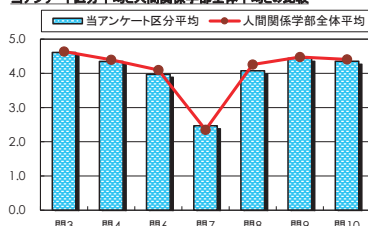
大妻女子大学

アンケート区分		31人間(教養科目)							受講者数	1,945
									回答者数	615
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			29.4	9.1	23.1	25.2	43.6	3.1		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.61	63.6	24.2	3.7	0.7	0.7	7.2	0.67	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.35	50.9	34.3	8.8	2.8	0.8	2.4	0.82	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			24.2	26.0	77.1	7.0	34.3	1.5	35.6	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			25.9	2.9	15.3	1.3	2.1	1.1		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.97	32.8	28.1	17.6	4.7	2.8	14.0	1.05	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.47	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.97	
			2.1	10.2	30.7	32.8	15.1	8.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.08	36.9	28.6	15.9	4.2	2.0	12.4	1.00	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.44	55.8	33.2	7.2	1.3	1.0	1.6	0.77	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.35	54.3	30.4	9.9	2.6	1.5	1.3	0.88	

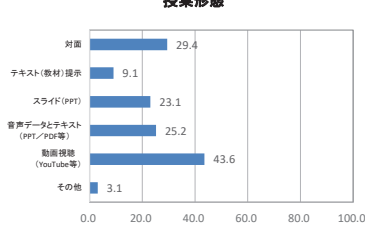
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

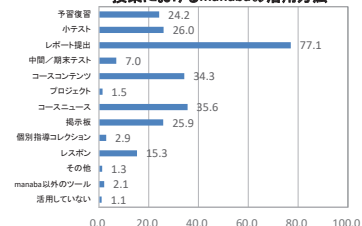
当アンケート区分平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



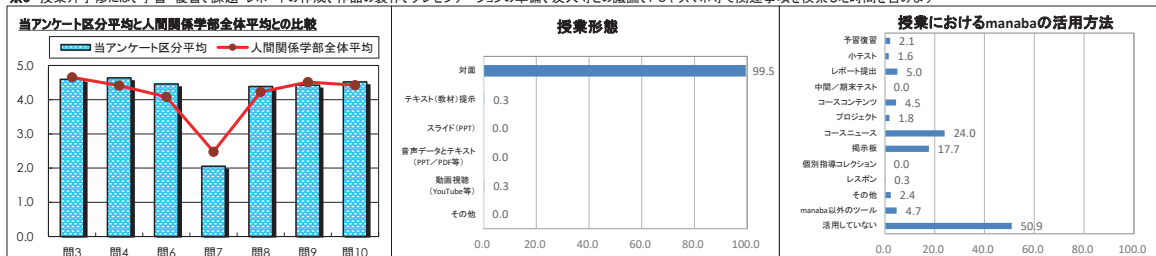
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		35人間(外国語科目)							受講者数	808
									回答者数	379
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			99.5	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.60	60.7	20.1	5.3	1.6	0.0	12.4	0.69	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.64	70.7	21.9	4.0	1.6	0.3	1.6	0.66	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			2.1	1.6	5.0	0.0	4.5	1.8	24.0	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			17.7	0.0	0.3	2.4	4.7	50.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.46	59.4	28.0	9.0	1.3	0.8	1.6	0.78	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.05	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.03	
			2.4	4.7	22.2	28.2	33.8	8.7		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.39	50.7	25.9	6.9	1.8	2.1	12.7	0.90	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.42	58.6	27.4	6.6	3.4	1.3	2.6	0.87	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.52	67.0	20.8	7.7	2.1	1.3	1.1	0.83	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



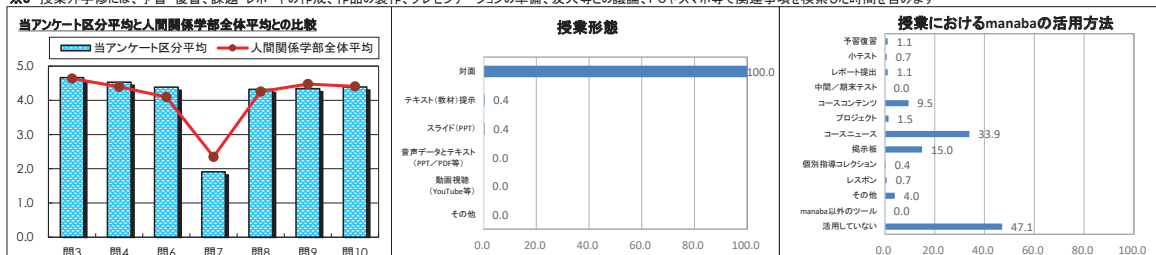
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		35人間(外国語科目)							受講者数	794
									回答者数	274
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	60.6	16.1	4.7	0.7	0.0	17.9	0.63	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.53	67.2	21.5	6.2	2.2	1.5	1.5	0.63	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			1.1	0.7	1.1	0.0	9.5	1.5	33.9	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			15.0	0.4	0.7	4.0	0.0	47.1		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.38	56.2	28.8	8.8	2.2	1.8	2.2	0.88	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	1.91	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.00	
			2.9	2.9	14.2	32.1	36.5	11.3		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.32	52.2	24.8	9.1	2.9	2.6	8.4	0.97	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.34	55.1	27.7	9.1	3.6	1.8	2.6	0.93	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	62.0	20.8	8.8	3.6	2.6	2.2	0.98	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



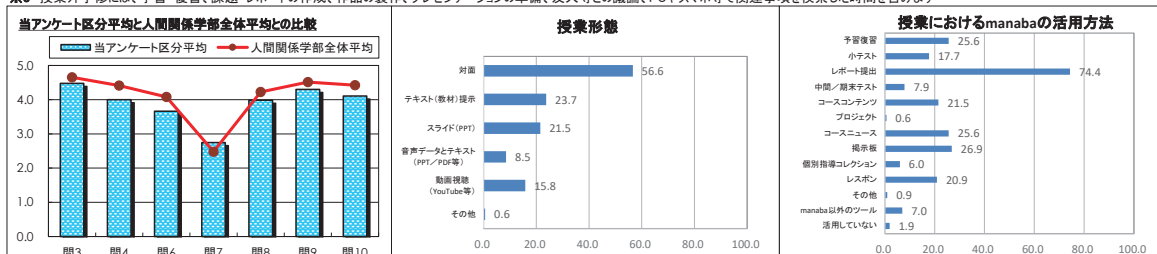
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		51人間関係学部(共通科目)							受講者数	618
									回答者数	316
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.47	58.2	26.6	4.1	3.5	15.8	6.6	0.83	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.00	39.6	31.6	14.9	5.7	4.4	3.8	1.11	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			25.6	17.7	74.4	7.9	21.5	0.6	25.6	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			26.9	6.0	20.9	0.9	7.0	1.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.66	23.4	25.9	21.8	7.9	4.7	16.1	1.15	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.75	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.98	
			4.4	12.0	42.1	23.1	10.4	7.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.99	34.8	30.7	15.2	4.7	3.8	10.8	1.08	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.30	50.3	35.4	6.0	2.8	3.2	2.2	0.95	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.11	45.3	32.9	10.4	6.3	3.8	1.3	1.08	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



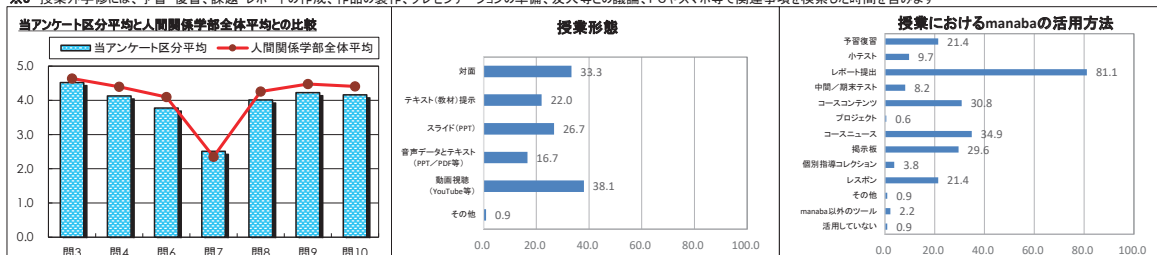
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		51人間関係学部(共通科目)							受講者数	848
									回答者数	318
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.52	60.1	26.4	6.0	1.9	0.3	5.3	0.73	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.13	41.8	36.8	11.3	5.7	2.2	2.2	0.98	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			21.4	9.7	81.1	8.2	30.8	0.6	34.9	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			29.6	3.8	21.4	0.9	2.2	0.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.78	28.6	30.8	21.1	5.0	6.0	8.5	1.14	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.51	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.88	
			2.8	8.8	37.7	27.7	16.0	6.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.01	34.9	32.7	16.0	4.7	2.8	8.8	1.02	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.22	47.2	36.2	9.4	4.4	2.2	0.6	0.95	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.16	47.5	33.0	10.4	5.3	3.5	0.3	1.04	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



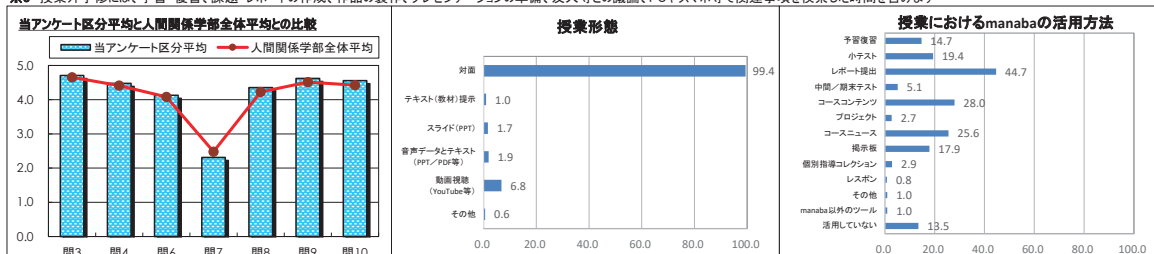
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		53人間関係学科社会学専攻(専門科目)							受講者数	1,454
									回答者数	837
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材) 提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			99.4	1.0	1.7	1.9	6.8	0.6		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.71	73.1	19.2	2.4	1.0	0.4	3.9	0.80	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.48	59.4	28.1	6.6	2.3	0.7	3.0	0.78	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			14.7	19.4	44.7	5.1	28.0	2.7	25.6	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			17.9	2.9	0.8	1.0	1.0	13.5		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.13	41.6	27.5	14.2	4.2	2.5	10.0	1.02	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.31	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	
			5.0	7.3	22.1	26.8	24.9	14.0		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.35	53.6	22.9	10.5	3.0	1.6	8.4	0.83	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.62	68.0	26.6	3.9	0.5	0.4	0.6	0.62	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.66	66.4	25.0	5.9	1.6	0.7	0.5	0.74	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



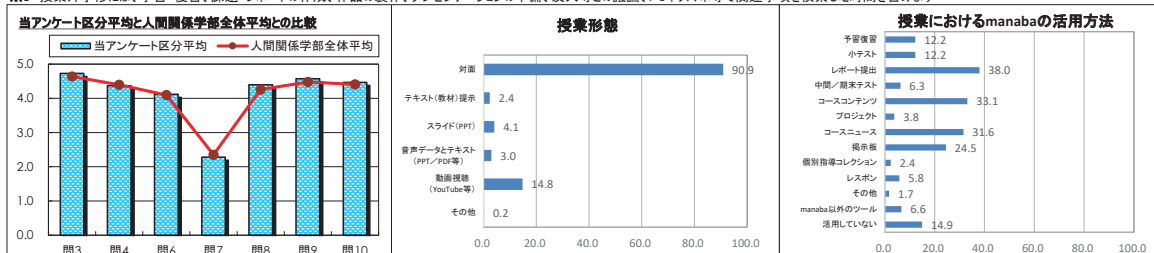
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		53人間関係学科社会学専攻(専門科目)							受講者数	1,537
									回答者数	637
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材) 提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			90.9	2.4	4.1	3.0	14.8	0.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.73	74.7	17.7	1.6	1.4	0.2	4.4	0.58	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.37	58.6	23.7	8.8	4.1	1.9	3.0	0.95	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			12.2	12.2	38.0	6.3	33.1	3.8	31.6	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			24.5	2.4	5.8	1.7	6.6	14.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.12	41.3	26.4	14.0	4.4	2.7	11.3	1.04	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.28	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14	
			4.6	7.2	20.1	27.2	24.6	16.3		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.40	53.5	22.0	7.7	1.6	2.7	12.6	0.94	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.57	66.4	26.7	3.6	1.4	1.1	0.8	0.73	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	64.4	24.2	4.9	4.6	1.4	0.6	0.89	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



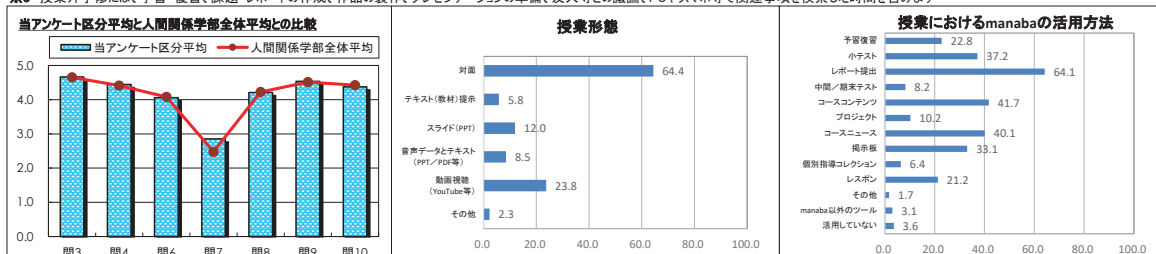
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目)							受講者数	1,587
									回答者数	753
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			64.4	5.8	12.0	8.5	23.8	2.3		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	70.5	21.5	2.7	1.2	0.5	3.6	0.85	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.44	58.7	30.9	4.9	2.0	2.0	1.5	0.84	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			22.8	37.2	64.1	8.2	41.7	10.2	40.1	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			33.1	6.4	21.2	1.7	3.1	3.6		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.06	36.3	31.9	14.1	4.6	2.5	10.6	1.01	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.86	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16	
			10.4	14.5	33.7	24.2	12.4	4.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.21	43.2	29.2	11.4	3.2	2.3	10.8	0.97	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.54	64.1	27.9	4.0	1.7	1.2	1.1	0.76	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.37	57.6	28.4	8.6	2.5	2.3	0.5	0.91	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



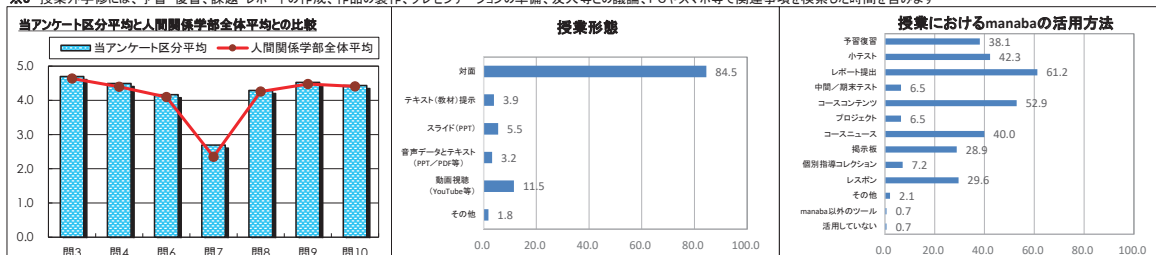
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		54人間関係学科社会・臨床心理学専攻(専門科目)							受講者数	1,066
									回答者数	433
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			84.5	3.9	5.5	3.2	11.5	1.8		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.70	71.6	24.0	0.9	0.7	0.5	2.3	0.58	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.49	62.4	28.2	6.2	1.8	1.2	0.2	0.79	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			38.1	42.3	61.2	6.5	52.9	6.5	40.0	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			28.9	7.2	29.6	2.1	0.7	0.7		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.16	40.0	34.9	12.5	4.4	1.2	7.2	0.92	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.69	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16	
			6.9	15.2	29.6	25.4	16.2	6.7		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.29	49.9	28.4	9.2	3.0	2.5	6.9	0.96	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.53	64.0	28.4	4.2	1.6	1.4	0.5	0.77	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.43	60.0	29.8	4.6	2.3	2.5	0.7	0.89	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



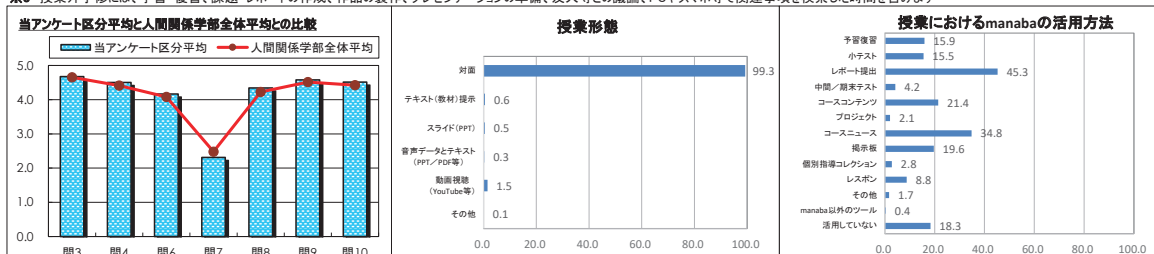
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		57人間福祉学科(専門科目)							受講者数	2,358
									回答者数	1,069
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			99.3	0.6	0.5	0.3	1.5	0.1		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.67	67.2	21.3	2.6	0.7	0.4	7.9	0.81	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.50	61.6	24.6	7.1	1.6	1.0	4.0	0.79	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			15.9	15.5	45.3	4.2	21.4	2.1	34.8	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			19.6	2.8	8.8	1.7	0.4	18.3		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.17	41.2	30.2	13.5	3.1	2.2	9.9	0.97	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.31	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.05	
			3.1	6.6	25.9	27.0	22.1	15.2		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.35	49.9	24.9	9.3	2.5	1.7	11.8	0.92	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.58	65.4	26.9	4.7	0.7	0.7	1.6	0.69	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.52	64.2	25.3	5.9	1.4	1.6	1.7	0.81	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



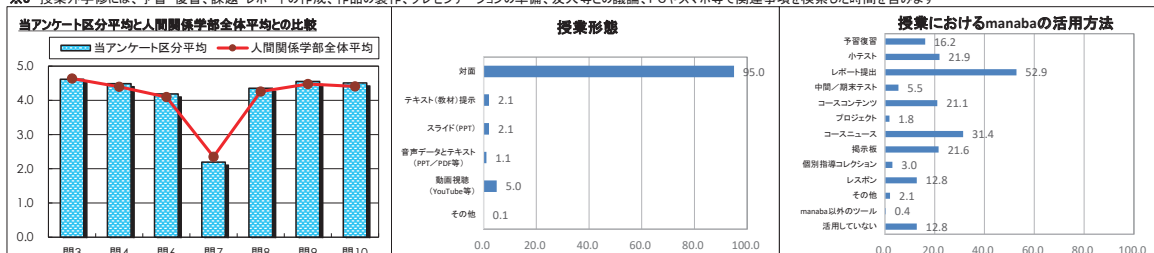
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		57人間福祉学科(専門科目)							受講者数	2,000
									回答者数	821
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			95.0	2.1	2.1	1.1	5.0	0.1		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	64.6	25.8	3.5	0.5	0.5	5.1	0.84	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.49	61.5	25.1	8.0	1.6	1.0	2.8	0.80	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			16.2	21.9	52.9	5.5	21.1	1.8	31.4	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			21.6	3.0	12.8	2.1	0.4	12.8		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.19	43.0	29.5	14.6	2.9	1.8	8.2	0.95	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.19	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02	
			2.2	5.6	23.3	27.8	24.8	16.3		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.35	51.3	26.6	10.8	1.6	1.6	8.2	0.88	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	65.0	25.8	5.1	1.7	0.7	1.6	0.74	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.51	63.5	25.1	7.1	1.9	0.9	1.6	0.79	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



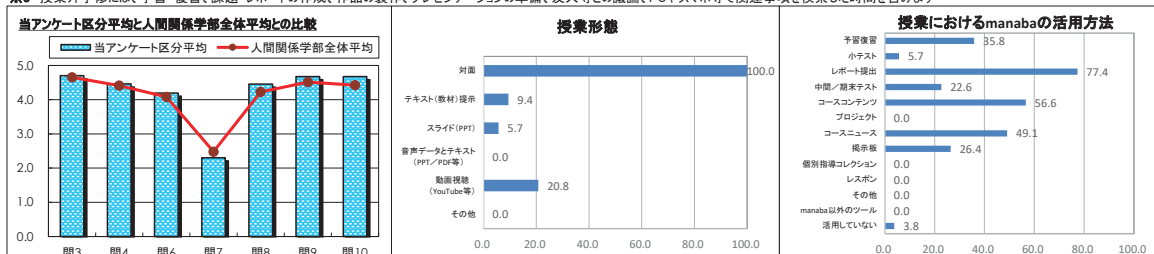
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		92諸課程科目(多摩)							受講者数	149
									回答者数	53
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			100.0	9.4	5.7	0.0	20.8	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.70	69.8	22.6	0.0	1.9	0.0	5.7	0.58	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	50.9	37.7	3.8	1.9	0.0	5.7	0.68	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			35.8	5.7	77.4	22.6	56.6	0.0	49.1	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			26.4	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.20	34.0	39.6	9.4	3.8	0.0	13.2	0.81	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.30	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.20	
			5.7	7.5	28.3	20.8	32.1	5.7		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.45	43.4	34.0	5.7	0.0	0.0	17.0	0.63	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.67	66.0	32.1	0.0	0.0	0.0	1.9	0.47	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.67	66.0	32.1	0.0	0.0	0.0	1.9	0.47	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



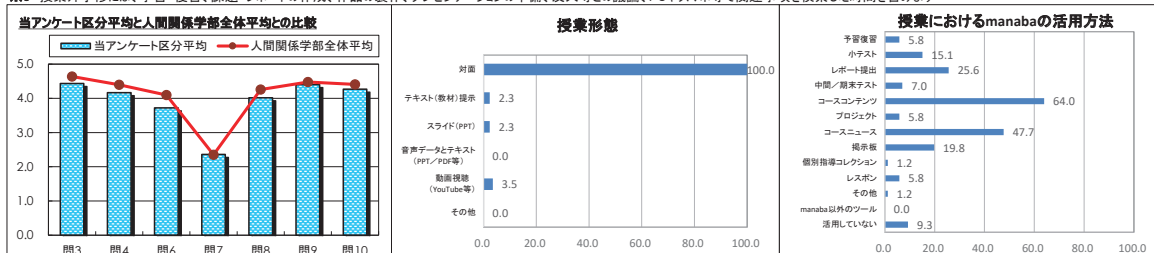
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート区分別)

大妻女子大学

アンケート区分		92諸課程科目(多摩)							受講者数	227
									回答者数	86
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			100.0	2.3	2.3	0.0	3.5	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.44	58.1	33.7	2.3	1.2	3.5	1.2	0.89	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.17	43.0	38.4	5.8	7.0	2.3	3.5	1.00	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			5.8	15.1	25.6	7.0	64.0	5.8	47.7	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			19.8	1.2	5.8	1.2	0.0	9.3		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.72	24.4	27.9	22.1	2.3	7.0	16.3	1.17	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.36	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.25	
			4.7	11.6	9.3	24.4	20.9	29.1		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.01	34.9	24.4	12.8	3.5	4.7	19.8	1.14	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.40	57.0	33.7	2.3	2.3	3.5	1.2	0.93	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.27	51.2	33.7	7.0	3.5	3.5	1.2	0.99	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



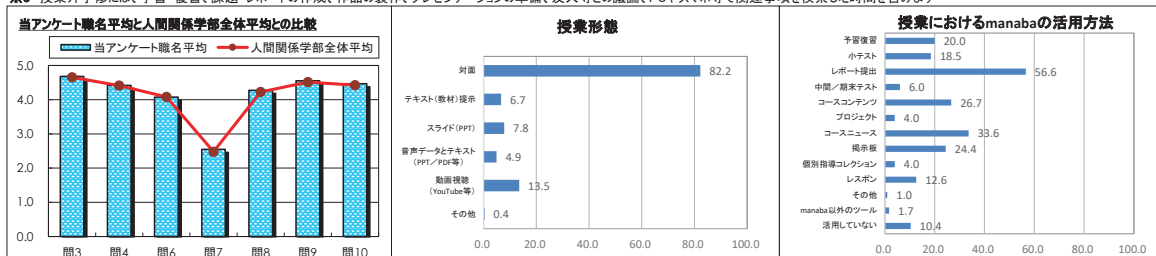
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		1.専任						受講者数		3,993	
								回答者数		1,921	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型					その他		
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声テキストとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)					
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.68	69.4	20.8	2.2	1.2	0.3	6.1	0.61		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.42	57.8	26.9	7.7	2.4	1.6	3.6	0.87		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			20.0	18.5	56.6	6.0	26.7	4.0	33.6		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			24.4	4.0	12.6	1.0	1.7	10.4			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.08	38.7	27.9	14.2	4.4	3.0	11.8	1.05	区分 平均値	4.16
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.55	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.27	45.8	28.2	9.9	3.0	1.8	11.2	0.93	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	64.2	28.2	4.2	1.1	1.1	1.1	0.74		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.47	61.9	27.2	6.0	2.2	1.7	1.0	0.84		

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



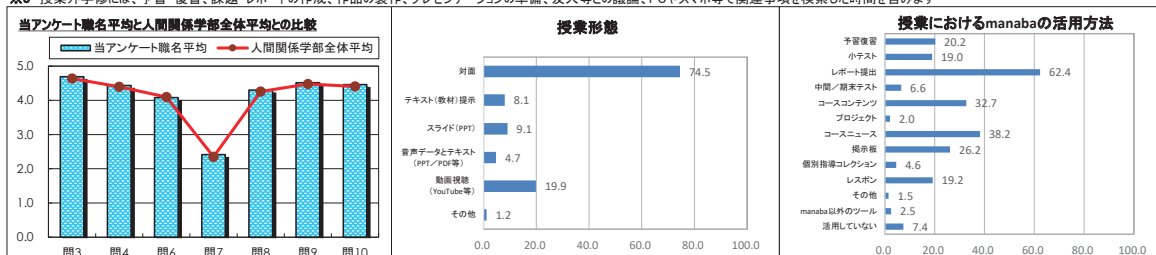
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		1.専任							受講者数		3,780	
									回答者数		1,464	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他				
			74.5	8.1	9.1	4.7	19.9	1.2				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.69	70.2	21.7	2.6	0.6	0.1	4.8	0.57			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.43	58.9	27.5	6.9	3.2	1.1	2.3	0.85			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			20.2	19.0	62.4	6.6	32.7	2.0	38.2			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
			26.2	4.6	19.2	1.5	2.5	7.4				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.08	38.9	29.4	16.1	4.0	2.5	9.0	1.01	区分 平均値	4.15	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.41	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.06	全体 平均値	4.11	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.30	3.9	8.3	27.9	29.4	19.3	11.2				
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.51	61.5	30.5	4.4	1.7	1.0	0.8	0.75			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	60.8	28.1	6.8	2.5	1.1	0.7	0.82			※問3,4,6～10の平均

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

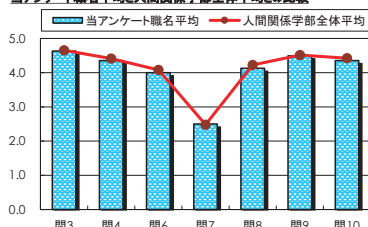
大妻女子大学

アンケート職名		3.兼任						受講者数		4,125	
								回答者数		1,930	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			69.3	6.6	12.5	8.4	19.1	1.0			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.63	66.5	23.7	2.6	1.1	0.6	5.5	0.66		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.36	53.8	30.7	8.0	2.6	2.0	2.8	0.90		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			18.5	29.9	56.5	7.0	30.5	3.0	30.7		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			21.7	3.6	5.2	1.7	2.0	10.9			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.00	33.8	31.2	15.4	4.5	3.1	11.9	1.04	区分 平均値	4.09
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.50	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.13	42.3	24.0	12.8	4.1	3.3	13.4	1.08	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.49	59.7	30.7	5.2	1.5	1.0	1.8	0.76		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.35	56.0	28.9	9.2	2.5	2.3	1.2	0.92	※問3,4,6~10の平均値	

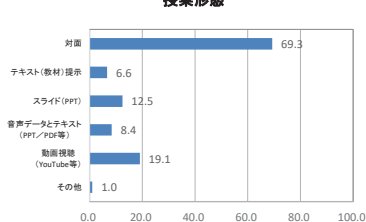
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

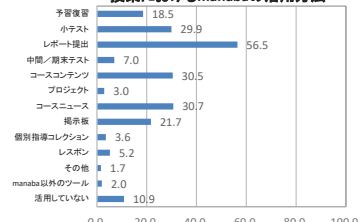
当アンケート職名平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

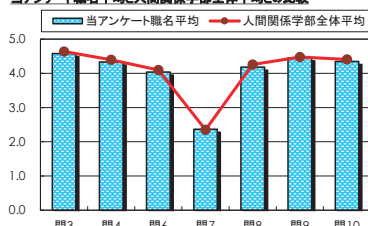
大妻女子大学

アンケート職名		3.兼任						受講者数		3,737	
								回答者数		1,391	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.58	69.5	4.1	11.1	12.4	19.7	1.1	0.72		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.33	53.0	30.3	10.0	2.9	1.7	2.2	0.90		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	30.4	
			21.1	25.6	54.4	6.5	34.9	3.8			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.04	24.1	2.3	11.2	1.9	2.1	7.2	1.04		
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.37	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	区分 区平均値	4.07
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.18	3.2	9.3	24.8	27.2	21.4	14.0	1.01	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。	4.46	60.2	28.4	6.5	2.1	1.5	1.4	0.83		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.35	56.9	27.7	7.5	3.9	2.4	1.4	0.96	※問3,4,6～10の平均値	

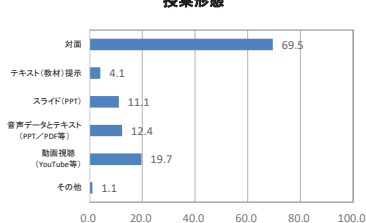
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

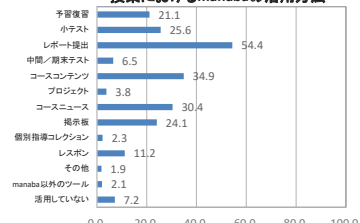
当アンケート職名平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



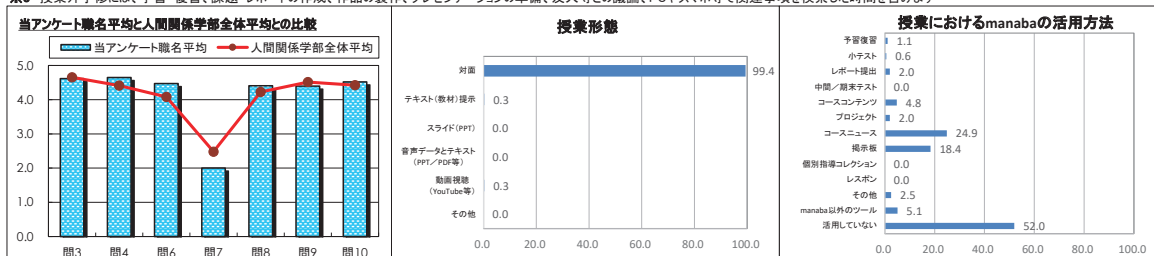
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		4.TEP	受講者数						769
			回答者数						354
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.61	61.9	19.2	5.6	1.1	0.0	12.1	0.67
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.65	72.0	20.6	4.0	1.7	0.3	1.4	0.67
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			1.1	0.6	2.0	0.0	4.8	2.0	24.9
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.47	61.0	26.8	8.8	1.4	0.8	1.1	0.79
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.00	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.00
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.41	52.5	26.0	6.2	1.7	2.3	11.3	0.90
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.40	57.1	28.0	7.1	3.7	1.4	2.8	0.89
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.52	67.2	20.6	7.6	2.0	1.4	1.1	0.84
※問3,4,6～10の平均値									

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



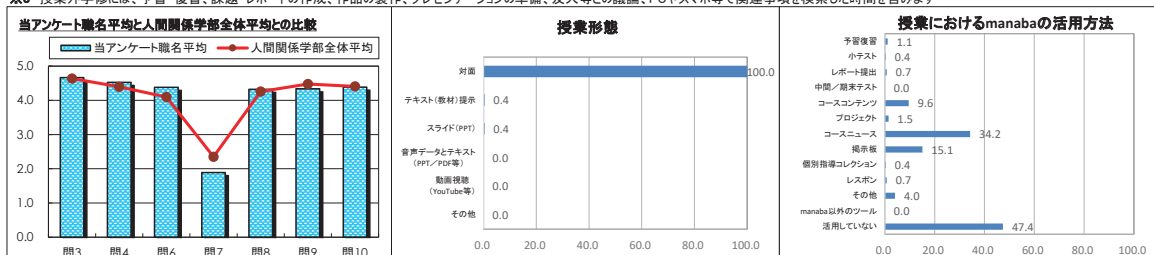
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(アンケート職名別)

大妻女子大学

アンケート職名		4.TEP	受講者数						782
			回答者数						272
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		100.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	60.7	15.8	4.8	0.7	0.0	18.0	0.63
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.53	66.9	21.7	6.3	2.2	1.5	1.5	0.83
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			1.1	0.4	0.7	0.0	9.6	1.5	34.2
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.38	55.9	29.0	8.8	2.2	1.8	2.2	0.88
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	1.89	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.96
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.32	52.2	24.6	9.2	2.9	2.6	8.5	0.98
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.34	54.8	27.9	9.2	3.7	1.8	2.6	0.93
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	61.8	21.0	8.8	3.7	2.6	2.2	0.98
※問3,4,6～10の平均値									

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

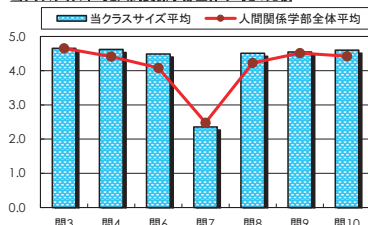
大妻女子大学

クラスサイズ		1～15名							受講者数	1,141
									回答者数	503
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		98.8	0.2	0.4	0.4	0.6	0.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.66	64.4	18.7	3.8	1.4	0.0	11.7	0.84	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.62	67.4	23.5	4.6	1.4	0.0	3.2	0.85	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			5.8	0.6	21.9	1.2	14.1	5.6	29.2	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			20.5	0.8	0.0	2.8	3.4	35.4		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.49	58.8	28.4	7.8	1.0	0.6	3.4	0.74	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.36	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.21	
			6.6	7.8	25.0	23.1	28.0	9.5		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.51	57.1	22.1	6.4	1.4	1.0	12.1	0.79	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	64.6	25.2	5.2	1.8	0.8	2.4	0.75	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.60	70.4	19.7	6.4	1.6	0.6	1.4	0.73	

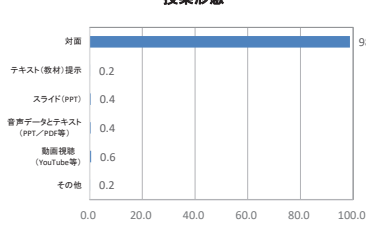
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

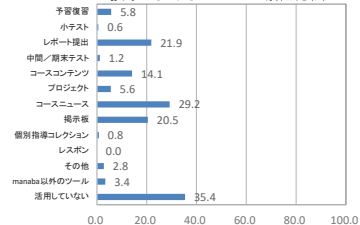
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

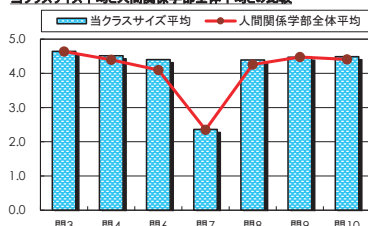
大妻女子大学

クラスサイズ		1～15名							受講者数	1,220
									回答者数	481
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		99.8	0.6	0.2	0.2	0.6	0.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.84	61.3	21.4	4.2	0.2	0.2	12.7	0.81	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.51	64.0	25.4	5.2	2.3	1.2	1.9	0.81	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			6.4	5.4	34.5	0.6	20.2	3.7	34.5	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			18.9	2.1	1.2	2.3	0.8	27.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.40	53.4	32.6	7.3	1.2	1.7	3.7	0.82	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.36	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.17	
			5.6	8.5	20.4	27.7	23.5	14.3		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.39	53.4	28.1	7.9	2.3	1.5	6.9	0.86	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.47	60.3	27.9	6.2	2.1	1.2	2.3	0.81	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.49	65.1	22.5	6.4	2.5	1.9	1.7	0.87	

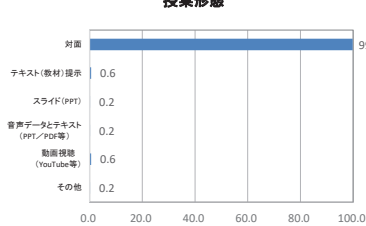
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

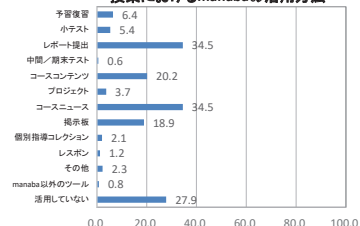
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

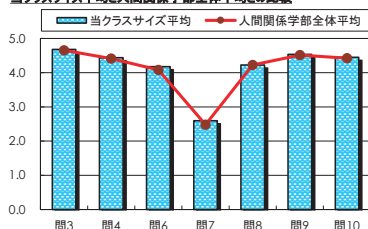
大妻女子大学

クラスサイズ		16～49名						受講者数		3,011	
								回答者数		1,400	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型					その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			85.8	4.8	5.6	3.6	8.1	1.4			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.68	70.1	20.6	2.8	0.9	0.3	5.2	0.61		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.44	59.4	26.0	7.7	2.0	1.8	3.1	0.87		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			15.2	18.2	50.7	5.8	27.9	5.9	33.0		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			25.4	4.8	7.5	1.4	2.3	18.1			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.18	42.5	31.4	12.1	3.2	2.5	8.3	0.97	区分 平均値	4.18
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.60	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.19		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.22	45.5	26.6	11.0	3.7	2.4	10.9	0.99	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.54	63.2	28.3	4.2	1.7	0.9	1.6	0.74		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.45	60.4	27.8	7.1	2.2	1.4	1.1	0.83		

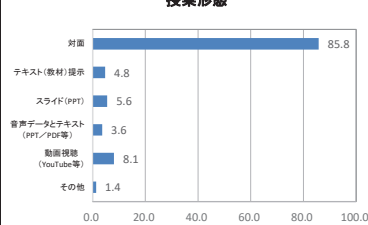
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

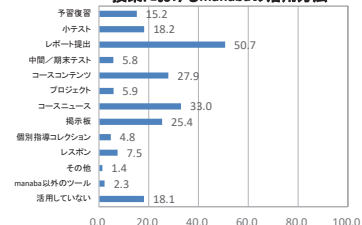
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

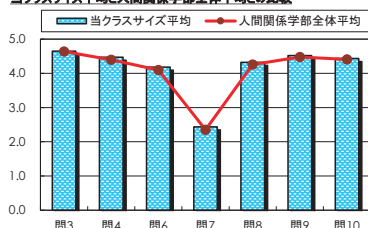
大妻女子大学

クラスサイズ		16～49名						受講者数		2,384	
								回答者数		978	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
			89.1	2.0	5.1	4.6	7.4	1.3			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	69.6	20.3	3.7	0.5	1.0	4.8	0.68		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.47	61.3	26.2	7.1	2.2	1.1	2.0	0.82		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			20.7	23.4	46.9	6.6	31.5	2.9	32.3		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			24.5	3.8	12.1	2.9	2.1	11.8			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.18	44.8	27.9	14.1	3.8	2.0	7.4	0.98	区分 平均値	4.17
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.43	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.15	全体 平均値	4.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.32	52.1	23.9	12.1	2.0	2.0	7.8	0.94		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.52	64.3	25.5	5.7	1.8	1.2	1.4	0.79		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.43	62.2	24.5	7.2	3.3	1.8	1.0	0.90	※問3,4,6～10の平均値	

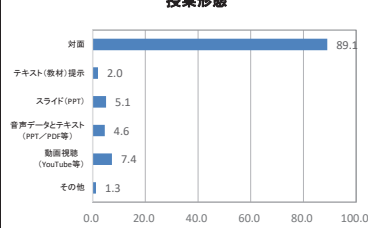
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

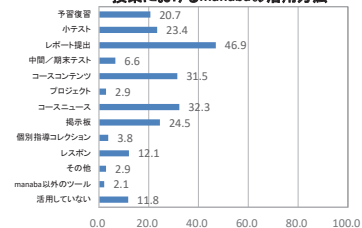
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

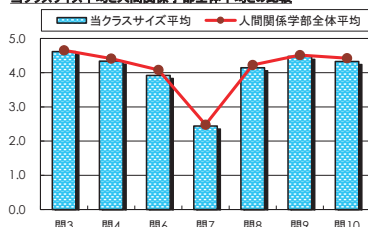
大妻女子大学

クラスサイズ		50～100名							受講者数	3,419	
									回答者数	1,684	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データ&テキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		71.7	7.7	12.7	7.7	18.3	0.4			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	65.7	23.3	2.9	1.5	0.6	6.0	0.68		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.34	53.3	30.2	8.3	3.0	2.1	3.1	0.92		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			21.7	28.1	56.7	6.7	27.3	1.0	31.7		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			21.6	3.4	8.5	1.2	2.3	9.6			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.92	31.8	28.8	17.2	5.2	3.7	13.3	1.09	区分 平均値	4.06
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.44	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.05	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.15	40.7	27.7	12.1	3.4	3.0	13.1	1.03		
9	この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。	4.48	59.5	30.8	5.6	1.3	1.4	1.4	0.78		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.33	55.6	29.1	8.4	2.9	3.1	1.0	0.97	※問3,4,6～10の平均値	

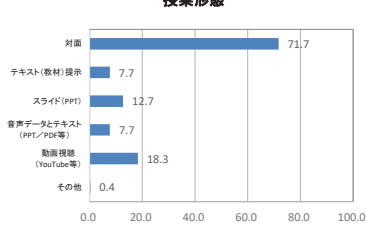
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

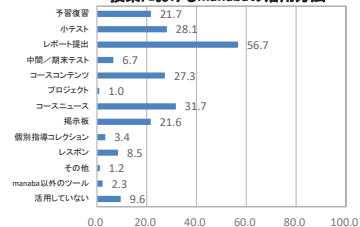
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

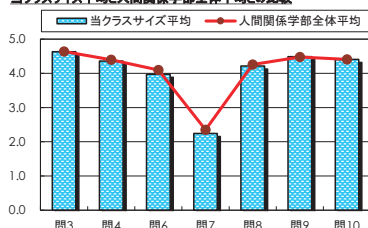
大妻女子大学

クラスサイズ		50～100名							受講者数		3,465
									回答者数		1,285
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			74.1	7.9	10.8	5.1	19.3	1.2			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.63	66.5	25.0	2.5	1.4	0.2	4.4	0.63		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.36	54.9	28.8	9.3	3.6	1.2	2.2	0.89		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			22.8	24.5	56.3	6.7	34.8	2.8	34.2		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.97	33.3	29.3	18.1	4.2	3.0	12.0	1.04		
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.24	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.21	42.9	27.4	11.8	2.6	2.4	12.9	0.98		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.49	61.0	29.8	5.3	2.1	1.0	0.8	0.78		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.41	58.5	28.8	6.9	3.3	1.6	0.9	0.88		
										※問3,4,6～10の平均値	

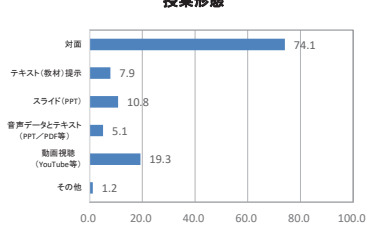
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

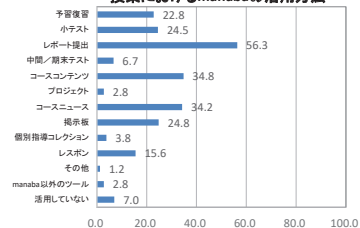
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

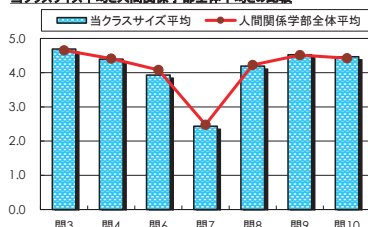
大妻女子大学

クラスサイズ		101名以上						受講者数		1,387	
								回答者数		640	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			60.2	9.4	15.2	11.6	31.7	0.2			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.69	68.4	23.6	0.9	0.8	0.3	5.9	0.57		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.39	55.2	30.6	7.0	2.8	1.4	3.0	0.86		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			22.3	31.9	65.8	8.1	31.1	2.3	30.0		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			20.9	3.1	14.8	1.1	0.2	1.3			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.93	31.6	27.0	16.3	6.1	3.0	16.1	1.08	区分 平均値	4.11
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.43	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.19	45.2	23.8	11.1	4.2	3.0	12.8	1.05	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.53	62.0	30.3	4.2	1.4	0.9	1.1	0.73		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.47	60.9	27.8	7.3	1.7	1.3	0.9	0.81	※問3,4,6～10の平均値	

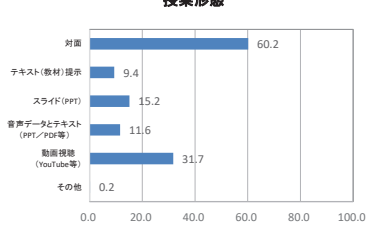
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

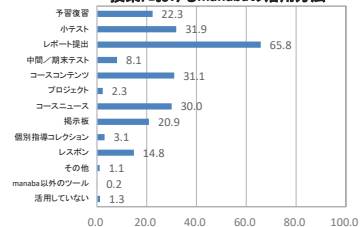
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(クラスサイズ別)

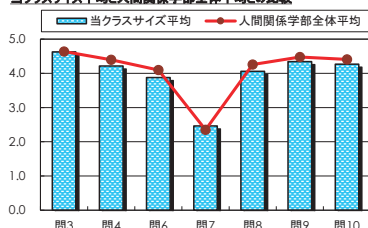
大妻女子大学

クラスサイズ		101名以上						受講者数		1,348	
								回答者数		440	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PODF等)	動画視聴 (YouTube等)				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	64.3	25.5	2.7	1.1	0.2	6.1	0.63		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.21	45.7	34.3	10.7	3.4	2.5	3.4	0.96		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			17.0	17.5	79.3	7.7	34.3	1.1	39.5		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.88	30.5	29.1	17.0	6.1	3.9	13.4	1.11	区分 区平均値	3.99
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.46	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.94		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.06	38.9	29.3	12.7	5.2	3.4	10.5	1.07	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.34	50.9	37.0	6.8	2.0	2.0	1.1	0.86		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.27	49.3	33.9	9.8	3.2	2.3	1.6	0.93	※問3,4,6～10の平均値	

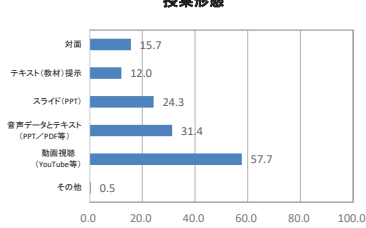
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

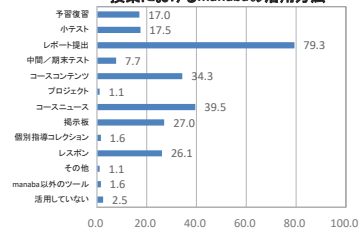
当クラスサイズ平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

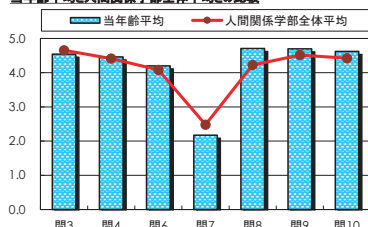
大妻女子大学

年齢		35歳以下							受講者数	109
									回答者数	63
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.54	60.3	36.5	1.6	0.0	1.6	0.0	0.89	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	58.7	30.2	9.5	1.6	0.0	0.0	0.74	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			44.4	11.1	79.4	11.1	36.5	0.0	36.5	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			17.5	1.6	0.0	1.6	0.0	0.0		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.20	41.3	28.6	11.1	6.3	0.0	12.7	0.93	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.17	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.94	
			1.6	4.8	25.4	36.5	23.8	7.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.71	79.4	12.7	4.8	0.0	1.6	1.6	0.71	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.70	77.8	17.5	3.2	0.0	1.6	0.0	0.69	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.62	73.0	19.0	6.3	0.0	1.6	0.0	0.75	

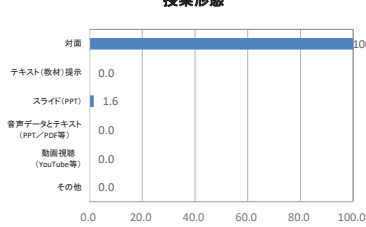
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

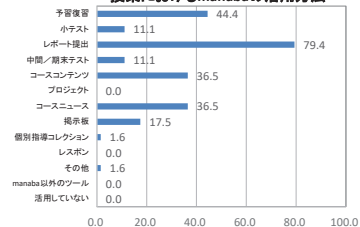
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

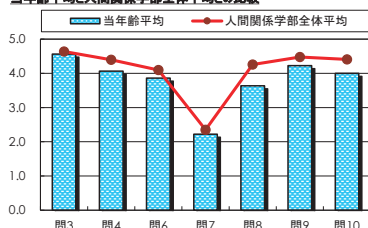
大妻女子大学

年齢		35歳以下							受講者数	157
									回答者数	50
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			28.0	2.0	16.0	28.0	58.0	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.57	60.0	28.0	2.0	0.0	2.0	8.0	0.75	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.06	44.0	30.0	12.0	4.0	6.0	4.0	1.16	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			36.0	8.0	66.0	12.0	26.0	0.0	20.0	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			18.0	0.0	2.0	2.0	8.0	2.0		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.86	38.0	18.0	14.0	12.0	4.0	14.0	1.26	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.22	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.77	
			0.0	2.0	32.0	40.0	16.0	10.0		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.63	30.0	22.0	8.0	14.0	8.0	18.0	1.39	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.22	50.0	34.0	4.0	6.0	4.0	2.0	1.07	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.00	40.0	34.0	12.0	2.0	8.0	4.0	1.19	

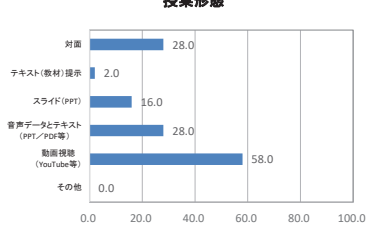
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

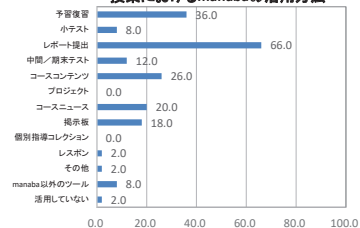
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

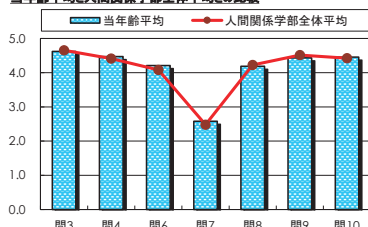
大妻女子大学

年齢		36～40歳						受講者数		815	
								回答者数		382	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型					その他		
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/ノドド等)	動画視聴 (YouTube等)					
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	67.5	21.2	3.9	0.8	1.0	5.5	0.71		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.47	61.0	27.7	8.1	0.8	1.6	0.8	0.81		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間ノ 期未テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			12.0	3.9	57.1	5.2	23.0	5.0	36.6		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.21	42.4	34.6	12.3	2.9	1.6	6.3	0.90	区分 平均値	4.15
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.58	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.18	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.19	43.2	30.4	9.4	3.4	3.4	10.2	1.02		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.44	56.8	33.0	5.5	1.8	1.6	1.3	0.81		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	60.7	27.0	7.9	0.8	2.1	1.6	0.84	※問3,4,6～10の平均値	

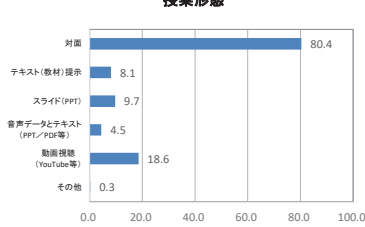
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

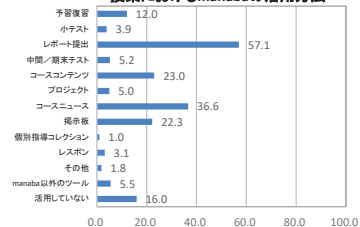
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

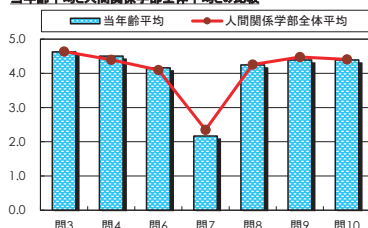
大妻女子大学

年齢		36～40歳							受講者数		821	
									回答者数		315	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
												対面
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		85.1	3.5	7.6	3.2	14.3	0.0				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	66.0	23.8	5.1	0.6	0.0	4.4	0.82			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.50	61.6	28.6	6.0	1.9	0.6	1.3	0.75			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			17.5	10.5	50.2	7.0	28.3	6.3	45.1			
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.16	43.2	32.1	14.3	5.4	1.0	4.1	0.94	区分 平均値	4.08	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.17	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.00	全体 平均値	4.11	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.25	48.6	25.7	13.7	3.2	1.9	7.0	0.97			
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.39	54.9	33.3	7.0	3.2	1.0	0.6	0.83			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	55.6	32.1	8.6	2.5	1.0	0.3	0.82	※問3,4,6～10の平均値		

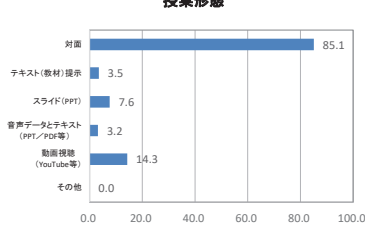
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

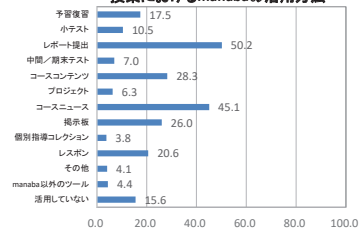
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

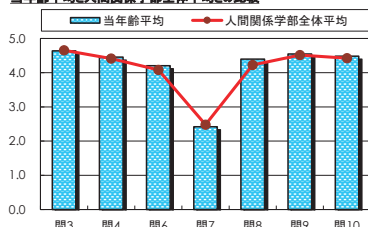
大妻女子大学

年齢		41～45歳							受講者数	1,480
									回答者数	709
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		76.7	4.9	13.7	10.9	17.5	0.6		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.64	68.5	21.2	3.0	1.8	0.4	5.1	0.88	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.45	58.8	28.6	4.7	2.3	2.0	3.7	0.86	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			16.2	19.0	58.0	8.3	34.3	2.3	32.2	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			21.4	3.8	9.3	2.1	2.3	11.3		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.21	41.5	31.7	11.4	3.2	1.7	10.4	0.93	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.42	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14	
			5.2	7.9	26.8	25.1	21.9	13.1		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.40	53.5	25.8	7.5	2.7	1.6	9.0	0.89	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	63.9	29.2	3.8	1.0	1.3	0.8	0.73	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.48	63.9	26.1	5.5	1.3	2.7	0.6	0.87	

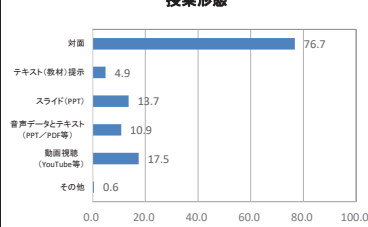
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

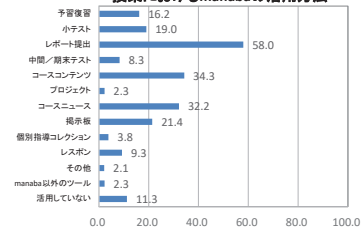
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

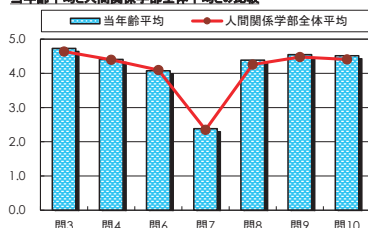
大妻女子大学

年齢		41～45歳							受講者数	1,689
									回答者数	653
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		66.8	7.0	15.3	10.9	32.2	0.3		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.73	74.1	19.9	1.5	0.9	0.2	3.4	0.55	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.41	58.5	26.6	8.3	3.2	1.2	2.1	0.87	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			19.3	20.8	59.4	7.7	40.1	3.1	36.0	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			26.0	4.1	19.1	1.2	3.7	3.8		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.08	38.0	27.4	16.2	3.8	2.5	12.1	1.02	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.38	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.04	
			3.5	7.4	27.0	30.9	18.8	12.4		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.38	52.7	23.1	9.3	2.3	1.5	11.0	0.90	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	63.9	28.2	4.7	1.8	0.5	0.9	0.72	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.51	64.9	25.0	5.4	3.2	0.8	0.8	0.80	

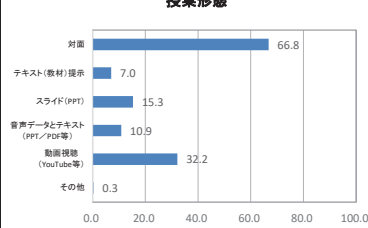
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

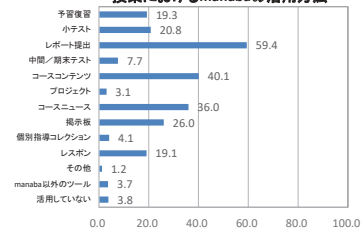
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



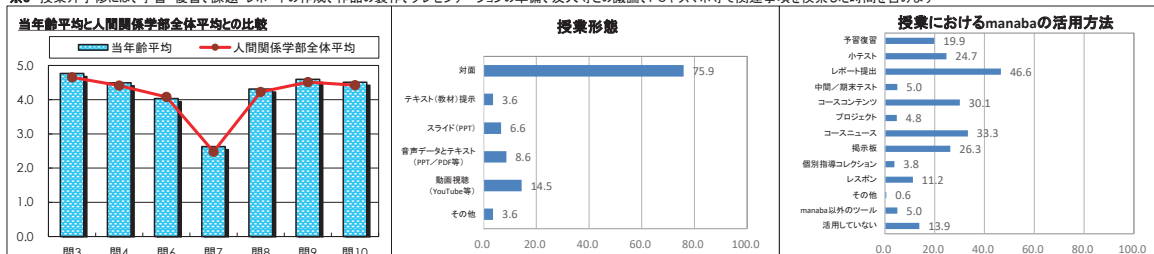
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		46～50歳						受講者数		1,024	
								回答者数		498	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
				75.9	3.6	6.6	8.6	14.5	3.6		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.76	73.7	17.3	1.6	0.2	0.2	7.0	0.50		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.49	61.4	27.5	5.0	2.0	1.4	2.6	0.81		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			19.9	24.7	46.6	5.0	30.1	4.8	33.3		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.03	36.1	30.7	14.1	5.6	2.6	10.8	1.04	区分 平均値	4.21
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.63	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.31	49.2	26.3	9.6	2.2	2.4	10.2	0.95	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.59	67.3	26.1	3.4	1.6	0.6	1.0	0.69		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.51	65.3	24.5	4.8	2.4	1.8	1.2	0.85		

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



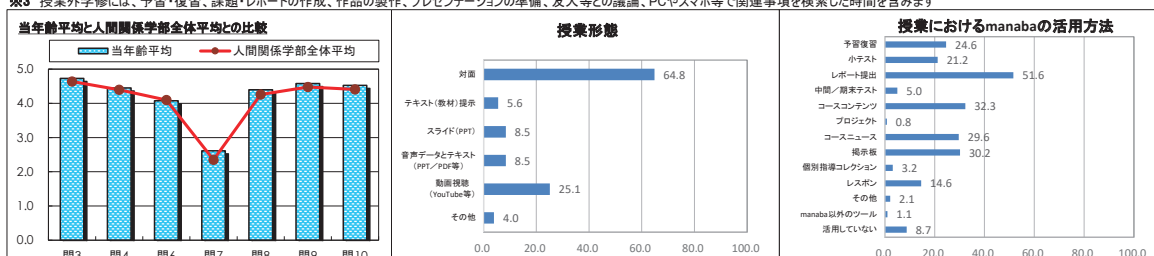
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		46～50歳						受講者数		969	
								回答者数		378	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT、PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.73	64.8	5.6	8.5	8.5	25.1	4.0	0.50		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.45	59.3	27.5	8.5	2.4	0.5	1.9	0.80		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			24.6	21.2	51.6	5.0	32.3	0.8	29.6		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.08	30.2	3.2	14.6	2.1	1.1	8.7			
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.61	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16		
			6.1	13.5	25.4	25.9	16.9	12.2			
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.40	50.5	29.6	8.5	1.3	1.1	9.0	0.81	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.58	67.2	25.1	5.0	1.6	0.5	0.5	0.71		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.52	63.5	27.0	6.1	1.6	0.8	1.1	0.75		

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



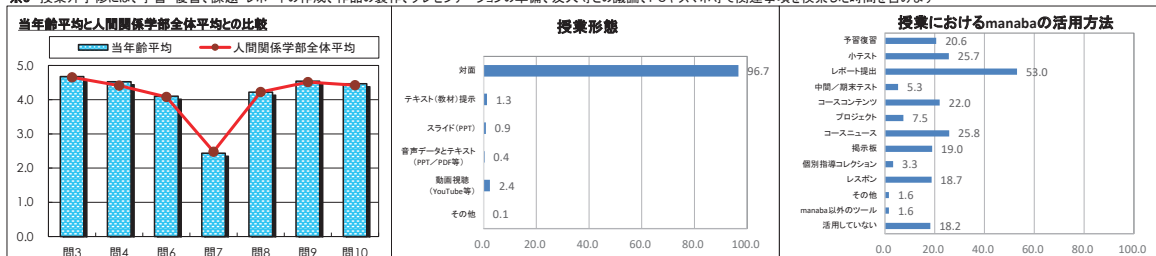
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		51～55歳							受講者数	1,691
									回答者数	790
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			96.7	1.3	0.9	0.4	2.4	0.1		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.67	69.6	20.1	2.8	1.1	0.4	5.9	0.83	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.52	62.8	26.5	6.2	1.9	0.5	2.2	0.75	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			20.6	25.7	53.0	5.3	22.0	7.5	25.8	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			19.0	3.3	18.7	1.6	1.6	18.2		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.10	40.1	28.2	16.3	3.2	2.8	9.4	1.02	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.44	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.16	
			5.3	10.3	25.9	25.2	23.0	10.3		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.22	45.2	24.7	10.4	4.7	2.2	12.9	1.01	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.54	64.1	27.5	3.9	1.8	1.1	1.6	0.76	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.47	62.2	26.5	6.7	2.3	1.5	0.9	0.84	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



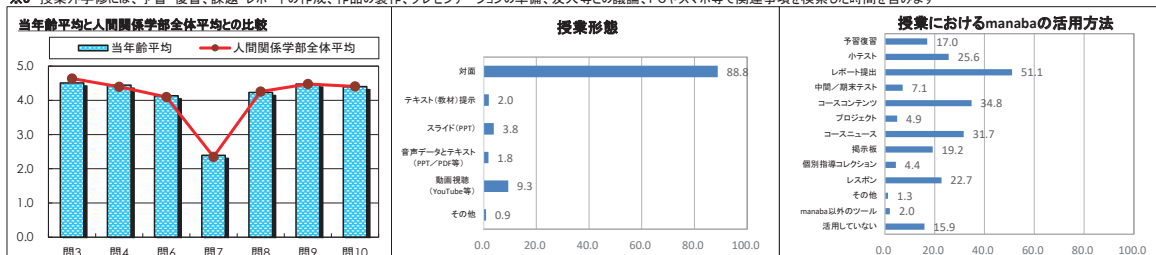
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		51～55歳							受講者数	1,485
									回答者数	546
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			88.8	2.0	3.8	1.8	9.3	0.9		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.51	58.2	27.1	4.9	1.3	1.1	7.3	0.76	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.44	57.1	31.0	7.3	1.5	1.1	2.0	0.79	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			17.0	25.6	51.1	7.1	34.8	4.9	31.7	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			19.2	4.4	22.7	1.3	2.0	15.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.13	40.1	33.9	13.7	3.1	2.6	6.6	0.97	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.39	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.10	
			4.6	8.1	26.9	28.9	21.4	10.1		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.23	44.7	29.9	12.3	2.6	2.0	8.6	0.94	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.47	58.1	31.7	5.9	1.5	0.9	2.0	0.76	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.40	59.2	26.7	6.0	3.8	2.0	2.2	0.92	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

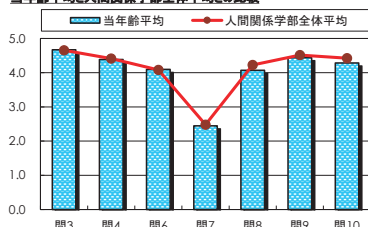
大妻女子大学

年齢		56～60歳							受講者数	1,394
									回答者数	650
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			71.7	3.1	8.5	6.6	22.2	0.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.67	67.2	22.6	2.9	0.8	0.0	6.5	0.58	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.38	55.4	29.5	8.0	2.3	1.8	2.9	0.88	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			16.6	23.4	46.0	6.0	25.4	1.8	30.9	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			23.4	5.4	3.4	1.8	1.2	15.1		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.10	41.2	27.5	14.8	3.4	3.7	9.4	1.06	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.45	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	
			5.5	7.2	28.9	26.6	20.3	11.4		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.07	38.6	26.8	13.8	4.6	3.1	13.1	1.06	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.44	56.3	32.0	6.6	1.7	1.1	2.3	0.79	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.28	52.8	29.4	10.5	4.0	2.2	1.2	0.96	

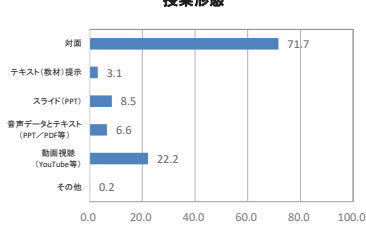
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

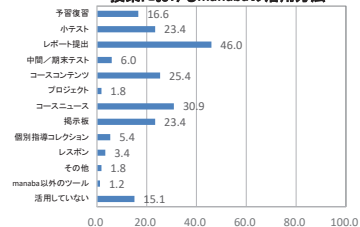
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

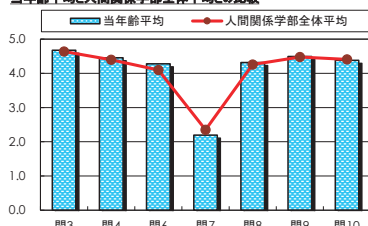
大妻女子大学

年齢		56～60歳							受講者数	1,136
									回答者数	417
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
			89.9	1.0	1.9	1.7	7.0	2.2		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.68	68.8	19.7	3.4	1.0	0.2	7.0	0.82	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	61.9	25.2	8.4	2.4	1.2	1.0	0.84	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			15.8	16.3	30.5	3.4	24.5	0.7	34.5	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			24.7	3.1	6.5	2.2	0.2	19.9		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.28	49.2	29.7	10.6	3.8	1.4	5.3	0.92	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.19	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08	
			3.1	6.5	21.8	26.6	27.6	14.4		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.31	51.1	25.7	8.2	3.6	2.4	9.1	0.98	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.49	64.3	25.2	6.2	1.7	1.9	0.7	0.84	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.38	62.1	23.0	8.2	3.4	3.1	0.2	0.99	

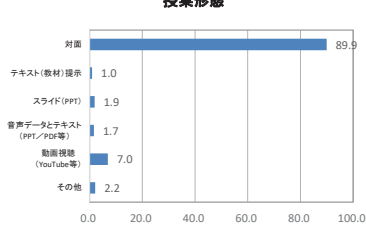
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

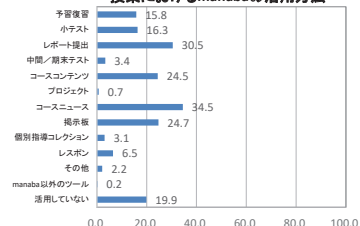
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

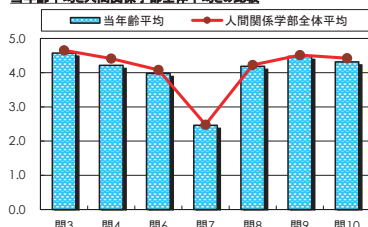
大妻女子大学

年齢		61～65歳						受講者数		1,241	
								回答者数		602	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
			76.9	11.6	13.6	4.2	8.6	0.2			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.57	59.8	25.4	2.3	2.2	0.5	9.8	0.71		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.21	48.3	28.6	11.0	3.8	3.2	5.1	1.02		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			22.3	14.0	55.6	3.2	21.4	1.2	29.2		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			20.6	4.0	5.0	1.2	0.8	19.8			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.98	33.2	30.6	13.6	5.1	3.7	13.8	1.08	区分 平均値	4.04
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.46	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.19	4.3	10.0	31.1	22.3	22.4	10.0			
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.48	59.5	30.6	4.3	1.8	1.7	2.2	0.81		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.32	52.8	31.9	8.1	3.3	2.3	1.5	0.93	※問3,4,6～10の平均値	

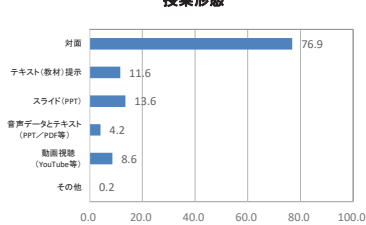
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

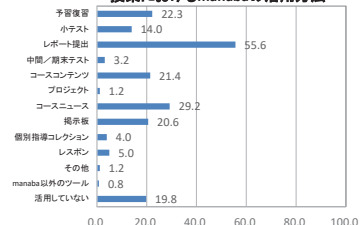
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

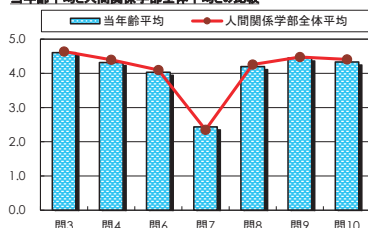
大妻女子大学

年齢		61～65歳						受講者数		1,038	
								回答者数		411	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			79.6	10.9	11.7	1.0	5.6	0.2			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.61	63.3	22.9	3.9	0.5	1.0	8.5	0.70		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.32	53.3	28.7	8.8	5.1	1.2	2.9	0.93		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			28.2	19.0	74.5	4.9	22.9	2.2	30.4		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			17.8	1.2	3.9	1.2	1.0	8.5			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.03	37.7	26.5	18.5	2.4	3.9	10.9	1.07	区分 平均値	4.07
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.43	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.20	42.8	29.7	13.4	2.2	2.4	9.5	0.96	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・もの見方や考え方を習得できましたか。	4.45	58.4	30.9	5.6	2.4	1.2	1.5	0.81		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.33	54.3	31.1	8.3	3.6	1.9	0.7	0.92		

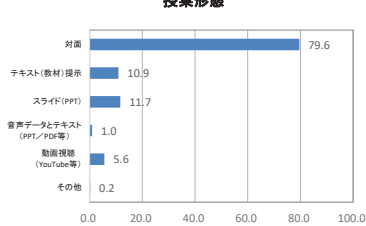
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

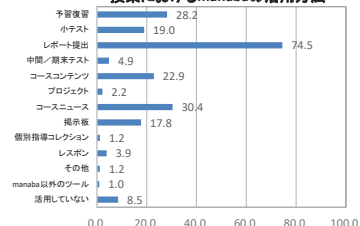
当年齢平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



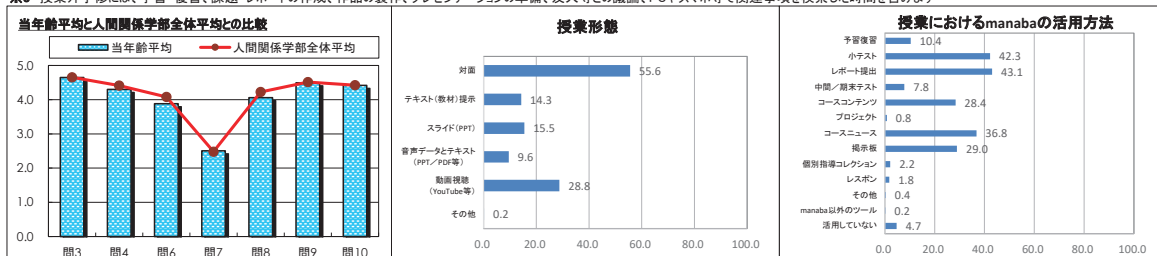
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		66歳以上							受講者数	1,133	
									回答者数	511	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データ&テキスト (PPT/ PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			55.6	14.3	15.5	9.6	28.8	0.2			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	66.3	24.7	2.3	1.0	0.2	5.5	0.60		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.30	51.7	28.2	10.6	3.9	1.6	4.1	0.93		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			10.4	42.3	43.1	7.8	28.4	0.8	36.8		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.88	32.5	23.5	17.6	6.3	4.1	16.0	1.15	区分 平均値	4.07
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.50	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.09		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.06	38.9	23.1	15.7	3.9	3.5	14.9	1.09	全体 平均値	4.13
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.49	59.7	29.4	7.6	1.2	0.4	1.8	0.73		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.42	58.5	27.0	10.4	2.0	1.0	1.2	0.83	※問3,4,6～10の平均	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



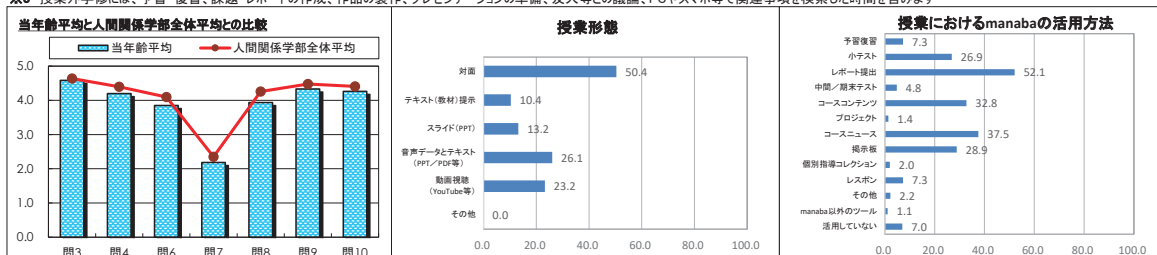
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(年齢別)

大妻女子大学

年齢		66歳以上							受講者数	1,004	
									回答者数	357	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他			
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)				
			50.4	10.4	13.2	26.1	23.2	0.0			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.58	62.7	25.8	3.1	1.7	0.6	6.2	0.70		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.20	47.9	30.3	9.8	4.5	3.4	4.2	1.03		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			7.3	26.9	52.1	4.8	32.8	1.4	37.5		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.85	32.8	23.5	17.6	5.0	5.9	15.1	1.20	区分 平均値	3.95
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.18	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.00		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.94	33.6	25.8	16.5	3.6	5.0	15.4	1.14	全体 平均値	4.11
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.33	54.1	31.4	7.0	2.2	3.4	2.0	0.96		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.26	52.1	28.6	10.4	3.9	2.8	2.2	1.00	※問3,4,6～10の平均値	

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

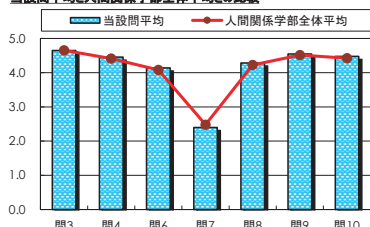
大妻女子大学

設問		問2_選択肢1: 対面							受講者数	-
									回答者数	3,291
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	0.7	0.9	0.7	2.8	0.1		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	67.3	21.5	2.9	1.3	0.4	6.5	0.66	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.46	58.9	27.7	7.0	2.2	1.1	3.1	0.81	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			17.6	15.5	46.9	4.7	24.6	4.0	30.7	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			21.5	3.5	9.9	1.6	1.9	18.1		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.14	41.2	30.4	13.6	3.7	2.5	8.7	0.99	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.40	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.14	
			5.1	8.2	25.7	26.3	22.6	12.1		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.29	47.6	26.2	10.2	3.0	2.0	11.0	0.95	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.55	63.9	28.1	4.4	1.2	1.0	1.4	0.73	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.47	62.2	26.4	6.8	1.9	1.6	1.1	0.83	

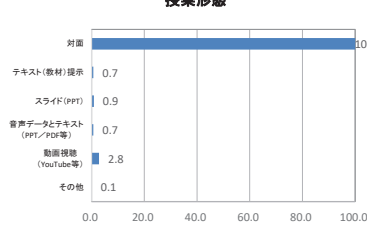
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

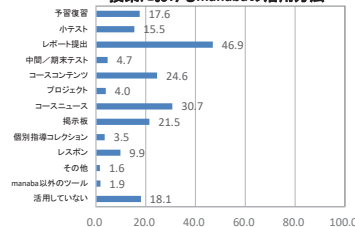
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

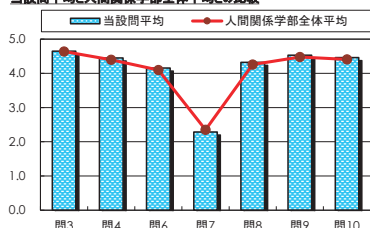
大妻女子大学

設問		問2_選択肢1: 対面							受講者数	-
									回答者数	2,372
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型				その他		
				テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)			
			100.0	1.0	0.9	0.4	2.6	0.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	67.2	22.2	3.2	0.8	0.5	6.1	0.84	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.45	60.8	25.6	7.5	2.6	1.3	2.1	0.85	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			17.7	18.2	45.4	5.2	29.2	2.5	32.3	
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			21.6	3.5	11.9	2.3	1.6	14.6		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.16	42.6	29.2	14.1	3.5	2.4	8.2	0.99	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.29	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.12	
			5.1	7.7	21.5	28.0	24.5	14.1		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.32	40.3	25.1	10.6	2.0	2.2	9.8	0.94	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.53	63.9	27.0	5.0	1.6	1.1	1.3	0.77	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.46	62.6	25.3	6.5	2.8	1.6	1.2	0.86	

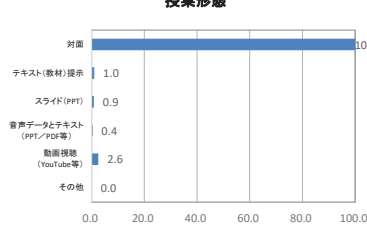
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

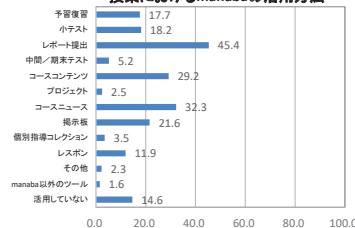
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



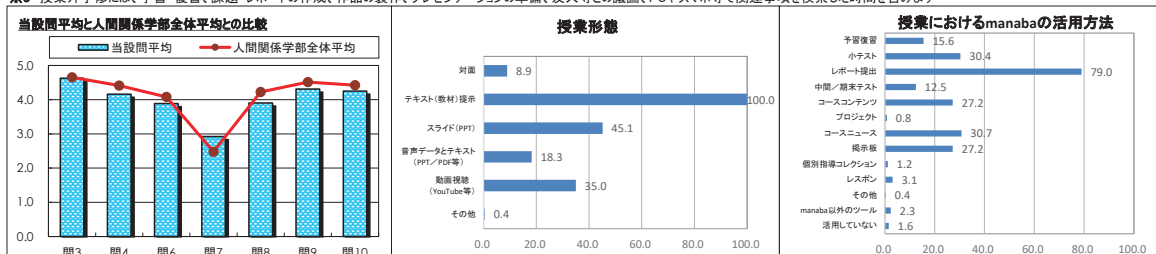
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢2:オンデマンド型:テキスト(教材)提示							受講者数	-	
									回答者数	257	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
		8.9	100.0	45.1	18.3	35.0	0.4				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.63	66.1	24.9	2.7	1.2	0.4	4.7	0.64		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.16	45.5	30.7	12.5	3.5	3.5	4.3	1.03		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			15.6	30.4	79.0	12.5	27.2	0.8	30.7		
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			27.2	1.2	3.1	0.4	2.3	1.6			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.89	30.7	24.5	18.3	6.2	3.1	17.1	1.11	区分 平均値	4.02
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.92	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.07	全体 平均値	4.13
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.90	35.4	28.8	12.8	7.4	5.4	10.1	1.19		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.31	49.4	37.4	7.8	3.1	1.6	0.8	0.87		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.25	50.2	33.9	8.6	4.3	2.7	0.4	0.97	※問3,4,6~10の平均値	

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



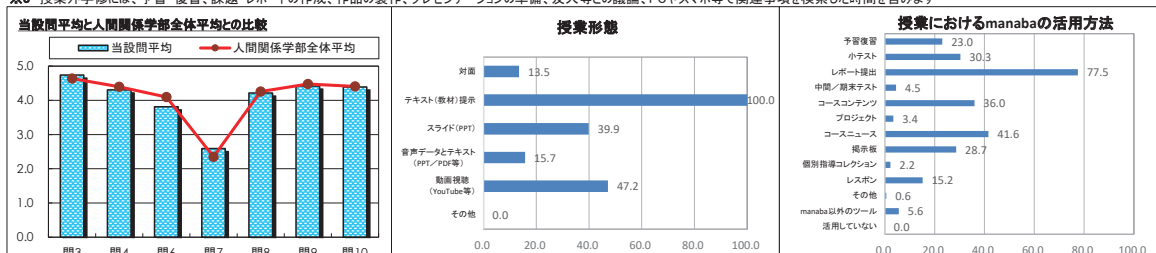
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢2:オンデマンド型:テキスト(教材)提示							受講者数		-			
									回答者数		178			
問.	設問文	平均値	回答率(%)							標準 偏差				
			そう思う	やや そう思う	オンデマンド型				わからない/ 判断しづらい					
					対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)					動画視聴 (YouTube等)	その他
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		13.5	100.0	39.9	15.7	47.2	0.0						
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.74	68.5	20.2	1.7	0.0	0.0	9.6	0.48					
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.31	53.4	28.7	11.8	5.6	0.0	0.6	0.89					
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	41.6				
			23.0	30.3	77.5	4.5	36.0	3.4						
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない						
			28.7	2.2	15.2	0.6	5.6	0.0						
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.81	34.8	24.2	23.0	4.5	6.7	6.7	1.20	区分 平均値	4.07			
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.59	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02	全体 平均値	4.11			
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.21	43.8	29.2	14.0	3.4	1.1	8.4	0.92					
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.42	53.9	35.4	7.9	2.2	0.0	0.6	0.73					
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.39	56.2	31.5	9.0	2.2	1.1	0.0	0.83	※問3,4,6~10の平均値				

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

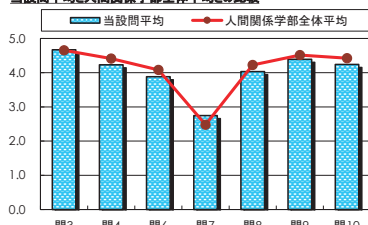
大妻女子大学

設問		問2_選択肢3: オンデマンド型: スライド(PPT)							受講者数	-
									回答者数	391
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材) 提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		7.2	29.7	100.0	18.2	47.3	0.3		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.67	66.2	24.8	2.0	0.3	0.3	6.4	0.56	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.23	51.9	26.3	11.3	3.8	3.6	3.1	1.05	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			20.7	45.3	74.9	12.3	35.5	1.0	35.5	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			25.8	2.0	2.6	1.0	2.3	0.3		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.88	28.9	25.3	15.6	6.6	3.1	20.5	1.11	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.75	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	
			6.4	13.8	36.8	20.2	14.8	7.9		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.03	36.3	26.9	12.5	4.3	4.1	15.9	1.11	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.39	54.0	35.3	5.4	2.3	1.8	1.3	0.84	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.24	52.7	29.7	9.7	4.3	3.3	0.3	1.02	

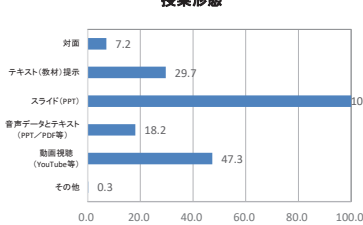
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

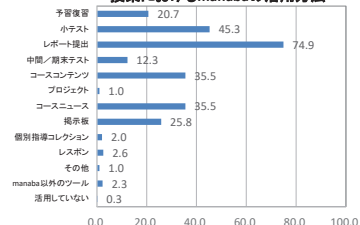
当設問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

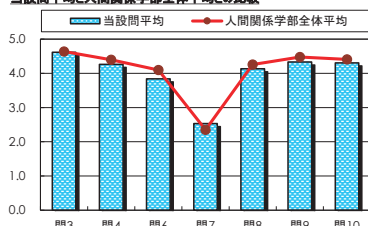
大妻女子大学

設問		問2_選択肢3: オンデマンド型: スライド(PPT)							受講者数	-
									回答者数	297
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差	
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
			オンデマンド型							
			対面	テキスト (教材) 提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他		
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		7.1	23.9	100.0	19.2	58.9	1.0		
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.62	64.6	24.6	2.4	1.3	0.7	6.4	0.88	
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.26	47.1	35.7	10.4	4.4	0.7	1.7	0.87	
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース	
			24.2	27.3	75.8	10.1	47.8	4.7	45.5	
			提示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない		
			33.7	3.0	21.2	1.0	5.7	0.3		
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.84	31.0	26.3	22.6	5.7	3.7	10.8	1.10	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.53	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.95	
			2.4	9.8	36.4	30.6	13.5	7.4		
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.13	38.0	31.3	15.5	2.4	2.0	10.8	0.95	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.33	50.8	35.0	9.1	3.0	1.0	1.0	0.84	
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.31	52.2	32.0	9.8	3.0	2.0	1.0	0.92	

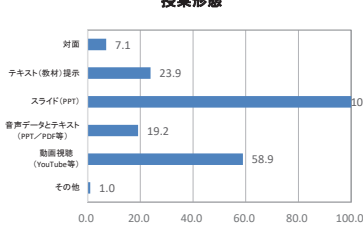
※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

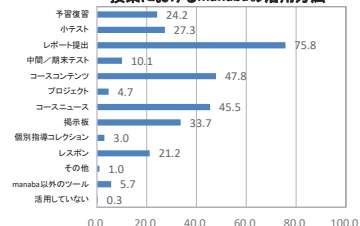
当設問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

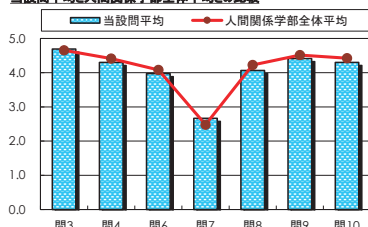
大妻女子大学

設問		問2_選択肢4:オンデマンド型:音声データとテキスト(PPT／PDF等)	受講者数					-	
			回答者数					257	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい	
			オンデマンド型						
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT／PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
			8.9	18.3	27.6	100.0	35.4	0.4	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.69	69.6	21.0	1.9	0.8	0.4	6.2	0.60
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.30	50.2	34.6	7.0	2.3	3.1	2.7	0.94
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンサーカード)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			28.8	51.4	65.8	11.7	38.9	2.7	38.9
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
			31.5	4.7	4.3	0.8	2.7	0.8	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.97	30.7	28.4	13.6	5.1	3.1	19.1	1.07
7	この授業の授業外学習の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.67	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.06	35.4	29.2	11.7	5.1	2.7	16.0	1.05
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.41	56.8	32.7	4.3	3.5	1.6	1.2	0.86
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.30	51.8	33.1	9.3	3.9	1.6	0.4	0.91
			※問3,4,6～10の平均値						

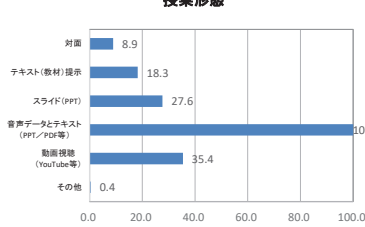
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学習には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

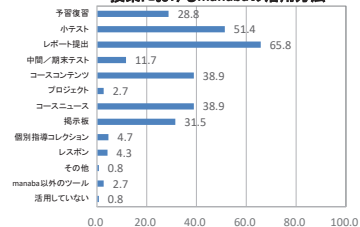
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

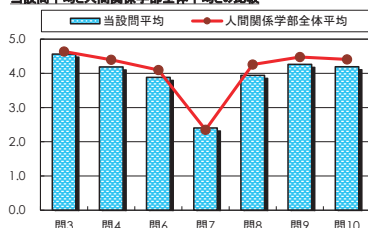
大妻女子大学

設問		問2_選択肢4:オンデマンド型:音声データとテキスト(PPT/PDF等)	受講者数						-			
			回答者数						250			
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない		あまり そう思わない	そう思わない				わからない/ 判断しづらい
					オンデマンド型							
					対面	テキスト (教材)提示						
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		3.6	11.2	22.8	100.0	33.6	0.4				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.56	64.0	25.6	3.2	1.6	1.2	4.4	0.75			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.19	40.8	40.0	9.6	3.6	2.0	4.0	0.91			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			22.0	36.4	74.4	14.0	39.2	2.8	40.4			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
			30.4	1.6	19.6	0.8	2.0	0.0				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.88	27.6	31.6	19.2	4.4	3.2	14.0	1.04	区分 平均値	3.94	
7	この授業の授業外学習の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.40	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.02	全体 平均値	4.11	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	3.94	1.6	11.6	28.4	28.8	20.0	9.6				
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.26	50.8	34.4	8.4	3.2	3.2	0.0	0.97			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.19	47.2	34.0	10.8	3.2	3.6	1.2	1.01			※問3,4,6～10の平均

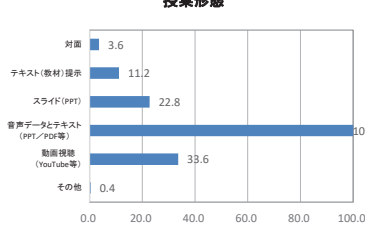
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学習には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

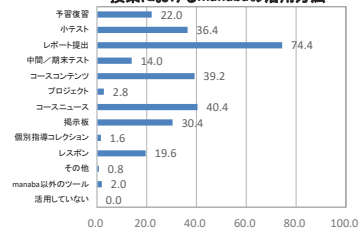
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

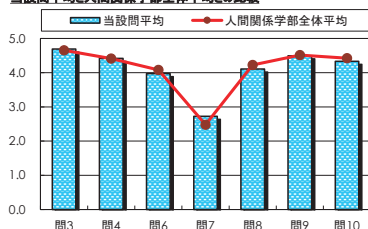
大妻女子大学

設問		問2_選択肢5:オンデマンド型:動画視聴(YouTube等)							受講者数		-	
									回答者数		629	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
												オンデマンド型
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		14.8	14.3	29.4	14.5	100.0	0.0				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.69	68.7	21.8	2.2	0.6	0.2	6.5	0.57			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.42	59.0	26.2	7.2	1.9	2.5	3.2	0.91			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
		21.9	47.2	66.0	8.9	38.6	1.7	39.9				
		掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない					
		29.3	4.1	2.9	1.1	2.7	0.5					
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.97	32.8	27.3	15.7	4.0	3.8	16.4	1.09	区分 平均値	4.12	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.72	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.11	全体 平均値	4.13	
		6.0	14.0	34.2	21.9	14.6	9.2					
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.11	40.5	24.6	12.4	4.1	3.5	14.8	1.08			
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.49	59.3	31.2	5.1	1.6	1.0	1.9	0.75			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.33	55.2	30.4	7.5	2.7	3.2	1.1	0.96	※問3,4,6~10の平均		

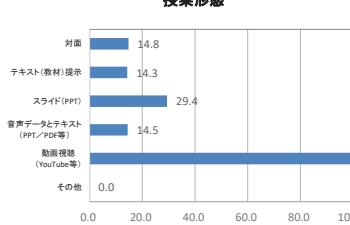
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

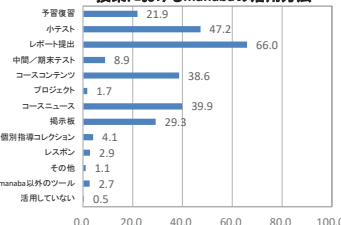
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

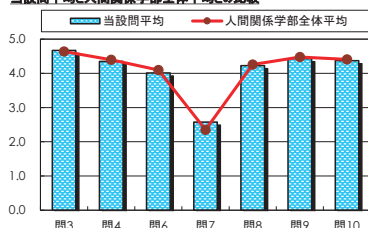
大妻女子大学

設問		問2_選択肢5:オンデマンド型:動画視聴(YouTube等)							受講者数	-		
									回答者数	577		
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		対面	オンデマンド型					その他			
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)						
			10.6	14.6	30.3	14.6	100.0	0.3				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.87	68.1	24.1	1.4	1.6	0.0	4.9	0.59			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.35	51.8	33.6	8.7	3.1	0.9	1.9	0.84			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			25.8	20.8	73.5	8.7	43.3	4.0	45.4			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.01	35.9	3.1	23.2	0.7	5.4	0.5				
			34.1	29.6	17.0	4.7	2.3	12.3				1.01
			3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない				0.94
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.58	2.1	11.3	36.7	30.7	12.0	7.3	0.93	区分 平均値	4.10	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.23	43.3	30.2	11.4	3.5	1.6	10.1				
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.43	56.0	33.8	6.2	2.6	0.7	0.7				0.78
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.37	56.0	30.8	7.5	4.0	1.2	0.5	0.88	※問3,4,6～10の平均		

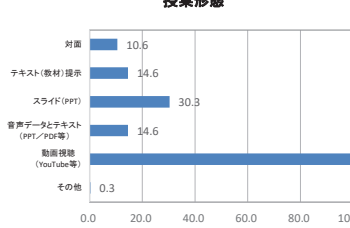
※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます

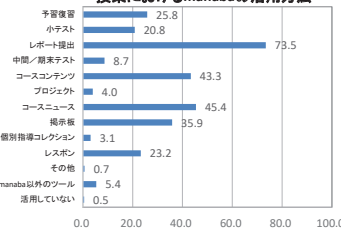
当該問平均と人間関係学部全体平均との比較



授業形態



授業におけるmanabaの活用方法



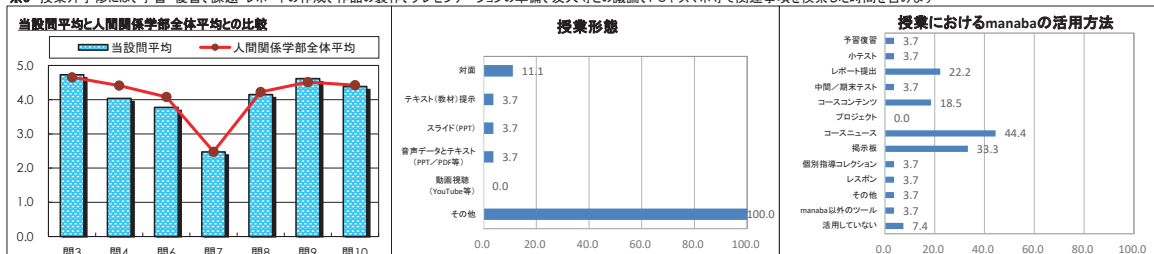
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢0:その他						受講者数		-	
								回答者数		27	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差		
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい			
			オンデマンド型								
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他			
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT:PowerPointの略		11.1	3.7	3.7	3.7	0.0	100.0			
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.73	74.1	18.5	3.7	0.0	0.0	3.7	0.53		
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.04	40.7	29.6	18.5	3.7	3.7	3.7	1.08		
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース		
			3.7	3.7	22.2	3.7	18.5	0.0	44.4		
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない			
			33.3	3.7	3.7	3.7	3.7	7.4			
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	3.77	22.2	33.3	14.8	7.4	3.7	18.5	1.11	区分 平均値	4.09
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.47	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.90	全体 平均値	4.13
			0.0	7.4	29.6	22.2	11.1	29.6			
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.15	40.7	11.1	18.5	0.0	3.7	25.9	1.14		
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.62	70.4	18.5	3.7	3.7	0.0	3.7	0.75		
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.38	55.6	29.6	3.7	7.4	0.0	3.7	0.90	※問3,4,6～10の平均	

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



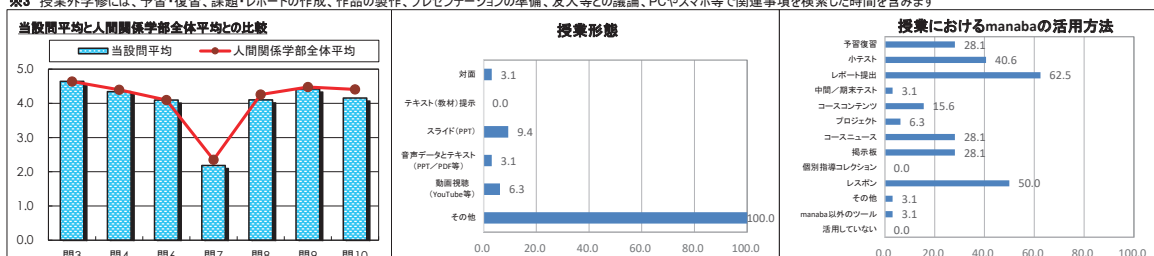
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(設問別)

大妻女子大学

設問		問2_選択肢6:その他							受講者数		-	
									回答者数		32	
問.	設問文	平均値	回答率(%)						標準 偏差			
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	そう思わない	わからない/ 判断しづらい				
			対面	オンデマンド型								
			テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他					
2	授業形態はどのような方法で実施されましたか。 ※PPT: PowerPointの略		3.1	0.0	9.4	3.1	6.3	100.0				
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。※1	4.65	68.8	21.9	6.3	0.0	0.0	3.1	0.61			
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.34	56.3	28.1	12.5	0.0	3.1	0.0	0.94			
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間／ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース			
			28.1	40.6	62.5	3.1	15.6	6.3	28.1			
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない				
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか。※2 ※オンライン上での質問や意見等も含みます。	4.10	31.3	50.0	12.5	0.0	3.1	3.1	0.87	区分 平均値	4.03	
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。※3	2.19	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	0.68			
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.10	43.8	28.1	12.5	6.3	3.1	6.3	1.09	全体 平均値	4.11	
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.42	62.5	21.9	6.3	3.1	3.1	3.1	0.99			
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.16	56.3	21.9	9.4	6.3	6.3	0.0	1.22	※問3,4,6～10の平均		

※1 選択肢0:わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0:わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



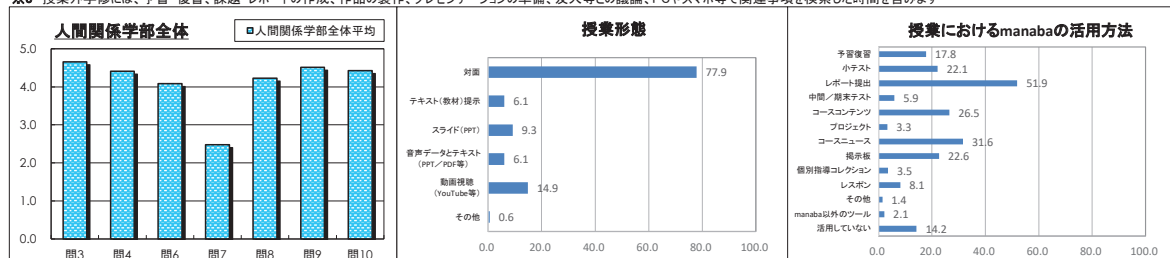
2023年度前期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

集計		人間関係学部全体						受講者数	8,958
								回答者数	4,227
No.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されました。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型						
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
			77.9	6.1	9.3	6.1	14.9	0.6	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。 ※1	4.65	67.4	21.9	2.7	1.2	0.4	6.4	0.64
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.41	57.3	28.1	7.5	2.4	1.7	3.1	0.87
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			17.8	22.1	51.9	5.9	26.5	3.3	31.6
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
			22.6	3.5	8.1	1.4	2.1	14.2	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.08	38.5	29.3	14.3	4.2	2.8	10.9	1.03
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。 ※3	2.48	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.13
			5.3	9.3	28.5	25.3	20.3	11.3	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.22	44.9	26.1	10.9	3.4	2.5	12.2	1.00
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.51	61.7	29.2	4.9	1.5	1.1	1.6	0.76
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.42	59.7	27.3	7.6	2.3	1.9	1.1	0.88

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



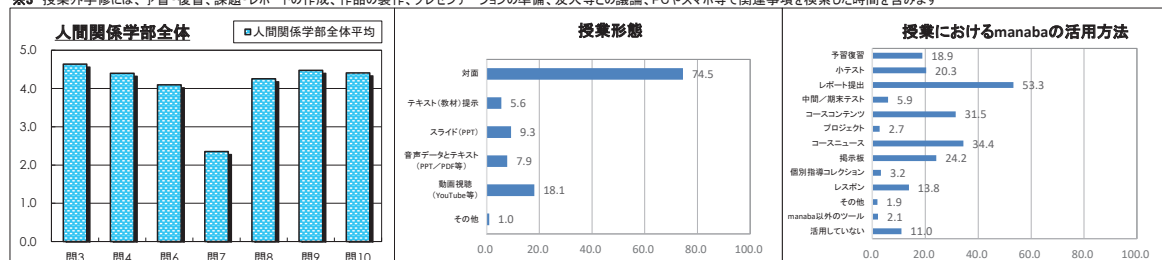
2023年度後期 授業改善のためのアンケート集計結果(全体)

大妻女子大学

集計		人間関係学部全体						受講者数	8,417
								回答者数	3,184
No.	設問文	平均値	回答率(%)						標準偏差
			そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまり そう思わない	わからない/ 判断しづらい		
2	授業形態はどのような方法で実施されました。 ※PPT: PowerPointの略		オンデマンド型						
			対面	テキスト (教材)提示	スライド(PPT)	音声データとテキスト (PPT/PDF等)	動画視聴 (YouTube等)	その他	
			74.5	5.6	9.3	7.9	18.1	1.0	
3	授業はシラバスに基づいて行われていましたか。 ※1	4.64	66.4	23.1	3.1	0.9	0.5	6.0	0.65
4	教員は学生の理解を深めるための工夫(小テスト、小レポート、グループワーク、クリッカー、予習・復習の説明など)をしたと感じることができましたか。	4.40	57.0	28.2	8.2	3.0	1.4	2.3	0.87
5	授業においてmanabaはどのように活用されましたか。		予習復習 (アンケートなど)	小テスト	レポート提出	中間/ 期末テスト	コース コンテンツ	プロジェクト	コース ニュース
			18.9	20.3	53.3	5.9	31.5	2.7	34.4
			掲示板	個別指導 コレクション	レスポンス	その他	manaba以外の ツールを活用した	活用していない	
			24.2	3.2	13.8	1.9	2.1	11.0	
6	質問したり、考えを述べたりして、授業に積極的に参加しましたか ※2	4.10	39.5	29.4	15.1	3.9	2.6	9.5	1.01
7	この授業の授業外学修の時間(授業1回あたりの平均)はどの程度ですか。 ※3	2.35	3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	していない	1.08
			3.5	8.4	25.2	28.6	21.8	12.6	
8	課題に対する教員からのフィードバック(コメントや学習指導)は効果的でしたか。	4.26	46.8	26.7	11.4	2.8	2.3	10.1	0.97
9	この授業によって、新しい知識・技能・ものの見方や考え方を習得できましたか。	4.48	60.5	29.2	5.8	2.0	1.3	1.3	0.80
10	あなたは授業に満足しましたか。	4.41	59.4	27.2	7.3	3.2	1.8	1.1	0.89

※1 選択肢0: わからない/判断しづらい/確認していない ※2 選択肢0: わからない/判断しづらい/発言の機会がなかった

※3 授業外学修には、予習・復習、課題・レポートの作成、作品の製作、プレゼンテーションの準備、友人等との議論、PCやスマホ等で関連事項を検索した時間を含みます



大妻女子大学 人間関係学部 教職員 ◆:FD委員		
人間関係学科		
社会学専攻	社会・臨床心理学専攻	人間福祉学科
伊藤 美登里 ◆ 牛山 美穂 久保田 滋 小谷 敏 齊藤 豊 ◆[学部長] 田中 俊之 阪井 裕一郎 千川 剛史 牧野 智和	春日 文 香月 菜々子 田中 優 福島 哲夫 ◆[学科長] 古田 雅明 堀 洋元 本田 周二 三好 真 ◆ 八城 薫	井上 修一 上野 優子 ◆[学科長] 小川 浩 尾久 裕紀 金 美辰 藏野 ともみ 嶋貴 真人 丹野 真紀子 原野 かおり 飛田 和樹 山本 真知子 ◆[委員長]
共同研究室		
大豆生田 知美 鈴木 暁子	小野 聡士 千田 紗織 山崎 有望	飛鳥 千鶴子 大坪 千夏 杉田 雅治 藤本 優 古市 孝義
スポーツ教育研究室:山崎 なる美 人間関係学部長室:井上 純子		

令和5(2023)年度 人間関係学部FD報告書

令和6(2024)年5月発行

発 行 大妻女子大学 人間関係学部
206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1

著作・編集 大妻女子大学 人間関係学部 FD委員会
ningenfd@ml.otsuma.ac.jp

印刷・製本 株式会社 相模プリント
252-0114 神奈川県相模原市緑区東橋本1-14-17

